

放送大学

教養学部

2024年度第1学期

面接授業時間割表



〈開講期間〉 2024年4月13日(日)~2024年7月28日(日)

目次

I. 科目登録の申請等について	1
II. 開設科目一覧	
学習センター別面接授業開設科目一覧	12
科目区分別面接授業開設科目一覧	19
III. 案内図・授業概要	
福岡学習センター	22
北九州サテライトスペース	28
佐賀学習センター	32
長崎学習センター	42
熊本学習センター	52
大分学習センター	62
宮崎学習センター	72
鹿児島学習センター	80
沖縄学習センター	90
IV. 学習センター以外の場所で行う面接授業	102

【巻末資料】

科目追加登録申請書

I. 科目登録の申請等について

この冊子は、九州・沖縄ブロック [福岡（北九州サテライトスペース）、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄] の各学習センターで開設される2024年度第1学期面接授業の時間割表です。

2024年度第1学期面接授業の科目登録に必要な冊子は、次のとおりです。

- 「科目登録申請要項（2024年度第1学期）」（科目登録申請票付）
 - 「2024年度第1学期面接授業開設科目一覧」
 - 「2024年度第1学期面接授業時間割表 [九州・沖縄ブロック版]」（本冊子）
- ※2019年度第1学期より、授業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。(詳細P2)

なお、九州・沖縄ブロック以外の各学習センターにおける開設科目の詳細（授業概要）につきましては、各学習センターに備え付けの時間割冊子または、放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/>) をご利用ください。

〔科目登録・履修にあたっての注意事項〕

1. 科目登録申請票提出後の変更・追加・取消等はありません。慎重に選択の上申請してください。
※インターネット（システムWAKABA）で科目登録申請する場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面において変更・追加・取消等ができます。
ただし、すべて取消することはできませんので、その場合は、本部までご連絡ください。
2. 授業を欠席しても、他の科目への振り替え、授業料の返還は行いませんのでご了承ください。
3. 次の場合、申請しても科目登録されませんので、ご注意ください。
 - ① 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と全く同じ科目名の授業を申請した場合
 - ② 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と相互に履修制限の関係にある科目を申請した場合（具体的な科目については全国版「面接授業開設科目一覧」の〈申請上の注意〉でご確認ください）
 - ③ 授業日程が重複する複数の面接授業科目を申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ④ 複数の学習センターで開設する科目を受講する際、学習センター間の移動時間として最低1時限分以上の間隔がない場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑤ 同時に同じ科目名（同じ科目コード）の科目を複数申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑥ 現在履修中の面接授業科目と全く同じ科目名の授業、または現在履修中の面接授業科目と履修制限の関係にある科目を申請した場合

4. 担当講師は、都合により変更する場合があります。授業日程にやむを得ず変更が生じた場合、受講生の方には電話及びキャンパスメール（学生メール）等によりすみやかにお知らせします。なお、授業日程の変更等の際は、交通費等は補償しませんので、あらかじめご了承ください。

講師の病気など、事情により他の講師が代講する場合があります。

担当講師変更・日程変更等についてはウェブサイトにて最新情報を随時掲載いたします。

(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/>)

5. 2024年度第1学期の九州・沖縄ブロック各学習センターの授業実施時間帯は以下のとおりです。下記実施時間と異なる科目もありますので、必ず各々の科目の日程・実施時間欄を確認の上受講してください。

[福岡、北九州、大分面接授業実施時間]

1時限： 9：45～11：15

2時限： 11：25～12：55

3時限： 13：40～15：10

4時限： 15：20～16：50

※2日目

4時限： 15：20～16：05

試験・レポート等：16：05～16：50

[佐賀、宮崎面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限： 11：10～12：40

3時限： 13：30～15：00

4時限： 15：10～16：40

※2日目

4時限： 15：10～15：55

試験・レポート等：15：55～16：40

[鹿児島面接授業実施時間]

1時限： 9：50～11：20

2時限： 11：30～13：00

3時限： 13：50～15：20

4時限： 15：30～17：00

※2日目

4時限： 15：30～16：15

試験・レポート等：16：15～17：00

[熊本、長崎、沖縄面接授業実施時間]

1時限： 10：00～11：30

2時限： 11：40～13：10

3時限： 14：00～15：30

4時限： 15：40～17：10

※2日目

4時限： 15：40～16：25

試験・レポート等：16：25～17：10

[鹿児島（鹿児島県立奄美図書館）面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限： 11：10～12：40

3時限： 13：30～15：00

4時限： 15：10～16：40

5時限： 16：50～18：05

試験・レポート等：18：05～18：20

【2日目】

1時限： 9：30～11：00

2時限： 11：10～12：10

3時限： 13：00～14：30

試験・レポート等：14：30～15：00

6. 受講したい科目の選択にあたっては授業概要をご覧ください。科目によっては、「授業テーマ」を記載しておりますが、授業の進捗状況にあわせて、変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

授業受講に際し必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）は「教科書」として指定しておりますので、受講生の方各自でご用意をお願いいたします。なお、教科書を指定する授業は、本冊子の授業概要に示してあります。

なお、消費税等の変動により、教科書・参考書の価格が表示価格と異なる可能性があります。

【教科書】：授業で使用します。事前に各自で必ず用意しておいてください。

【参考書】：受講する前に読んでおいた方がよいものや授業を理解する上で参考となるものです。（参考書の購入は、必須ではありません）

7. 面接授業の成績はA～Eの6区分の評価があり、「A～C」の場合1単位が与えられます。授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等*の時間が設定されます。

* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください）

* フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。

8. カリキュラム改正については、本冊子7～8ページをご参照ください。

9. 科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについては、本冊子9～10ページをご参照ください。

【心理学実験系科目についてのご注意】

面接授業の心理学実験系科目の受講に際しては、従来から抽選により受講者の決定が行われていますが、2020年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、対面授業の中止（閉講）、定員削減等の措置をとったことから、依然として定員に対して希望者が多い状態となっており、当初の計画どおりに履修できない可能性があります。

本学では、このような事態の改善に向け、定員の増員や追加開講の実施、ライブ Web 授業「心理学実験（基礎）」の新規開講等、種々の対応を計画し取り組んでまいります。

感染症や災害の発生等の非常時における対応として、閉講（中止）、Web（Zoom等）授業への変更や受講制限等の措置をとる可能性があります。それらの情報は、全国の学習センター等からのお知らせや本学ウェブサイト、システムWAKABAにてお知らせいたしますので、定期的にご確認ください。

また、シラバス左下の「実施会場欄」に、“※不測の事態発生時は閉講”または“※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施”と表示していますので、これらの措置が実施される可能性があることをご理解いただき、面接授業の科目登録をご検討ください。

特に卒業見込の方、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方は、放送授業やオンライン授業を積極的に受講してください。

【ライブWeb授業について】

Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。2024年度第1学期の授業科目は、**2024年1月初旬にWebサイトで公開**いたします。

（本冊子には掲載されません。）詳細は、以下をご確認ください。

<放送大学Webサイト/選ばれる理由/

いつでも、だれでも、自由な学び方を/ライブWeb授業>



〔追加科目登録について〕

1 登録申請方法

科目登録決定後空席のある科目については、追加登録受付期間中に科目の追加登録をすることができます。この機会を活かして面接授業にご参加ください。

(追加登録の受付について)

当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースで行います。
空席数よりも申請者数が多い場合は、抽選による選考を行います。

(申請方法)

①窓口申請 または ②郵送申請

※福岡学習センターは仮移転のため、4月中は郵送による申請のみ受付、窓口での申請は受けません。

※北九州サテライトスペース実施科目については、4月19日（金）以降サテライトスペースでの窓口申請を受け付けます。なお、郵送申請する場合は、福岡学習センターにご郵送ください。

(必要なもの)

①窓口申請の場合

<ul style="list-style-type: none">・追加登録申請書・授業料（1科目 6,000円）・学生証	※希望者が定員を超えた場合、受付初日当日の（4月18日（木））午前10時までに来所の方を対象に抽選を行います（※福岡学習センター・北九州サテライトスペースを除く）。それ以降は先着順です。 当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。
--	--

②郵送申請の場合（現金書留にて郵送してください。）

<ul style="list-style-type: none">・追加登録申請書・授業料（1科目 6,000円）・学生証のコピー・返信用封筒（長形3号・84円切手貼付・宛名明記）	※希望者が定員を超えた場合、受付初日2日前（4月16日（火））までに到着したものは、受付初日午前10時までに各学習センターへの来所者分と併せて抽選します。それ以降は先着順です。
--	--

※追加登録申請書は、本冊子巻末付録のほか、放送大学ウェブサイトよりダウンロードできます。また、学習センター窓口にも用意しています。

※郵送による申請は現金書留のみでの受付となります。追加登録初日以前に窓口に来所しての受付・お預かりはできません。

※申請の前に空席状況を確認してください。

※期限内に郵便が届かなかったり、申請した科目が満席の場合、あるいは申請内容に不備がある場合は、返送にかかる費用を差し引いた金額をお返ししますので、あらかじめご了承ください。

※授業料は、1科目につき6,000円です。

※科目登録申請（登録）後は、科目の変更・取消、授業料の返還はできませんのでご注意ください。

空席状況の発表：2024年4月13日（土）12時

追加科目登録期間^{*1}：4月18日（木）～科目ごとに定められた追加登録受付期限日^{*2}
(原則として、開講日の1週間前。一部例外あり^{*3})

最終受付期限日 7月14日（日）

*1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っておりません。

*2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、放送大学ウェブサイトに掲載します。追加登録の受付開始後は、システムWAKABAで毎日その時々の空席状況を確認することができます。詳しくは本冊子6ページをご参照ください。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。

*3 授業準備の都合上、追加登録を受け付けられない科目、または1週間前まで受け付けられない科目がありますのでご了承ください。

対 象 者：2024年度第1学期に学籍のあるすべての全科履修生・選科履修生・科目履修生

◎科目登録・追加科目登録にあたっては、「科目登録申請要項（2024年度第1学期）」をお読みの上、手続きを行ってください。

● 空席状況の確認

受講したい科目を決めたら、その科目に「空席」があるか確認します。空席状況は、「空席発表日」に学習センター・サテライトスペースでの掲示、放送大学ウェブサイトでお知らせします。4月18日（木）15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

4月13日

4月18日

追加登録受付期間終了まで

① 放送大学ウェブサイト

4月13日（土）12時現在の空席状況を公表

② システムWAKABA

4月18日（木）15時～リアルタイムで空席状況を確認

次の手順で空席状況をご確認ください。

① 4月13日 放送大学ウェブサイトで空席状況を公表します。

システムWAKABA



【ログイン方法】

放送大学トップページ→**在学生(WAKABA)**をクリック→**システムWAKABA(教務情報システム)**をクリック→**システムWAKABAへログイン**
→**面接授業(該当学期)のページ**→**お知らせ**の「空席状況のお知らせ」に掲載。



面接授業ウェブサイト1学期

② 4月18日15時から、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認いただけます。

システムWAKABA



【ログイン方法】

放送大学トップページ→**在学生(WAKABA)**をクリック→**システムWAKABA(教務情報システム)**をクリック→**システムWAKABAへログイン**
→**教務情報**→**科目登録申請**→**空席照会**をクリック
→希望の科目を検索

空席状況は、検索された時点のものです。

学習センターで申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますので予めご了承ください。

※学習センターによって追加登録の受付方法が異なります。

詳しくは、5ページを確認するか、学習センターへ直接お問い合わせください。

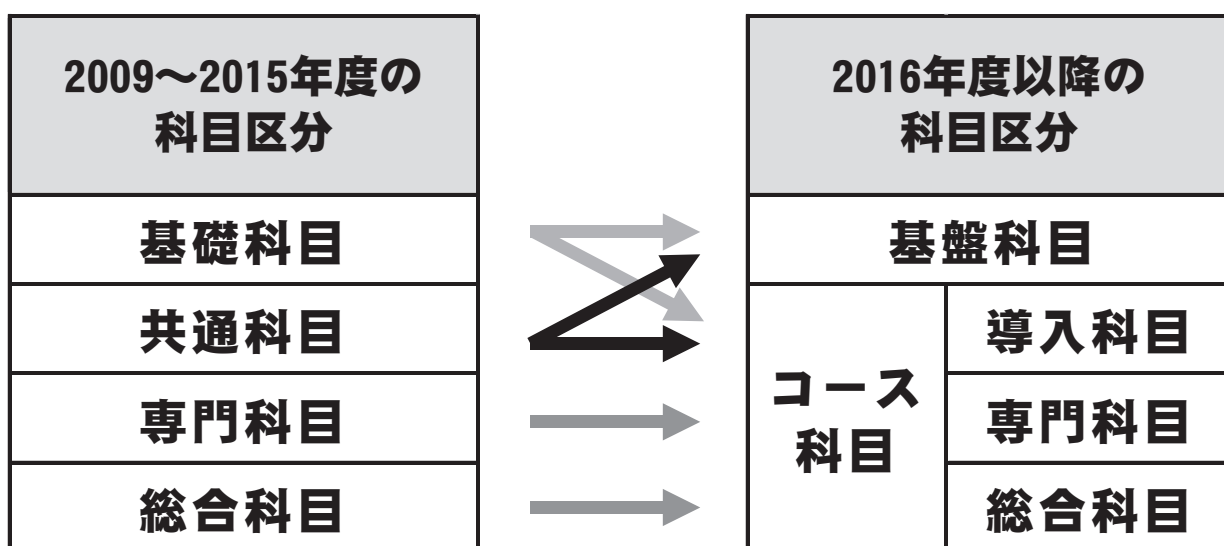
科目名称	授業時間	空席状況
科目名称(仮)	2018/02/19 19:30 ~ 2018/02/19 21:30	空席状況
国際語(人文学)	2018/02/19 19:30 ~ 2018/02/19 21:30	空席状況
国際語	2018/02/19 19:30 ~ 2018/02/19 21:30	空席状況

カリキュラム改正について

放送大学は、2016年度から教養学部のカリキュラム全体を見直し、本学の多様な学生ニーズに対応したカリキュラムによる教育を開始しました。

1、2009～2015年度カリキュラムの科目区分と2016年度以降カリキュラムの科目区分の関係

卒業要件に関わる科目区分を2015年度までの「基礎科目、共通科目、専門科目、総合科目」の4つから「基盤科目とコース科目（導入科目・専門科目・総合科目）」の2区分としています。



2016年度以降カリキュラムのそれぞれの科目区分の名称と到達目標（定義）は以下のとおりです。

区 分	目 標	
基盤科目	放送大学のすべてのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身に付けること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。	
コース科目	導入科目	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識及びそこで求められる基礎的な能力を身に付けること。
	専門科目	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身に付けること。
	総合科目	学際的な知識、分析手法を身に付け、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

2、ナンバリング制の導入

学生が授業内容やレベルを勘案して授業科目を履修できるように、授業科目に番号を付し、分類するナンバリング制を導入し、履修の順序、学問体系のつながりを示すことで教育体系の「見える化」を実現しました。

ナンバリングレベル表示	初級 (10)	中級 (20)	上級 (30)
総合科目 (400)	410	420	430
専門科目 (300)	310	320	330
導入科目 (200)	210	220	230
基盤科目 (100)	110	120	130

<参考>シラバスの見方について

<p>カリキュラムの科目区分およびナンバリングレベルを表示しています。</p>		<p>【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。</p> <p>【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します</p> <p>【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。／¥0）</p>																					
<table border="1"> <tr><td>科目コード</td><td></td></tr> <tr><td>学習センター</td><td></td></tr> <tr><td>学習センターコード</td><td>13B</td></tr> <tr><td>クラスコード</td><td>K</td></tr> <tr><td>科目名</td><td>新・初歩からのパソコン</td></tr> <tr><td>科目区分</td><td>基盤科目</td></tr> <tr><td>ナンバリング</td><td>110</td></tr> <tr><td>定員</td><td>20名</td></tr> <tr><td>担当講師</td><td>〇〇 〇〇 放送大学教授</td></tr> <tr><td>日程 実施時間</td><td>〇月〇日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 〇月〇日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 課題レポート等 16:35～17:20</td></tr> <tr><td>実施会場</td><td>東京文京学習センター ※不測の事態発生時は〇〇〇</td></tr> </table>	科目コード			学習センター		学習センターコード	13B	クラスコード	K	科目名	新・初歩からのパソコン	科目区分	基盤科目	ナンバリング	110	定員	20名	担当講師	〇〇 〇〇 放送大学教授	日程 実施時間	〇月〇日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 〇月〇日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 課題レポート等 16:35～17:20	実施会場	東京文京学習センター ※不測の事態発生時は〇〇〇
科目コード																							
学習センター																							
学習センターコード	13B																						
クラスコード	K																						
科目名	新・初歩からのパソコン																						
科目区分	基盤科目																						
ナンバリング	110																						
定員	20名																						
担当講師	〇〇 〇〇 放送大学教授																						
日程 実施時間	〇月〇日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 〇月〇日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 課題レポート等 16:35～17:20																						
実施会場	東京文京学習センター ※不測の事態発生時は〇〇〇																						

感染症や災害の発生等の非常時における対応を表示しています。

※不測の事態発生時は閉講

又は

※不測の事態発生時は Web(Zoom)授業で実施

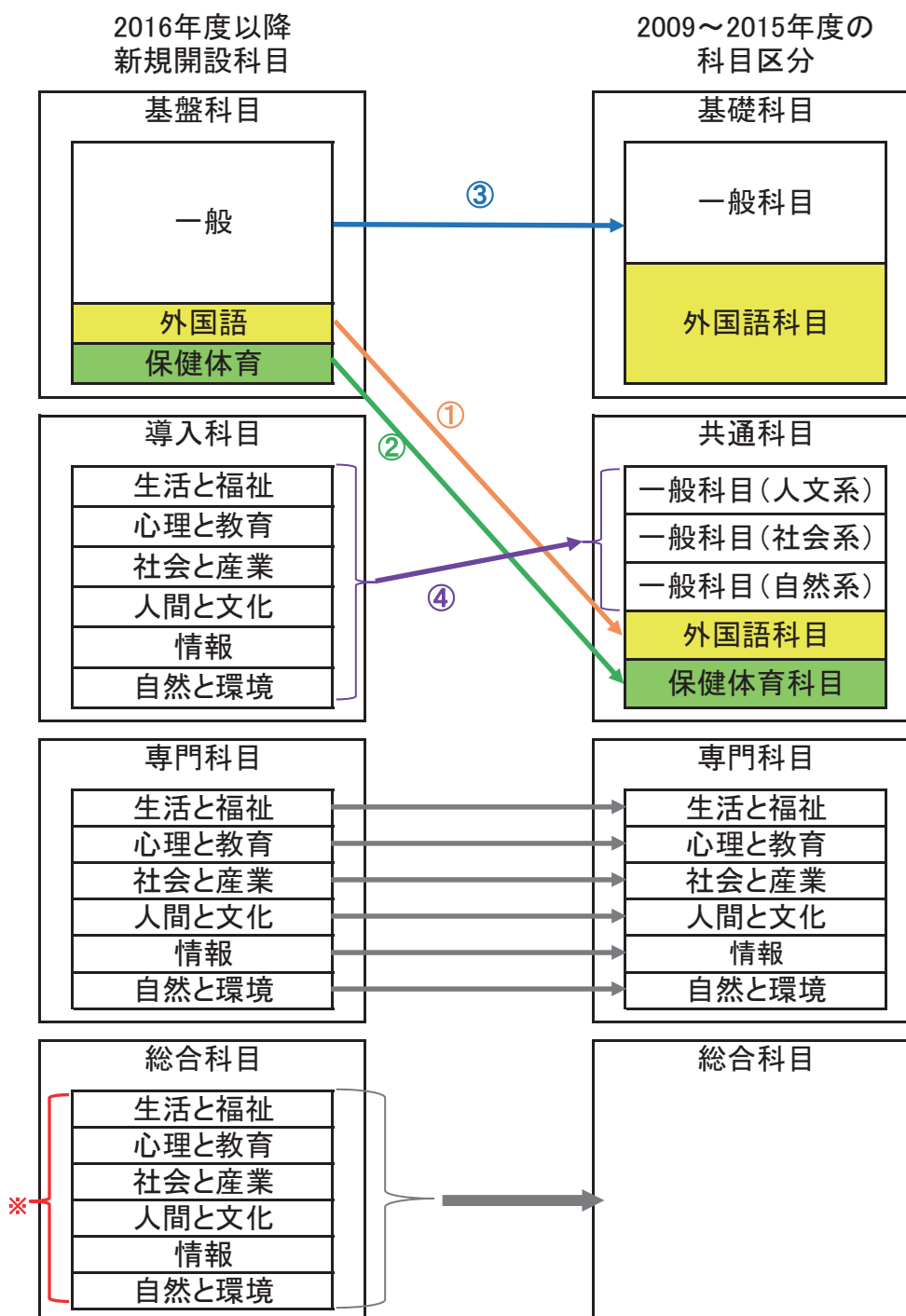
2009～2015 年度カリキュラムで該当する科目区分を表示しています。

科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについて

2016年度のカリキュラム改正により科目区分が変わりました。この変更に伴う修得単位の取り扱い(以下「読み替え」という)は、入学年度(所属カリキュラム)により以下のとおりとなります。

i) 2009～2015年度入学者が2016年度以降の新規開設科目の単位を修得した場合

- ① 外国語は、共通科目(外国語科目)に読み替える。
- ② 保健体育は、共通科目(保健体育科目)に読み替える。
- ③ 外国語と保健体育以外の基盤科目は、基礎科目(一般科目)に読み替える。
- ④ 導入科目は、共通科目(一般科目(人文系)、一般科目(社会系)、一般科目(自然系))に読み替える。



※ 面接授業では、コースを区別せず所属のコース科目として扱います。

ii 2016年度以降の入学者が2015年度以前の開設科目の単位を修得している場合
(2015年度以前の入学者が2016年度の新カリキュラムへ移行する場合も同様)

＜基盤科目への読み替え＞

- ① まず、外国語科目と保健体育科目はすべて基盤科目に読み替える。
- ② この読み替えにおいて14単位を超えなければ、次に、その他の基礎科目と共通科目について単位修得の古い順から基盤科目に読み替える。(外国語・保健体育と合わせて14単位を満たすまで)

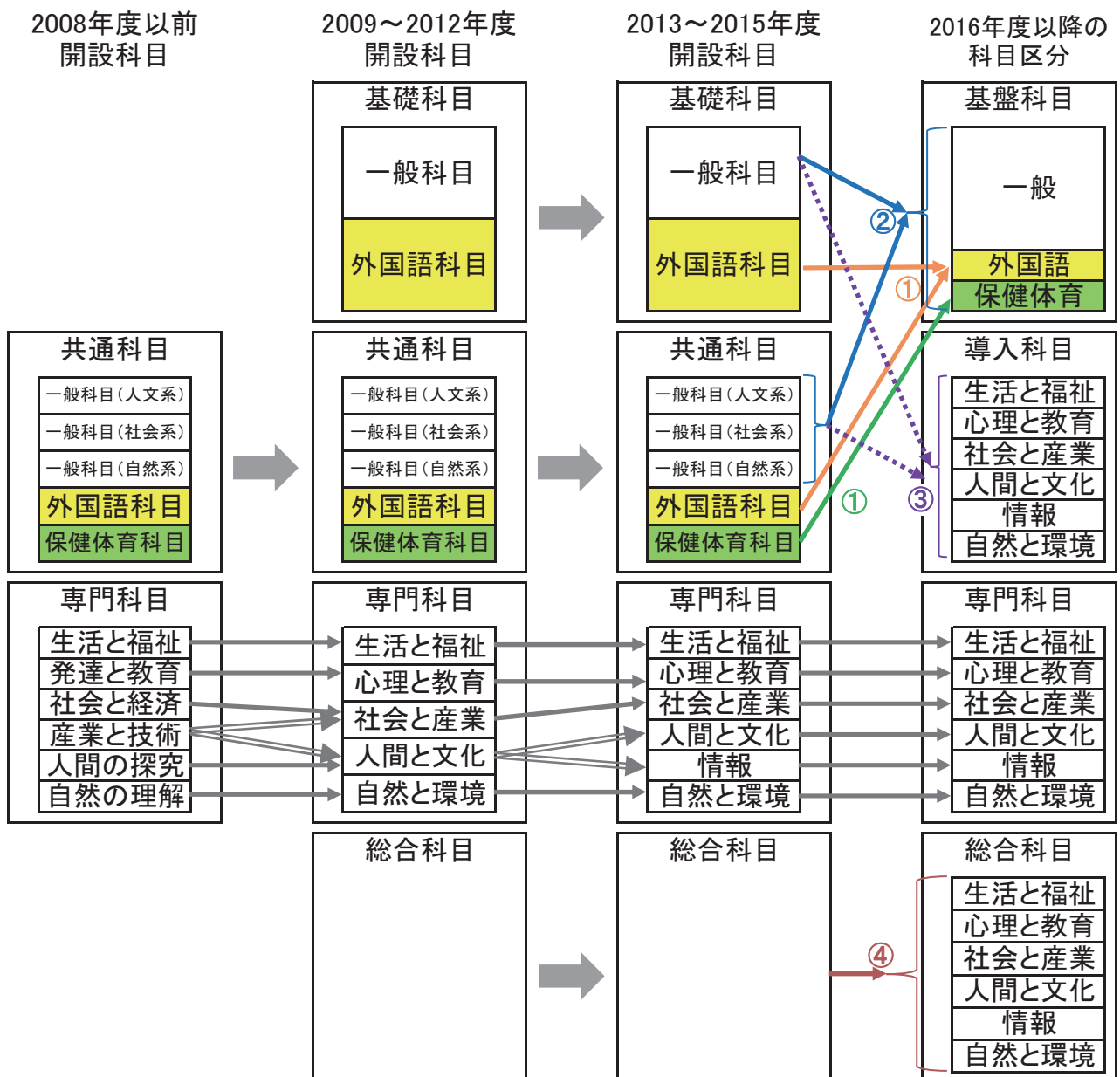
＜導入科目への読み替え＞

- ③ 上記①、②で基盤科目として読みかえられなかった基礎科目と共通科目は、すべて導入科目(自コース開設扱い)に読み替える。

＜総合科目への読み替え＞

- ④ 総合科目は総合科目(自コース開設扱い)に読み替える。

※ 産業と技術専攻の情報系の専門科目は、人間と文化コースの専門科目に読み替える。ただし、2008年度以前の面接授業については、社会と産業コースの専門科目に読み替える。
 人間と文化コース(旧 産業と技術)の情報系の専門科目を2012年度までに修得した場合は、所属コースにより人間と文化コース又は情報コースの専門科目に読み替える。



* ただし、2016年度以降の新規開設科目は、この取り扱いに該当しない。

自分用パソコン持込み方式 (BYOD) のご案内

パソコンを使用して実施する面接授業は、これまで学習センターのパソコンを使って実施してきました。しかし、2024年度第1学期以降、学習センターのパソコンとプリンターを廃止します。これは、急速に進んでいる教育のデジタル化に放送大学も対応し、学生の皆様が自由な環境で学習できるようにするためです。そのため、2024年度第1学期以降、パソコンを使う面接授業は、受講者ご自身にパソコン等を持参して受講していただくこととしました。これにより、ご自身のパソコン等で、授業の受講、予習や復習を行うことができます。

2024年度第1学期に受講者がパソコン等を持参して受講する科目は、面接授業開講科目一覧(23ページ～)に「持参必須」と記載しています。また、面接授業 Web サイトでも対象科目の一覧を掲載しておりますので、ご参考になさってください。

面接授業ウェブサイト 1 学期
<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/byod/>



なお、受講にあたり必要な条件は科目により異なります。面接授業時間割冊子やシステム WAKABA のシラバスを必ずご確認ください、科目登録申請をしてください。

1. 受講に必要なパソコン等端末の種類 (パソコン、タブレット等) やソフトウェア (ウィンドウズやオフィス等) についてご確認ください。
2. 学習センターの無線 LAN (Wi-Fi) に接続する場合、所定の手続きを面接授業の受講前日までに 行う必要があります。手続きの詳細は、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
3. 学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な科目の場合、自宅やコンビニ等で印刷いただく必要があります。

科目コード		【授業内容】
学習センター	福岡学習センター	<p>この授業は自分用パソコン持込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 プログラミング入門 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返し処理 第5回 ミニ課題のレビュー 第6回 辞書処理とデータ型 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラミングを学ぶための環境を整えておきますが、使用するパソコンを持参していただく必要があります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 システムWAKABAにログインしておいてください。 Google Chromeをインストールしておいてください。</p> <p>要 【成績評価の方法】</p>
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	プログラミング演習 Python	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	16名	
担当講師	タツミ タケオ 辰巳 文夫 (放送大学教授)	

パソコン等を持参して受講する科目は【授業内容】の冒頭に以下のように記載しています。

この授業は自分用パソコン持込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。

【受講前の準備学習等】
 【受講者が当日用意するもの】
 【その他 (特記事項)】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

※Microsoft Office の学割について

放送大学在学中の学生は、株式会社内田洋行が提供するサービス「ウチダの Office 学割」を利用し、Microsoft Office を特別学割価格で購入できます。詳しくは以下をご覧ください。

Microsoft Office の学割について
<https://www.ouj.ac.jp/about/office-gakuwari/>



Ⅱ. 開設科目一覧

学習センター別面接授業開設科目一覧

【福岡学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
導入科目：生活と福祉	看護研究論文の読み方、まとめ方	5月25日(土)	橋口 暢子 松尾 和枝	25
		5月26日(日)		
導入科目：人間と文化	博物館浴入門	5月11日(土)	緒方 泉	23
		5月12日(日)		
導入科目：情報	プログラミング演習Python	5月18日(土)	辰己 丈夫	24
		5月19日(日)		
専門科目：生活と福祉	栄養化学	6月8日(土)	佐藤 匡央	25
		6月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月11日(土)	山本 健太郎	23
		5月12日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	5月18日(土)	花田 利郎	24
		5月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	6月8日(土)	藤村 まこと	26
		6月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月15日(土)	分部 利紘	26
		6月22日(土)		
専門科目：心理と教育	モチベーションの心理学	6月15日(土)	池田 浩	27
		6月16日(日)		

【北九州サテライトスペース開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	基礎からの中国語	5月18日(土)	秋吉 收	30
		5月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	5月11日(土)	菊池 悌一郎	29
		5月12日(日)		
専門科目：心理と教育	発達心理学	5月25日(土)	税田 慶昭	30
		5月26日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学実習	6月8日(土)	佐藤 仁美	31
		6月9日(日)		
専門科目：社会と産業	刑事司法と福祉	6月15日(土)	土井 政和	31
		6月16日(日)		
専門科目：情報	コンピュータの仕組み	4月20日(土)	南里 豪志	29
		4月21日(日)		

【佐賀学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	生活環境情報の表現－GIS入門	5月11日(土)	川原 靖弘	35
		5月12日(日)		
基盤科目：外国語	インターンシップの基礎英語	4月27日(土)	山崎 美穂子	34
		4月28日(日)		
導入科目：社会と産業	金融リテラシーを身につける	5月18日(土)	磯谷 智志 他7名	36
		5月25日(土)		
導入科目：情報	情報科学入門	6月1日(土)	堀 良彰	37
		6月2日(日)		
導入科目：自然と環境	実験で学ぶ色の科学と文化史	5月18日(土)	安池 智一	36
		5月19日(日)		
専門科目：生活と福祉	自閉スペクトラム症の理解と支援	6月1日(土)	松山 郁夫	38
		6月2日(日)		
専門科目：生活と福祉	佐賀の食べ物学	6月8日(土)	安田 みどり	38
		6月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	4月20日(土)	岡嶋 一郎	33
		4月21日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月8日(土)	橋口 晋	39
		6月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	6月22日(土)	日高 茂暢	40
		6月23日(日)		
専門科目：社会と産業	佐賀の豪雨災害と伝統的治水技術	5月25日(土)	大串 浩一郎	37
		5月26日(日)		
専門科目：人間と文化	佐賀の歴史と文化1	4月27日(土)	中尾 友香梨	34
		4月28日(日)		
専門科目：人間と文化	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	5月11日(土)	鈴田 由紀夫	35
		5月12日(日)		
専門科目：自然と環境	身近な自然から考える生物多様性	4月20日(土)	徳田 誠	33
		4月21日(日)		

【長崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	5月11日(土)	丹羽量久	44
		5月12日(日)		
基盤科目：外国語	英会話と文化	4月20日(土)	ダッツマン プライアン	43
		4月21日(日)		
導入科目：心理と教育	人間関係論入門	6月22日(土)	加来秀俊	48
		6月23日(日)		
導入科目：人間と文化	映像を支える音楽作曲家たち	5月18日(土)	堀内伊吹	45
		5月19日(日)		
専門科目：生活と福祉	口の機能、疾患と健康づくり	6月1日(土)	佐藤啓子 他6名	47
		6月2日(日)		
専門科目：生活と福祉	感染症とその治療薬	6月22日(土)	石井良和	49
		6月23日(日)		
専門科目：生活と福祉	映画から学ぶ児童虐待	6月29日(土)	永江誠治	49
		6月30日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学演習	5月25日(土)	波田野茂幸	46
		5月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	6月1日(土)	吉田ゆり	47
		6月2日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	7月6日(土)	橋口晋	50
		7月7日(日)		
専門科目：社会と産業	近世日本と長崎貿易	4月27日(土)	南森茂太	44
		4月28日(日)		
専門科目：社会と産業	刑事訴訟法	7月6日(土)	池谷和子	50
		7月7日(日)		
専門科目：人間と文化	くずし字で読む日本の古典	4月20日(土)	吉良史明	43
		4月27日(土)		
専門科目：人間と文化	16・17世紀の日本と欧州	6月8日(土)	杉森哲也	48
		6月9日(日)		
専門科目：情報	新しいサービス開発技術の潮流	5月18日(土)	小林透	46
		5月19日(日)		
専門科目：自然と環境	生命科学	5月11日(土)	竹下哲史	45
		5月18日(土)		
専門科目：自然と環境	五島灘洋上実習	7月6日(土)	森井康宏 山脇信博	51
		7月7日(日)		

【熊本学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	ホームページ作成の基礎	6月1日(土)	中野裕司	58
		6月2日(日)		
基盤科目：外国語	現在のドイツ語圏を見る	4月27日(土)	小池ウルスラヘレナ	54
		4月28日(日)		
専門科目：生活と福祉	超高齢社会におけるがん看護	5月25日(土)	樋口有紀	57
		5月26日(日)		
専門科目：生活と福祉	現代生活を支える最新医薬	6月8日(土)	國安明彦	59
		6月9日(日)		
専門科目：生活と福祉	食育の現状について考える	6月29日(土)	友寄博子	60
		7月6日(土)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学実習	4月20日(土)	佐藤仁美	53
		4月21日(日)		
専門科目：心理と教育	解決志向ブリーフセラピー入門	4月27日(土)	橋口真人	54
		4月28日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月11日(土)	寺本 涉	55
		5月12日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月15日(土)	安村 明	59
		6月22日(土)		
専門科目：社会と産業	生活環境と水	5月1日(水)	牧野厚史	55
		5月2日(木)		
専門科目：社会と産業	現代社会と税制度	5月18日(土)	山崎広道	56
		5月19日(日)		
専門科目：社会と産業	財務諸表分析の基礎	6月15日(土)	齋藤正章	60
		6月16日(日)		
専門科目：人間と文化	明治維新論	4月20日(土)	今村直樹	53
		4月21日(日)		
専門科目：人間と文化	付き合い方を問い直すメディア論	5月18日(土)	水元豊文	56
		5月19日(日)		
専門科目：自然と環境	分子生物学実験：DNAの解析	5月25日(土)	谷 時 雄	57
		5月26日(日)		
専門科目：自然と環境	生物の多様性と進化	6月1日(土)	高宮正之	58
		6月2日(日)		

【大分学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	英語で練習できるワークショップ	6月1日(土)	Shirley Gerald	67
		6月2日(日)		
導入科目：生活と福祉	看護学への誘い	5月18日(土)	安藤敬子	66
		5月19日(日)		
導入科目：社会と産業	日本をめぐる国際観光動向	6月15日(土)	鈴木晶	68
		6月16日(日)		
導入科目：人間と文化	音読・朗読による声の世界	4月20日(土)	花坂歩	63
		4月21日(日)		
導入科目：人間と文化	民俗学への誘い	5月11日(土)	段上達雄	65
		5月12日(日)		
導入科目：情報	生成AIの活用	6月22日(土)	鈴木雄清	69
		6月23日(日)		
導入科目：自然と環境	大分の災害と防災	4月20日(土)	鶴成悦久	63
		4月21日(日)		
導入科目：自然と環境	SDGsにおける生物多様性戦略	6月22日(土)	永野昌博	70
		6月23日(日)		
専門科目：生活と福祉	東洋医学・鍼灸と食養生	5月11日(土)	杉若晃紀 他2名	65
		5月12日(日)		
専門科目：生活と福祉	食中毒と食品衛生	5月25日(土)	牧昌生	66
		5月26日(日)		
専門科目：心理と教育	認知行動療法入門	4月27日(土)	川崎隆	64
		4月28日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月25日(土)	矢島潤平	67
		5月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月1日(土)	麻生良太	68
		6月2日(日)		
専門科目：情報	プレゼンテーションの理論と実践	4月27日(土)	加藤浩	64
		4月28日(日)		

【宮崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：保健体育	健康志向の運動実践	6月22日(土)	鶴田来美 吉永砂織	76
		6月23日(日)		
導入科目：生活と福祉	認知症の理解	7月13日(土)	稲田弘子	79
		7月14日(日)		
専門科目：生活と福祉	食と健康：食品の機能を活かす	6月29日(土)	水光正仁	77
		6月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	6月15日(土)	小澤拓大	75
		6月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	6月29日(土)	内藤健一	78
		6月30日(日)		
専門科目：社会と産業	地域経済の現状と展望	5月25日(土)	緒方哲	74
		5月26日(日)		
専門科目：社会と産業	住まいの基本と近代建築	6月22日(土)	堀部安嗣	77
		6月23日(日)		
専門科目：人間と文化	アンデスの文化遺産と博物館	4月27日(土)	鶴見英成	73
		4月28日(日)		
専門科目：人間と文化	方言とコミュニケーション	5月18日(土)	田中利砂子	74
		5月19日(日)		
専門科目：人間と文化	古代中国の思想・哲学を学ぶ	6月8日(土)	横山裕	75
		6月9日(日)		
専門科目：情報	AIの基礎から応用まで	5月11日(土)	坂本真人	73
		5月12日(日)		
専門科目：自然と環境	身の回りのあっと驚く化学体験3	6月15日(土)	菅本和寛	76
		6月16日(日)		
専門科目：自然と環境	海洋生物学実習	7月6日(土)	内田勝久	78
		7月7日(日)		

【鹿児島学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	4月13日(土)	岡村 浩 昭	81
		4月14日(日)		
基盤科目：外国語	英会話を楽しむ	6月8日(土)	Watson Matthew	86
		6月9日(日)		
基盤科目：外国語	基礎から学ぶ易しい日常英会話	6月29日(土)	坂本 育 生	88
		6月30日(日)		
導入科目：生活と福祉	動物医学と人の関わり	4月27日(土)	三浦 直 樹	83
		4月28日(日)		
導入科目：人間と文化	薩摩焼の考古学	4月20日(土)	渡辺 芳 郎	82
		4月21日(日)		
導入科目：人間と文化	古代日本の官僚の実態	5月11日(土)	糸尾 達 哉	84
		5月12日(日)		
導入科目：人間と文化	絵の見方・描き方	6月22日(土)	桶田 洋 明	87
		6月23日(日)		
導入科目：自然と環境	奄美から見た島嶼の人と自然	6月1日(土)	河合 宗 溪 山本 宗 立	89
		6月2日(日)		
導入科目：自然と環境	鹿児島湾洋上実習	6月1日(土)	幅野 明 正 他4名	86
		6月2日(日)		
専門科目：生活と福祉	老年期の健康科学	4月27日(土)	牧 迫 飛雄馬	83
		4月28日(日)		
専門科目：生活と福祉	社会保障のしくみと法	5月11日(土)	伊藤 周 平	84
		5月12日(日)		
専門科目：生活と福祉	身体を診る～生命を守るために	7月3日(水)	山内 豊 明	88
		7月4日(木)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	4月20日(土)	大坪 治 彦	82
		4月21日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月18日(土)	大 藺 博 記	85
		5月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学研究法の基礎	5月25日(土)	神 藺 紀 幸	85
		5月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学研究法の基礎	5月25日(土)	神 藺 紀 幸	89
		5月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	6月15日(土)	平 田 祐太朗	87
		6月16日(日)		
専門科目：人間と文化	『源氏物語』の正編を知る	4月13日(土)	武 藤 那賀子	81
		4月14日(日)		

【沖縄学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	暮らしに役立つ楽しい数学	5月18日(土)	日熊隆則	94
		5月19日(日)		
基盤科目	暮らしの中の統計	5月25日(土)	高木博	96
		5月26日(日)		
基盤科目	日本語の文章表現	6月8日(土)	高橋美奈子	98
		6月9日(日)		
導入科目：生活と福祉	暮らしの中の栄養学	6月1日(土)	玉城一	97
		6月2日(日)		
導入科目：生活と福祉	大人の食育	6月15日(土)	森山克子 森井直子	99
		6月16日(日)		
導入科目：心理と教育	荒れる子どものナゾを解く	6月1日(土)	丹野清彦	98
		6月2日(日)		
導入科目：社会と産業	行動経済学	5月11日(土)	堀勝彦	93
		5月12日(日)		
導入科目：人間と文化	食と農の地理学	6月29日(土)	小川護	101
		6月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	4月13日(土)	田中寛二	91
		4月14日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月11日(土)	井村弘子	93
		5月12日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	5月18日(土)	古川卓	95
		5月19日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学実習	6月22日(土)	佐藤仁美	100
		6月23日(日)		
専門科目：人間と文化	琉球三線音楽の歴史と鑑賞	4月13日(土)	金城厚	91
		4月14日(日)		
専門科目：人間と文化	沖縄の民俗—信仰とくらし—	4月20日(土)	稲福政斉	92
		4月21日(日)		
専門科目：人間と文化	沖縄の考古学	5月11日(土)	宮城弘樹	94
		5月12日(日)		
専門科目：人間と文化	古文書の語る琉球史	5月25日(土)	豊見山和行	97
		5月26日(日)		
専門科目：情報	「からだ」の情報を取り出す技術	4月20日(土)	國田樹	92
		4月21日(日)		
専門科目：情報	デジタルメディアと社会	6月29日(土)	青木久美子	101
		6月30日(日)		
専門科目：自然と環境	琉球列島の生物多様性と保全	6月8日(土)	小林峻	99
		6月9日(日)		
専門科目：自然と環境	植物の多様性と進化	6月15日(土)	渡邊謙太	100
		6月16日(日)		

科目区分別面接授業開設科目一覧

【基盤科目】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
生活環境情報の表現－GIS入門	佐 賀	35
新・初歩からのパソコン	長 崎	44
ホームページ作成の基礎	熊 本	58
新・初歩からのパソコン	鹿児島	81
暮らしに役立つ楽しい数学	沖 縄	94
暮らしの中の統計	沖 縄	96
日本語の文章表現	沖 縄	98

【基盤科目：外国語】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
基礎からの中国語	北九州	30
インターンシップの基礎英語	佐 賀	34
英会話と文化	長 崎	43
現在のドイツ語圏を見る	熊 本	54
英語で練習できるワークショップ	大 分	67
英会話を楽しむ	鹿児島	86
基礎から学ぶ易しい日常英会話	鹿児島	88

【基盤科目：保健体育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
健康志向の運動実践	宮 崎	76

【導入科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
看護研究論文の読み方、まとめ方	福 岡	25
看護学への誘い	大 分	66
認知症の理解	宮 崎	79
動物医学と人の関わり	鹿児島	83
暮らしの中の栄養学	沖 縄	97
大人の食育	沖 縄	99

【導入科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
人間関係論入門	長 崎	48
荒れる子どものナゾを解く	沖 縄	98

【導入科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
金融リテラシーを身につける	佐 賀	36
日本をめぐる国際観光動向	大 分	68
行動経済学	沖 縄	93

【導入科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
博物館浴入門	福 岡	23
映像を支える音楽作曲家たち	長 崎	45
音読・朗読による声の世界	大 分	63
民俗学への誘い	大 分	65
薩摩焼の考古学	鹿児島	82
古代日本の官僚の実態	鹿児島	84
絵の見方・描き方	鹿児島	87
食と農の地理学	沖 縄	101

【導入科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
プログラミング演習Python	福 岡	24
情報科学入門	佐 賀	37
生成AIの活用	大 分	69

【導入科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
実験で学ぶ色の科学と文化史	佐 賀	36
大分の災害と防災	大 分	63
SDGsにおける生物多様性戦略	大 分	70
鹿児島湾洋上実習	鹿児島	86
奄美から見た島嶼の人と自然	鹿児島	89

【専門科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
栄養化学	福岡	25
自閉スペクトラム症の理解と支援	佐賀	38
佐賀の食べ物学	佐賀	38
口の機能、疾患と健康づくり	長崎	47
感染症とその治療薬	長崎	49
映画から学ぶ児童虐待	長崎	49
超高齢社会におけるがん看護	熊本	57
現代生活を支える最新医薬	熊本	59
食育の現状について考える	熊本	60
東洋医学・鍼灸と食養生	大分	65
食中毒と食品衛生	大分	66
食と健康：食品の機能を活かす	宮崎	77
老年期の健康科学	鹿児島	83
社会保障のしくみと法	鹿児島	84
身体を診る～生命を護るために	鹿児島	88

【専門科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
心理学実験1	福岡	23
心理検査法基礎実習	福岡	24
心理学実験2	福岡	26
心理学実験3	福岡	26
モチベーションの心理学	福岡	27
心理検査法基礎実習	北九州	29
発達心理学	北九州	30
臨床心理学実習	北九州	31
心理学実験1	佐賀	33
心理学実験3	佐賀	39
心理学実験2	佐賀	40
臨床心理学演習	長崎	46
心理検査法基礎実習	長崎	47
心理学実験3	長崎	50
臨床心理学実習	熊本	53
解決志向ブリーフセラピー入門	熊本	54
心理学実験1	熊本	55
心理学実験3	熊本	59
認知行動療法入門	大分	64
心理学実験1	大分	67
心理学実験3	大分	68
心理学実験2	宮崎	75
心理学実験1	宮崎	78
心理学実験1	鹿児島	82
心理学実験1	鹿児島	85
心理学研究法の基礎	鹿児島	85
心理検査法基礎実習	鹿児島	87
心理学研究法の基礎	鹿児島	89
心理検査法基礎実習	沖縄	91
心理学実験1	沖縄	93
心理学実験2	沖縄	95
臨床心理学実習	沖縄	100

【専門科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
刑事司法と福祉	北九州	31
佐賀の豪雨災害と伝統的治水技術	佐 賀	37
近世日本と長崎貿易	長 崎	44
刑事訴訟法	長 崎	50
生活環境と水	熊 本	55
現代社会と税制度	熊 本	59
財務諸表分析の基礎	熊 本	60
地域経済の現状と展望	宮 崎	74
住まいの基本と近代建築	宮 崎	77

【専門科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
佐賀の歴史と文化1	佐 賀	34
ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐 賀	35
くずし字で読む日本の古典	長 崎	43
16・17世紀の日本と欧州	長 崎	48
明治維新論	熊 本	53
付き合い方を問い直すメディア論	熊 本	56
アンデスの文化遺産と博物館	宮 崎	73
方言とコミュニケーション	宮 崎	74
古代中国の思想・哲学を学ぶ	宮 崎	75
『源氏物語』の正編を知る	鹿児島	81
琉球三線音楽の歴史と鑑賞	沖 縄	91
沖縄の民俗—信仰とくらし—	沖 縄	92
沖縄の考古学	沖 縄	94
古文書の語る琉球史	沖 縄	97

【専門科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
コンピュータの仕組み	北九州	29
新しいサービス開発技術の潮流	長 崎	46
プレゼンテーションの理論と実践	大 分	64
AIの基礎から応用まで	宮 崎	73
「からだ」の情報を取り出す技術	沖 縄	92
デジタルメディアと社会	沖 縄	101

【専門科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
身近な自然から考える生物多様性	佐 賀	33
生命科学	長 崎	45
五島灘洋上実習	長 崎	51
分子生物学実験：DNAの解析	熊 本	57
生物の多様性と進化	熊 本	58
身の回りのあっと驚く化学体験3	宮 崎	76
海洋生物学実習	宮 崎	78
琉球列島の生物多様性と保全	沖 縄	99
植物の多様性と進化	沖 縄	100

Ⅲ. 案内図・授業概要

福岡学習センター

(コード：40A)

福岡学習センター案内図

☎092-585-3033



【所在地】〒816-0811 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内総合研究棟2階)
※建物改修のため、2024年度はE棟から総合研究棟に仮移転中

【交通アクセス】

- (1) JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)
- (2) 西鉄白木原駅から徒歩20分

※土日に限り、九州大学筑紫キャンパス内の駐車場を利用できます。(入口は「春日公園3」1カ所です)
※大野城門からは徒歩のみ通行可。

【その他連絡事項】

(教科書について)

・各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。福岡学習センターでは販売していません。

(出欠について)

・教室内に準備している「出欠確認表」に各自署名してください。「出欠確認表」は時限毎に準備していますので1日4枚(2日間で8枚)となります。署名忘れは欠席扱いとなりますので忘れず署名してください。

(昼食について)

・平日・土曜日については、九州大学筑紫キャンパス内の学食をご利用いただけます。
(利用時間: 火～金10:30～15:00・17:00～20:00、土 10:30～14:00 ※日曜日は休み ※変更が生じる場合があります。)
・福岡学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

(宿泊施設について)

・JR大野城駅周辺には、宿泊施設はありません。JR博多駅周辺の宿泊施設をご利用ください。福岡市内のホテルは、コンサート等のイベント開催により、予約を取ることが難しくなる場合がありますので、早めの予約をお勧めします。(南福岡、二日市、鳥栖、久留米エリア等の宿泊施設もご確認ください)

科目コード	2645319	授 業 概 要	<p>カナダでは、2018年から「処方箋に博物館と書く」という取り組みが始まりました。博物館は、「知的刺激、学び、楽しみ」の場ですが、欧米では「健康の場」「ウェルビーイングの場」「メンタルヘルスの場」としての利用が模索されています。今回は、日本でも2020年から研究が始まった「博物館浴」の紹介とともに、受講生が実証実験に参加することで、博物館の新たな価値創造を考える機会とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「博物館浴」実証実験1ー九州産業大学美術館を事例にして 第2回 「博物館浴」とは？ー博物館の新たな価値創造を考える 第3回 「博物館浴」研究の動向1ーWHO報告書を読み解く 第4回 「博物館浴」研究の動向2ーイギリス、アメリカなどの研究を読み解く 第5回 「博物館浴」研究を進めるためにー「森林浴」研究から学ぶこと 第6回 「博物館浴」実証実験2ー九州産業大学美術館を事例にして 第7回 博物館の新たな価値創造を考える（グループワーク） 第8回 グループ発表「博物館の新たな価値創造」</p> <p>【学生へのメッセージ】 皆さんは、博物館が好きですか？我が国には、5,700館以上あります。しかし、国民は1年間に利用する回数は「1.2回」です。今回は、九州産業大学美術館を事例に、博物館の新たな価値を創造します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 「博物館浴」による新たな博物館の価値創造について、グループで話す材料をあらかじめ予習しておいてください。「博物館浴」で検索すると、関係記事が閲覧できます。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、学生証を持参してください。受講生には別途詳細をお知らせします。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としておりますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	博物館浴入門		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	オガタ イズミ 緒方 泉 九州産業大学 地域共創学部特任教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月12日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	九州産業大学15号館1階教室 および大学美術館 （福岡市東区松香台2-3-1） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2636360	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。 取り上げるテーマは、「ミュラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「概念学習」です。 単位の修得には全ての回に出席し、その3つの全てのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学における研究手法 第2回 ミュラー・リヤー錯視：実験・解説 第3回 ミュラー・リヤー錯視：データ整理 第4回 ミュラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方 第5回 アイコニックメモリ：実験・解説 第6回 アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方 第7回 概念学習：実験・解説 第8回 概念学習：データ整理・レポートのまとめ方</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（無線LANに接続可能なもの。【受講前の準備学習等】要確認）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。必ずです。 ・Excelが必要。必ずです。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・講義室内にプリンターはありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで（板口典弘、山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091）</p> <p>【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ヤマモト ケン タ ロウ 山本 健太郎 九州大学大学院 人間環境学研究院講師		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月12日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター （九州大学筑紫キャンパス内講義室） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645289	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 内容：プログラミングを一度も学んだことがない人を対象に、オンライン授業「プログラミング入門Python（24）」の内容の一部を、演習を豊富に取り入れて実施します。まずは、プログラミングの考え方に慣れることを目的として、Scratchについて紹介します。 対象：プログラミングを学んだことがない人、Python以外のプログラミング言語を学んだことがある人。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	プログラミング演習 Python		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220	業	【授業テーマ】 第1回 プログラミングとはなにか、考え方に慣れる 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返しの書き方と簡単なプログラムの作成 第5回 ミニ課題のレビュー、統計処理入門 第6回 統計処理とデータ科学 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成と保守 【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラミングの方法を、パソコンを利用した演習をしながら学びますが、使用するパソコンは、原則として各自のパソコンを利用する「自分用パソコン持ち込み方式」で授業を行います。「受講者が当日用意するもの」に注意してください。 【受講前の準備学習等】 システムWAKABAにログインして、キャンパスメールを読み書きできるようにしておいてください。 Google Chromeをインストールしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	16名		
担当講師	タツミ タケオ 辰己 丈夫 放送大学教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月19日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		
科目コード	2636433	授	医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。 8回の授業全てに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（意義、種類）／実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」 第2回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第3回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第4回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第5回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第6回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第7回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第8回 まとめ（テストバッテリー、検査の倫理） 【学生へのメッセージ】 課題の中には、心理検査を実際に体験し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。 【受講前の準備学習等】 実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320	業	【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	24名		
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月19日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時は閉講		
科目コード	2636433	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 内容：プログラミングを一度も学んだことがない人を対象に、オンライン授業「プログラミング入門Python（24）」の内容の一部を、演習を豊富に取り入れて実施します。まずは、プログラミングの考え方に慣れることを目的として、Scratchについて紹介します。 対象：プログラミングを学んだことがない人、Python以外のプログラミング言語を学んだことがある人。 【授業テーマ】 第1回 プログラミングとはなにか、考え方に慣れる 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返しの書き方と簡単なプログラムの作成 第5回 ミニ課題のレビュー、統計処理入門 第6回 統計処理とデータ科学 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成と保守 【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラミングの方法を、パソコンを利用した演習をしながら学びますが、使用するパソコンは、原則として各自のパソコンを利用する「自分用パソコン持ち込み方式」で授業を行います。「受講者が当日用意するもの」に注意してください。 【受講前の準備学習等】 システムWAKABAにログインして、キャンパスメールを読み書きできるようにしておいてください。 Google Chromeをインストールしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320	業	【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	24名		
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月19日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2636433	授	医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。 8回の授業全てに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（意義、種類）／実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」 第2回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第3回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第4回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第5回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第6回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第7回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第8回 まとめ（テストバッテリー、検査の倫理） 【学生へのメッセージ】 課題の中には、心理検査を実際に体験し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。 【受講前の準備学習等】 実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320	業	【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	24名		
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月19日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時は閉講		
科目コード	2636433	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 内容：プログラミングを一度も学んだことがない人を対象に、オンライン授業「プログラミング入門Python（24）」の内容の一部を、演習を豊富に取り入れて実施します。まずは、プログラミングの考え方に慣れることを目的として、Scratchについて紹介します。 対象：プログラミングを学んだことがない人、Python以外のプログラミング言語を学んだことがある人。 【授業テーマ】 第1回 プログラミングとはなにか、考え方に慣れる 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返しの書き方と簡単なプログラムの作成 第5回 ミニ課題のレビュー、統計処理入門 第6回 統計処理とデータ科学 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成と保守 【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラミングの方法を、パソコンを利用した演習をしながら学びますが、使用するパソコンは、原則として各自のパソコンを利用する「自分用パソコン持ち込み方式」で授業を行います。「受講者が当日用意するもの」に注意してください。 【受講前の準備学習等】 システムWAKABAにログインして、キャンパスメールを読み書きできるようにしておいてください。 Google Chromeをインストールしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320	業	【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	24名		
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月19日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645270	授 業 概 要	<p>本科目では、主に看護職者を対象に日常の職務の中で芽生えた疑問や課題を解決するために必要となる研究論文を批判的思考をもって読み込み、整理する方法を学習し、研究のステップにつなげることを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 看護における研究とは（橋口） 第2回 研究の進め方の概要（橋口） 第3回 研究、看護活動における文献の活用の意義（松尾） 第4回 文献の活用に必要な基礎知識1（橋口） 第5回 文献の活用に必要な基礎知識2（橋口） 第6回 文献の内容検討1（松尾） 第7回 文献の内容検討2（松尾） 第8回 文献内容の整理と研究課題の導き方（松尾）</p> <p>【学生へのメッセージ】 既に発表されている研究論文を実際に読んでいただき、その内容についてのグループワークや発表、討議を計画しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	看護研究論文の読み方、まとめ方		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	ハシグチ ノブコ 橋口 暢子 九州大学大学院医学研究院教授 マツオ カズエ 松尾 和枝 九州大学大学院医学研究院講師		
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月26日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645297	授 業 概 要	<p>食生活を含む生活習慣が原因で発症する疾病が増大する現在、健全な食生活について考えることは人生においても重要課題です。とくに三大栄養素である糖質、脂質、タンパク質の化学と供給源、それらの体内代謝および、過剰摂取と欠乏による生体応答についての理解は、食事および栄養問題解決に必要な知識です。また、栄養学の一般的な結論と、疾病という個人的な問題の解決についてどの様に結びつけるかも、大きな課題の一つでもあります。栄養学の知識を得るといことはどういうことかを、この機会に是非知って頂きたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 栄養素の化学と供給源 第2回 栄養素の摂取と消化 第3回 糖質（分類、摂取の意義、摂取基準） 第4回 糖質（代謝的運命） 糖尿病 第5回 タンパク質・アミノ酸（分類、摂取の意義、摂取基準） 第6回 アミノ酸（代謝的運命） 身体活動・運動 第7回 脂質Ⅰ（分類、摂取の意義、摂取基準） 第8回 脂質Ⅱ（代謝的運命運命）</p> <p>【学生へのメッセージ】 日常の食生活を見直してみませんか？</p> <p>【受講前の準備学習等】 日常の自分自身の食事内容を1週間分把握して下さい。レポート用紙に書き出して下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	栄養化学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サトウ マサオ 佐藤 匡央 九州大学大学院 農学研究院教授		
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月9日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636387	授	心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、8コマすべての授業の出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	フジムラ 藤村 まこと 福岡学院大学 人間関係学部准教授		
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	業	【授業テーマ】 第1回 心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説 第2回 実験1：印象形成（中心特性の働き） 第3回 実験1：結果の整理とまとめ 第4回 実験2：運動技能学習におけるフィードバック 第5回 実験2：結果の整理とまとめ 第6回 実験3：要求水準 第7回 実験3：結果の整理とまとめ 第8回 全体のまとめ
	6月9日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		【学生へのメッセージ】 私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。
			【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室)	要	【受講者が当日用意するもの】 アイマスク、電卓
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。

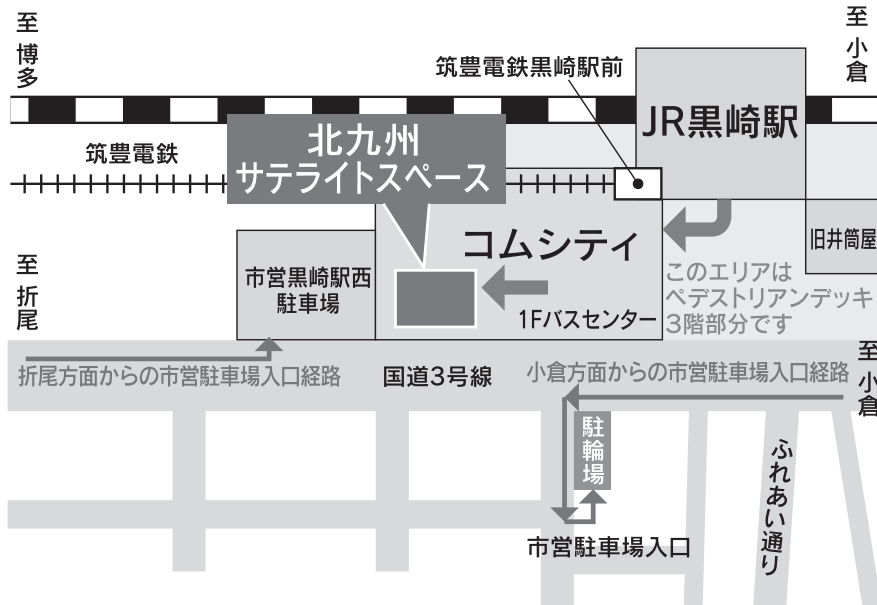
科目コード	2636409	授	心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を3つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、8コマ全ての授業への出席、ならびに3つの実験全てについてのレポートの作成が必要となります。
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ワケベ トシヒロ 分部 利紘 西南学院大学 人間科学部准教授		
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	業	【授業テーマ】 第1回 実験法の基礎およびレポート執筆の概説 第2回 触2点閾の測定 第3回 データの解析とまとめ 第4回 ストループ効果 第5回 データの解析とまとめ 第6回 鏡映描写 第7回 データの解析とまとめ 第8回 全体のまとめ
	6月22日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		【学生へのメッセージ】 “こころ”は目で見たり手で触れたりすることができないものです。 そのような“こころ”を心理学ではどのようにして捉えるのでしょうか？ 本講義をもとに、ともにその術を学んでいきましょう。
			【受講前の準備学習等】 触2点閾では閾値、ストループ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室)	要	【受講者が当日用意するもの】 授業ではノートパソコンは使用しませんが、レポート作成用としてご自身でノートパソコン等(Word、Excelがインストールされたもの)を持参しても構いません(手書き作成の場合は持参不要です)。インターネットへの接続は不要です。また、講義室内に電源設備、プリントアウトの環境がありませんのでご注意ください。
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2645300	授	<p>昨今、働く人々の環境は大きく変化しています。働き方改革はもとより、コロナ禍に伴うテレワークの導入など、働く人々にはますます自発的に仕事に取り組む自律的なモチベーションが求められています。本講義では、昨今の働く環境において、どうすれば活き活きと働くことができるかについて、最新の産業・組織心理学や社会心理学の知見をもとに概説していきます。加えて、リーダーの視点から、従業員の自律的なモチベーションをいかに引き出すことができるかについても最新のデータをもとに理解していきます。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	モチベーションの心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名	業	<p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 モチベーション（意欲、やる気）とは何か：時代背景とモチベーション研究の変遷</p> <p>第2回 自律的モチベーションはいかに生まれるか</p> <p>第3回 多忙化が招く落とし穴とその克服</p> <p>第4回 心の疲弊化を招く感情労働と仕事への意義</p> <p>第5回 シニアによる心の壁の克服と意欲の再燃焼</p> <p>第6回 チームにおけるモチベーションの伝染</p> <p>第7回 個人とチームの自律性を醸成するサーバントリーダーシップ</p> <p>第8回 まとめ</p>
担当講師	イケダヒロシ 池田浩 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授		<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本講義では、現場の事例や映像資料、受講者との対話を取り入れながら授業を進めていきます。</p> <p>また、仕事場面の話が中心になりますが、スポーツや勉強など様々な場面にも通じる話ですので、問題意識を持って受講頂ければ有意義な学びになるかと思えます。</p>
日程実施時間	6月15日（土）	概	<p>【受講前の準備学習等】</p> <p>働いている方であれば、普段皆さんが何によって意欲づけられているかを振り返ってみてください。</p>
	第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50		<p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
実施会場	6月16日（日）	要	<p>【教科書】</p> <p>モチベーションに火をつける 働き方の心理学（池田浩／日本法令／¥1,760／ISBN=9784539728116）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。</p>
	第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<p>【参考書】</p> <p>モチベーションの心理学―「やる気」と「意欲」のメカニズム（鹿毛雅治／中央公論新社／¥1,100／ISBN=9784121026804）</p> <p>人を伸ばす力―内発と自律のすすめ―（デシ, E. L., フラスト, R. (著) 桜井茂男 (訳)／新曜社／¥2,640／ISBN=9784788506794）</p>
	福岡学習センター (九州大学筑紫キャンパス内講義室)		
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で開講		

北九州サテライトスペース

(コード：40S)

北九州サテライトスペース案内図 ☎093-645-3201



【所在地】

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
(黒崎コムシティ3階)

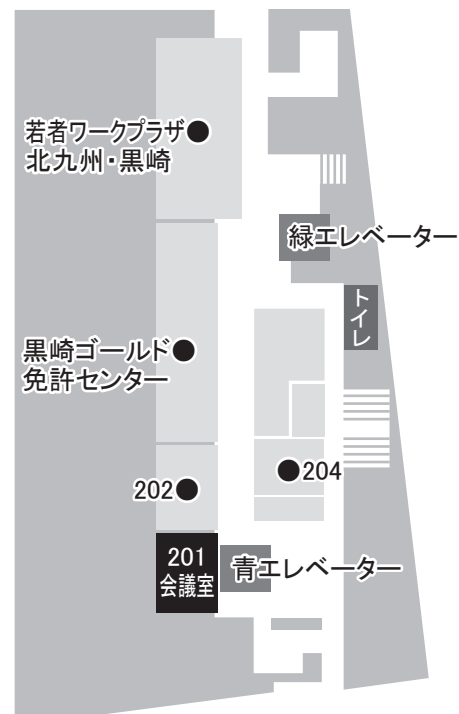
【交通アクセス】

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄バス：黒崎バスセンターから徒歩3分

【その他連絡事項】

※会場には駐車スペースはありません。
※面接授業に必要な教科書は北九州サテライトスペースでは販売していませんので、各自書店等で事前に購入してください。

2階201会議室



科目コード	2645351	授 業 概 要	<p>パソコンで計算をしたり写真を表示したりする時に、内部のどんな部品でどんなことが行われているか、を紹介します。また、最近ニュースで耳にするスーパーコンピュータや人工知能についても、仕組みを説明します。この講義を聞いてもパソコンの使い方が上手になるわけではありません。でも、もしかしたら、普段コンピュータに感じている、「なぜだろう?」、「なんだろう?」という疑問やもやもやが少しすっきりするかもしれません。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 私たちの身の回りのコンピュータ 第2回 数字で情報を表す 第3回 電気で計算する 第4回 コンピュータの基本的な仕組み 第5回 プログラムの動き 第6回 コンピュータの歴史 第7回 スーパーコンピュータとパソコンの違い 第8回 人工知能とは</p> <p>【受講前の準備学習等】 コンピュータに関して日ごろ感じている疑問などをメモしておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 コンピュータ、どうやってつくったんですか? はじめて学ぶ コンピュータの歴史としくみ (川添 愛/東京書籍/¥1,870 / ISBN=9784487811892)</p>
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	コンピュータの仕組み		
科目区分	専門科目:情報		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ナンリ タケシ 南里 豪志 九州大学 情報基盤研究開発センター准教授		
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 4月21日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636433	授 業 概 要	<p>心理検査はパーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。この授業では、心理検査について3つ(自己概念尺度 バウムテスト TEG)取り上げ、心理検査の理論的背景などを解説します。また実際に心理検査を体験し、自己理解を深めます。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの心理検査全てについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査について 第2回 検査実習1 自己概念尺度 第3回 検査実習2 バウムテスト 第4回 心理検査の信頼性・妥当性 第5回 質問紙法・投影法・作業検査の特徴 第6回 検査実習3 TEG 第7回 テストバッテリーについて 第8回 心理検査における倫理</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業では、様々な心理検査を体験し、自己分析していただきます。グループでのディスカッションなどを行うこともありますので、積極的な授業参加をお願いします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 描画法を実施するため、4Bなどの柔らかい鉛筆を用意してください。また集計のため、定規と電卓を持参してください。時間中にレポート作成してもらいますので、パソコンを持参してのレポート作成も許可します。しかしながら、当日は電源設備、インターネット、プリントアウトの環境がありません。作成したレポートは、1週間後までに郵送もしくはメールで提出してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。</p>
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	キクチ テイチロウ 菊池 悌一郎 九州工業大学 キャンパスライフ支援本部准教授		
日程実施時間	5月11日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月12日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645327	授 業 概 要	<p>この授業では、中国語入門段階の必修事項を身に付けることを目標とします。まずは発音に重点を置きながら、語彙、文法、会話へと発展させていきます。一言でも中国語で話しかけると、中国の方は本当に嬉しそうな笑顔を見せてくれます。福岡・北九州は特に中国からの旅行者や留学生も多いですので、積極的に話しかけて、世界を拓きましょう。</p> <p>授業の中では、学習する言語とその言語が使用される実際の空気を感じて頂くために、映画鑑賞の時間も設けます。</p> <p>そして、現代中国（ひいては台湾等華人社会）に対する理解をも深めていければと思っています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 中国語（圏）、世界における中国、そして日本 第2回 発音練習（1、声調・母音） 第3回 発音練習（2、鼻音・子音） 第4回 実際の中国語に触れる（映画等視聴） 第5回 挨拶など基本的な会話練習 第6回 基本的な文型（1、私は日本人です。） 第7回 基本的な文型（2、これは何ですか？） 第8回 中国語での自己紹介にチャレンジ！</p> <p>【学生へのメッセージ】 21世紀はアジアの時代と言われる現在、日本にも外国から訪れる人が飛躍的に増えています。その中でもやはりお隣の中国から来られる方は大きな割合を占めています。</p> <p>今日学習した中国語はもう今日から実際に使えることでしょう。歴史的、文化的にも日本と深い関係にある中国と、言葉を通して実際に触れ合う喜びを感じて下さい。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 テキストは、プリントで講師が準備しますので、教科書購入の必要はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	40S		
クラスコード	Q		
科目名	基礎からの中国語		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	アキ ヨシ シュウ 秋 吉 收 九州大学大学院 言語文化研究院教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月19日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645335	授 業 概 要	<p>発達心理学は、年齢に関連した経験と行動にみられる変化の科学的理解に関する学問です（Butterworth, 1994）。本講義では乳児期・幼児期のコミュニケーション発達を中心に特徴的なテーマを取り上げ、人間の発達に関する心理学的理解を深めることを目的とします。また、発達における障害について、その基本的な理解や支援について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 胎児期・乳児期の赤ちゃんの発達【知覚】 第2回 乳児期の赤ちゃんの認知と言語の発達【認知、言語】 第3回 乳児期の人との関係のはじまりについて【発達早期のコミュニケーション】 第4回 愛着の形成【愛着、内的作業モデル】 第5回 愛着の形成【成人の愛着、愛着の世代間伝達】 第6回 乳幼児期のコミュニケーション発達【共同注意】 第7回 他者とのコミュニケーション、心を推測する力【表象、心の理論】 第8回 発達障害の基本的理解</p> <p>【学生へのメッセージ】 乳幼児健診での心理士としての経験などを踏まえ、紹介をしていきます。乳幼児期のコミュニケーション発達について学びたい方におすすめします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	40S		
クラスコード	Q		
科目名	発達心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サイ タ ヤス アキ 税 田 慶 昭 北九州市立大学 文学部准教授		
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月26日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

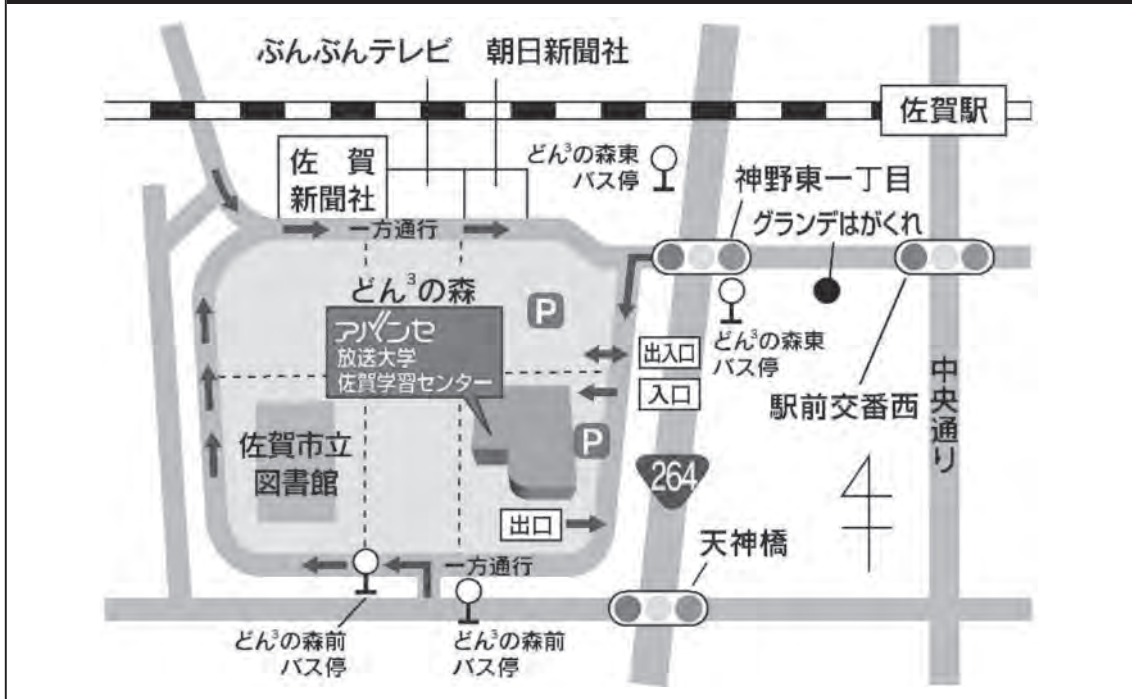
科目コード	2636972	<p>臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	臨床心理学実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	サ トウ ヒト ミ 佐藤 仁美 放送大学准教授	
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	
	6月9日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645343	<p>近年、犯罪行為をした人の中で、高齢者や障害者、依存症を抱えている人などに対する刑事司法の在り方に関心が高まり、刑事司法と福祉の連携をめぐり、様々な試行や制度が整備されつつあります。その過程で、伝統的な刑事司法の見直しだけでなく、社会福祉士養成プログラムのカリキュラムの中に「刑事司法と福祉」の科目も導入されています。本授業では、刑事司法と福祉の連携が具体的にどのような形で行われているのか、それは刑事司法や福祉にどのような影響を与えているのかを検討します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 刑事司法と福祉(総論) 第2回 伝統的刑事司法と問題解決型司法 第3回 刑事手続きにおける猶予制度と福祉 第4回 少年司法と福祉 第5回 行刑(施設内処遇)と福祉 第6回 更生保護(社会内処遇)と福祉(その1) 第7回 更生保護(社会内処遇)と福祉(その2) 第8回 コミュニティと刑事司法</p> <p>【受講前の準備学習等】 最近の報道の中で「刑事司法と福祉」に関する情報を収集し、問題意識を持つておくことをお勧めします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座10 刑事司法と福祉(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集/中央法規(2021)/¥2,750 / ISBN=9784805882405)</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	刑事司法と福祉	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ド イ マサ カズ 土井 政和 九州大学名誉教授	
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	
	6月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11

(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

- JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

- JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どん3)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2636360	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他 (特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における代表的実験を3つ (ミューラー・リヤー錯視、対人魅力、情報伝達 (パートレットの系列的再生)) 取り上げて、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は8コマの授業すべてに出席し、3つの実験全てのレポートを提出する必要があります。
学習センター (コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		
科目区分	専門科目: 心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	オカ ジマ イチ ロウ 岡 嶋 一 郎 西九州大学 子ども学部教授	業	【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1 (ミューラー・リヤー錯視) 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート作成 第5回 実験実習2 (対人魅力) 第6回 実験実習2のデータ分析とレポート作成 第7回 実験実習3 (情報伝達) 第8回 実験実習3のデータ分析とレポート作成
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 4月21日 (日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 レポートは、目的・方法・結果・考察を含む執筆をします。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室 ※不測の事態発生時は閉講		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 無線LAN (Wi-Fi) 接続のできるノートパソコンを持参してください。 2. OSは、Windows10または11のみです (これは実験プログラムの都合によります)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クロム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートは、原則として授業中に、持参した端末から放送大学佐賀学習センター宛にメール送信してもらいます。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 心理学実験・研究レポートの書き方―学生のための初歩から卒論まで (B.フィンドレイ 著、細江達郎、細越久美子訳/北大路書房/¥1,430 / ISBN=9784762820465)
		【その他 (特記事項)】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった場合は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。	

科目コード	2645459	授	私たちの身近で暮らす生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。
学習センター (コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	身近な自然から考える 生物多様性		
科目区分	専門科目: 自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	トク ダ マコト 徳 田 誠 佐賀大学 農学部教授	業	【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか: 植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性: 植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち: 寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略: 一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1: 地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2: 侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち: 森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから: 私たちにできること
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 4月21日 (日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しください (両日とも雨天の場合には室内学習のみとします)。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
		【その他 (特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(開設科目一覧P.17参照)	

科目コード	2645378	<p>このコースでは、リスニングとライティングの向上を目指します。インターンシップ（就業体験）先で「英語を使う」ことをイメージしながら、簡単な英会話の聞き取りや基本的な文法事項を学びます。また、英文日誌の内容を理解し、学習した英語表現をもとに自分自身についての英作文を作成します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 Unit 1 Welcome to the "Big Apple" 第2回 Unit 2 What's the Boss Like? 第3回 Unit 3 Masa's First Day on the Job 第4回 Unit 4 Summer Fun 第5回 Unit 5 Hotel Guest Satisfaction 第6回 Unit 6 Brainstorming 第7回 Unit 7 Glad to Be of Service 第8回 Unit 8 Socializing with Co-Workers</p> <p>【学生へのメッセージ】 英語の聴解力、読解力を伸ばすために、積極的に授業に参加し学んでいきましょう。また、英作文の際には和英辞書（電子辞書可）が必携ですので、必ず持参してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業で学習する各Unit1～8の最初のGetting Ready Aに目を通して、知らない語句の意味を確認しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 教科書および英和・和英辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。</p> <p>【教科書】 English Missions! Basic (Robert Hickling・白倉美里／金星堂／¥2,090／ISBN=9784764740716) 教科書は必携ですので、受講者は早めに各書店やインターネットにて注文の上、購入しておいてください。また、同じタイトルのテキストがありますので、購入時には（Basic）であることを、必ず確認してください。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	インターンシップの基礎英語	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	21名	
担当講師	ヤマザキ ミホコ 山崎 美穂子 福岡大学非常勤講師	
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月28日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645432	<p>佐賀藩の成立と発展の歴史について学びます。城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に学びます。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 佐賀藩の成立 第2回 本藩と支藩 第3回 フィールドワークの事前学習 第4回 フィールドワーク（松原神社、佐嘉神社等） 第5回 城下町の整備と長崎街道 第6回 フィールドワーク（鍋島緞通、長崎街道等） 第7回 フィールドワーク（佐賀市歴史民俗館） 第8回 まとめ、レポート作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 佐賀藩の成立と発展の歴史について基礎的な内容をわかりやすく解説します。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークと組み合わせ理解を深めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 フィールドワークを行いますので、歩きやすい服装や履き物で参加してください。雨天の場合も現地研修を行いますので、雨具を必ずご持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	佐賀の歴史と文化1	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 全学教育機構教授	
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月28日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀市歴史民俗館 （旧古賀家1号室等） （佐賀県佐賀市柳町3-15） ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645360	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 私たちが生活で利用する多くの「情報」は、時空間情報（時間と位置の情報）を属性として持っています。スマートフォンで地図を参照しながら、天気の情報や目的地に関する情報を得たりすることは、多くの人にとって日常的なこととなりました。 この講義では、位置情報と紐付けられたデータを用いて、地図上でのデータの可視化や解析を、演習を通して行っていきます。地図上でデータの可視化や解析を行うソフトウェアのことを「GIS（地理情報システム）」といい、多くの学問分野で用いられていますが、日常的にスマートフォンで見ている地図もその一つです。このGISを用いて、位置を伴う情報の扱い方や地図上での表現方法について、演習を交えながら解説します。
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K	業	【授業テーマ】 第1回 地理空間情報とGIS 第2回 地理空間データの表現 第3回 オープンデータの利用とマッピング 第4回 地理空間情報解析 第5回 テーマを定めた地図の作成 第6回 テーマを定めた地図の作成（つづき） 第7回 テーマを定めた地図の作成（つづき） 第8回 発表とディスカッション
科目名	生活環境情報の表現－GIS入門		
科目区分	基盤科目	業	【学生へのメッセージ】 日常生活空間における位置を伴う情報（地理空間情報）の扱い方や電子地図における活用に関心がある方は、興味深く受講できると思います。データを見たり編集したりする際に、表計算ソフト（マイクロソフトエクセル）を使用しますが、このようなソフトの基本的な操作ができれば、受講にあたりその他の専門知識は必要ありません。オンライン授業の同名の科目と内容が重複する部分がありますが、演習中にその場でサポートや質疑応答が可能です。
ナンバリング	120		
定員	15名	業	【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・ファイル/フォルダの保存や移動方法など、パソコンの基本操作は習得した上で受講してください。 ・ArcGIS Online を使用して演習を行います。このソフトについては当日説明するので事前準備は必須ではありませんが、Webブラウザで利用できるソフトなので、次の方法でどのようなソフトか知ることができます。 1. Webブラウザの準備 次のwebサイトで、対応しているwebブラウザを確認し、いずれかのwebブラウザでアクセスしてください。 https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/reference/browsers.htm 2. 基本機能の確認 次のwebサイトにアクセスし、地図の表示、地図レイヤーの選択、地図の縮尺レベルの変更をはじめ、どのようなことができるのか見ることができます。 https://ej-education.maps.arcgis.com/home/webmap/viewer.html?webmap=f1a4f6ffe04c238aa813bd53c73a054
担当講師	カワハラ ヤスヒロ 川原 靖弘 放送大学准教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40	業	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと当日の発表により行います。
	5月12日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	業	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等） 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）の最新バージョンが必要です。 ・Excelが必要で 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
	※不測の事態発生時は閉講		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	業	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 この授業はパソコンを使用します。授業内でパソコンを使用する場合に、ログイン操作が必要になりますので、あらかじめIDとパスワードを準備しておいて下さい。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
実施会場	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645440	授	約400年前に日本最初の磁器として創始された有田焼は、国内のみならず海外にも広く流通しました。各時代に作られた有田焼の魅力を理解し、その受容の歴史をたどると各国の生活様式や文化の特徴を知ることができます。また有田に残る史跡や町並みを見学して生産地のリアルな歴史を体感します。
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K	業	【授業テーマ】 第1回 陶磁器の歴史と文化1（肥前陶磁と国内流通） 第2回 陶磁器の歴史と文化2（海外輸出） 第3回 町内見学（泉山磁石場、有田町歴史民俗資料館等） 第4回 町内見学（窯跡、街並み保存地区等） 第5回 陶磁器の歴史と文化3（展示室の蒲原コレクション） 第6回 陶磁器の歴史と文化4（展示室の柴田夫妻コレクション） 第7回 陶磁器の歴史と文化5（古伊万里の見方） 第8回 陶磁器の歴史と文化6（産地の伝統）
科目名	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化		
科目区分	専門科目：人間と文化	業	【学生へのメッセージ】 陶磁器は単に美しいものの鑑賞に留まらず、見方が分かれば様々な情報を引き出すことができます。古陶磁の歴史的な背景を理解し、その時代の文化や人々の暮らしぶりを楽しみましょう。
ナンバリング	320		
定員	20名	業	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
担当講師	スズタ ユキオ 鈴木 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館館長		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40	業	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
	5月12日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀県立九州陶磁文化館 （佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1）	業	【受講者が当日用意するもの】 授業1日目はフィールドスタディを行うため、歩きやすい服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 古伊万里の見方シリーズ1 種類（佐賀県立九州陶磁文化会館／佐賀県立九州陶磁文化会館／¥800）本書は佐賀県立九州陶磁文化会館受付で販売しています。郵送での購入方法はホームページをご覧ください。シリーズは2成形、3装飾、4窯詰め、5形と用途もあります。
	※不測の事態発生時は閉講		
実施会場	佐賀県立九州陶磁文化館 （佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1）	業	【その他（特記事項）】 授業1日目の第3時限は町内の泉山磁石場で集合です。その後第4時限も徒歩で町内の窯跡や街並みを散策します。解散場所は街並みですが、車で参加される方は駐車場の関係で泉山磁石場に戻るようになります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）
実施会場	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645386	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他 (特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 私たちが毎日の生活を過ごすうえで「お金」(金融)は欠かせません。本講義では、金融リテラシー (金融に関する知識・判断力) を高め、より自立的で安心かつ豊かな生活を送っていくために必要な力 (実学) を身につけることを狙いとしています。そのため、社会における金融・経済の構造や金融・生活に関する制度・仕組みなど、将来に向けて最低限必要な金融リテラシーについて学習します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	金融リテラシーを身につける		
科目区分	導入科目: 社会と産業		
ナンバリング	220	業	【授業テーマ】 第1回 金融の基礎知識 (日本銀行佐賀事務所・西崎) 第2回 ライフプランと保険 (生命保険協会佐賀県協会・斉藤) 第3回 資産形成のイロハ&ローン・クレジット (佐賀銀行・松本) 第4回 資産形成シミュレーション (第一フロンティア生命・松尾) 第5回 証券業界・証券市場って何だろう (日本証券業協会九州地区協会・山本) 第6回 知っておきたい年金のはなし (日本年金機構佐賀年金事務所・鈴木) 第7回 金融トラブル (財務省福岡財務支局・笠) 第8回 ワークショップ (財務省福岡財務支局佐賀財務事務所・磯谷)
定員	24名		
担当講師	イソ 磯谷 サトシ 志 佐賀財務事務所 総務課企画係長 ニシ 西崎 ジュン イチ 日本銀行 佐賀事務所・事務所長 サイ 斉藤 カズ 弘 公益財団法人生命保険文化センター 生活情報室調査役 マツモト 松本 宗 大 佐賀銀行 営業統括部・調査役 マツオ 松尾 アヤ 礼 第一フロンティア生命保険(株) Chief Sustainability Officer ヤマモト 山本 アイ 愛 日本証券業協会九州地区協会 金融・証券インストラクター スズキ 鈴木 キョウ コ 佐賀年金事務所 お客様相談室・年金給付専門職 リュウ 留 哲 ヒロ 浩 福岡財務支局 金融調整官付・上席調査官		
日程実施時間	5月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		
概要	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください (タブレット端末、スマートフォンは不可) ※パソコンを使用するのは5月18日(土) 第4時限のみです。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows, macOS, ChromeOS, Android等) 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが、種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他受講生が当日用意するもの 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 持参した端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。また、端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。		

科目コード	2643650	授	古代中国の『詩経』にも「悠悠蒼天 此何人哉」とあるように、人類は古くから身の回りの色への思索を深めてきました。その探求精神は光の物理学、色覚の生理学に結実します。本講義ではその歴史を体験しながら、我々が色とりどりの世界を認知する原理について学びます。また、簡易分光器の作成、スペクトルの測定を行うことで色の背景にある物質の世界への入門も目指します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	実験で学ぶ 色の科学と文化史		
科目区分	導入科目: 自然と環境		
ナンバリング	220	業	【授業テーマ】 第1回 空の蒼色に関する思索の歴史 第2回 実験で学ぶ光の性質 第3回 色覚の生理学 第4回 ついに解けた蒼天の謎 第5回 モノの色とスペクトル 第6回 青いバラはなぜ不可能の象徴なのか 第7回 延喜式にみる日本の色 第8回 蒼い石: ラピスラズリと青色LED
定員	21名		
担当講師	ヤスイケ トモカズ 安池 智一 放送大学教授		
日程実施時間	5月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		
概要	【受講者が当日用意するもの】 空はなぜ青いのか? この素朴な疑問を軸に色の科学・生理学を学び、色と人類の関わりを歴史を紐解きます。科学パートは実験を中心としますが、いわゆる“文系”の方の受講も歓迎します。 【受講前の準備学習等】 実習課程の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
要	【受講者が当日用意するもの】 カッターナイフ、カッターマット、セロテープ (2日目のみ) 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 青の物理学 空色の謎をめぐる思索 (ピーター・ベジック著、青木薫訳/岩波書店/¥2,860 / ISBN=978400050111) 参考書ということで必須ではありませんが、特に興味のある方にとっては有意義だと思います。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。		

科目コード	2645424	<p>近年、豪雨災害が頻発化・甚大化してきており、国は流域治水プロジェクトを令和3年度から開始しました。一方、国内の各地にかつての自然災害から学び、工夫を重ね対処法を築き上げてきた歴史があります。本講義では、1日目に「最近の佐賀を中心とした豪雨災害」を振り返ります。2日目はさが水ものがたり館にて「佐賀の伝統的治水技術」をテーマとして、伝統的治水技術の概略を学び、今後の気候変動等を想定した防災・減災対策を一緒に考えます。2日目午後は、さが水ものがたり館並びに嘉瀬川の石井樋を見学し、成富兵庫茂安の水利事業の一端に触れます。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	佐賀の豪雨災害と伝統的治水技術	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	18名	
担当講師	オオグシ コウイチ ロウ 大串 浩一郎 佐賀大学 理工学部教授	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月26日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	5/25(土)は佐賀学習センター アバンセ第2研修室、 5/26(日)はさが水ものがたり館 (佐賀市大和町大字尼寺3247) ※不測の事態発生時は閉講	
授	<p>【授業テーマ】 第1回 令和元年佐賀豪雨災害 第2回 令和2年九州豪雨災害 第3回 令和3年佐賀豪雨災害 第4回 気候変動下の災害リスク 第5回 佐賀平野の伝統的治水技術 第6回 伝統的治水技術の活用と現地見学の案内 第7回 成富兵庫茂安の水利事業を学ぶ(1) 第8回 成富兵庫茂安の水利事業を学ぶ(2)</p>	
業	<p>【学生へのメッセージ】 地域の歴史や治水・まちづくりに興味がある方は是非ご参加ください。近年の豪雨災害と江戸初期の佐賀における治水技術に触れ、2日目はさが水ものがたり館と石井樋の見学を実施します。</p>	
概	<p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>	
要	<p>【受講者が当日用意するもの】 二日目にさが水ものがたり館とその周辺を散策しますので、動きやすい服と靴を準備してください。小雨でも外に出ますので、雨模様であれば雨具を持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 さが水ものがたり館(佐賀市大和町大字尼寺3247)は佐賀駅から北に約5km離れています。駐車場あります。バスで来られる場合は佐賀駅バスセンターからイオンモール佐賀大和まで約15分かかります。イオンモール佐賀大和からさが水ものがたり館までは約500m離れています(徒歩約7分)。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>	

科目コード	2645394	<p>情報と情報システムを理解するために、情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムについて基礎的事項を概説します。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	情報科学入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	210	
定員	42名	
担当講師	ホリ ヨシ アキ 堀 良 彰 佐賀大学 総合情報基盤センター教授	
日程実施時間	6月1日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月2日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
授	<p>【授業テーマ】 第1回 情報と問題解決 第2回 メディアと情報技術の発展 第3回 情報のデジタル化 第4回 コンピュータの構成 第5回 アルゴリズムとプログラミング 第6回 モデル化とシミュレーション 第7回 データ活用とデータベース 第8回 情報システムの信頼性と安全性</p>	
業	<p>【学生へのメッセージ】 現代社会において私たちは情報と情報システムによって支えられています。私たちがより充実した安全な毎日を送るために、情報と情報システムについて幅広く学びます。</p>	
概	<p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p>	
要	<p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>	

科目コード	2645408	授 業 概 要	<p>レオ・カナーの報告から始まった自閉スペクトラム症（自閉症）に対する捉え方と療育の展開について、心理学・教育学・社会福祉の視点から検討し、その障害を軽減し、発達を促進するために不可欠となる社会性を高める療育のあり方、および発達の視点による支援について明らかにします。なお、授業は講義形式で行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 自閉症（自閉スペクトラム症）の最初の報告 第2回 心因論と遊戯療法 第3回 認知障害説と行動療法 第4回 受容的交流療法・感覚統合療法 第5回 生活療法（表象能力・象徴能力・観察能力・模倣能力の向上） 第6回 太田ステージ・SCERTSモデル 第7回 セルフマネジメント・サイコドラマ（心理劇） 第8回 社会適応能力を高める療育方法・まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 パワーポイントを使って講義をします。また、当日講義資料も配布します。受講した後で、授業内容を整理すると、どのようなことが大事なのかが掴めますので、講義をしっかりと聞いていただければと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	自閉スペクトラム症の理解と支援		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	マツ ヤマ イク オ 松山 郁夫 佐賀大学 教育学部教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月2日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645416	授 業 概 要	<p>佐賀県では、米、大豆、みかん、海苔など多くの農林水産物が生産されています。この授業では、佐賀の特産物を中心に、それぞれの食べ物に含まれる特徴的な成分や病気を予防するような機能性について学びます。また、地域の特産品に付加価値を付け、地域の活性化に繋げる取り組みが活発に行われています。その事例として、これまで私が行ってきた商品開発プロジェクトについて紹介します。そして、実際に佐賀の特産品を用いた商品開発に挑戦してみましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 穀類（米、小麦など）の科学 第2回 イモ類と豆類の科学 第3回 野菜と果物の科学 第4回 魚介類と藻類の科学 第5回 肉類と卵類の科学 第6回 佐賀の特産品を用いた商品開発の事例紹介（ヒシ、キクイモなど） 第7回 佐賀の特産品を活かした商品開発をやってみよう！（企画会議） 第8回 佐賀の特産品を活かした商品開発をやってみよう！（プレゼンテーション）</p> <p>【学生へのメッセージ】 「佐賀の特産品」や「食べ物と健康」にご興味がある方は、ぜひ受講してください。また、商品開発も行いますので、一緒に楽しく魅力的な商品を考えましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 佐賀の特産品について調べておいてください。また、商品開発も行いますので、様々なアイデアを考えておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、商品開発での積極性を評価に加えます。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の食べ物学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	ヤス ダ 安田 みどり 西九州大学 健康栄養学部教授		
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月9日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636409	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>2日間で、3種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 講義：心理学研究法 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめとレポートの作成 第4回 講義：心理学研究法とレポートの書き方 第5回 実験：「ストループ効果」 第6回 実験のまとめとレポート作成 第7回 実験：「囚人のジレンマ」測定 第8回 実験のまとめとレポートの作成</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>「仮説通りの結果が出ない」「イコール」「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計学の基礎知識（t検定・有意水準・帰無仮説など）と表計算ソフトの操作（データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど）を学んできてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 Windowsが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ChromeやSafariなどのブラウザが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 <p>事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色識別を要する実験課題があります。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ハシグチススム 橋口晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月9日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講	
		授 業 概 要

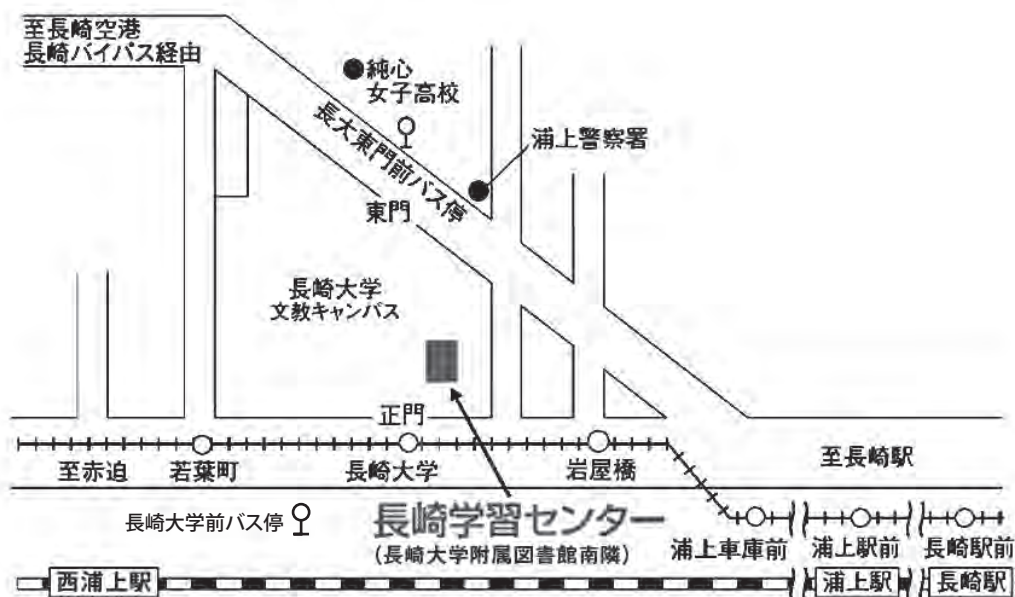
科目コード	2636387	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験4つ（印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、アフォーダンス、顔面フィードバック）を取り上げ、実験の実施、関連事項の解説とレポートの書き方の説明を行います。受講生の皆さんは、実験では実験者や実験参加者の役割を果たし、その後、得られたデータの集計や分析を行った上で、レポートを作成します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、4つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ガイダンス・顔面フィードバックの実施 第2回 顔面フィードバックの解説・レポート指導 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果の実施 第4回 自由再生による記憶の系列位置効果の解説・レポート指導 第5回 アフォーダンスの実施 第6回 アフォーダンスの解説・レポート指導 第7回 印象形成の実施 第8回 印象形成の解説・レポート指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験結果を記録・集計・保存するために、ノート、電卓、USBメモリを持参して下さい。またレポート作成やグラフ作成などで、パソコンを使った作業もあるため、ワードやエクセルに慣れていない事が望ましいです。なお、顔面フィードバック、アフォーダンスの実験では持ち物・服装に指定がありますので、「受講者が当日用意するもの」欄を確認の上、準備をしてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは授業内で実施した実験に関するものです。 レポートは、後日提出とします。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはmacOSのいずれかが必要です。 3. ソフトのインストール ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリーを必ず持参してください。 ・必要な人はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 5. 実験にて必要な物 ・筆記用具、電卓、定規、太めの軸のサインペン（1日目1コマ目の実験で口にくわえます） ・動きやすい服装と靴（2日目5コマ目の実験でハードルをまたいだり、くぐったりします） ※レポートを手書きで作成する場合は、方眼紙、のり、はさみを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会、認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） 心理学実験法・レポートの書き方（西口利文、松浦均／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779502378）</p> <p>【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自分で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヒダカモトノブ 日高茂暢 佐賀大学 教育学部講師	
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月23日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講	
概要		
授業		

長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図

☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎県営バス ▶ 「滑石団地」行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分
 - ・長崎バス ▶ 「住吉・道ノ尾経由 長崎」行き(約55分)「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業の教科書は販売しておりません。(印刷教材は除く。)

科目コード	2645467	授	この授業は、初級から中級レベルの英語学習者が、様々な文化的トピックについてのミニレクチャーやディスカッションを通して、語学力を向上させることを目的としています。スピーキング、リスニング、リーディング、読解力を高めながら、文化の様々な側面を探求します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	英会話と文化		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	60名		
担当講師	ダッツマン ブライアン 長崎大学 言語教育研究センター助教	業	【授業テーマ】 第1回 Course and Self-introductions 第2回 Hometown 第3回 Everyday Customs and Traditions 第4回 Geography and Culture: America and Japan 第5回 Food 第6回 Arts and Entertainment 第7回 Celebrations and Festivals 第8回 Leisure Activities
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 4月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	概	【学生へのメッセージ】 この授業は英語力の向上だけでなく、興味深く楽しい教室環境の中で異文化を学ぶことを目的としています。英語でのコミュニケーションに自信のない方もお気軽にご参加ください。
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	要	【受講前の準備学習等】 授業テーマに関連する資料(写真、雑誌、本など)、またはパソコン、タブレット、スマートフォンなどを授業に持参してください。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 持参する端末等は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2645548	授	この授業は自分用パソコン等持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この講義は、皆さんが今までどこかで耳にしたことのある有名な日本の古典作品を取り上げ、日本の昔の文字であるくずし字の資料を用いて講義していきます。 具体的には、「むかし男」こと在原業平の恋愛の模様を描いた『伊勢物語』、日本の古典作品を代表するものとされてきた『源氏物語』、紀貫之がいまの高知県から都までの旅を描いた『土佐日記』、日本の最古の歌集とされる『万葉集』、以上の四作品をもとに古典文学の秘められた魅力をお話ししていきます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	くずし字で読む 日本の古典		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	キラフミアキ 吉良 史明 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授	業	【授業テーマ】 第1回 『伊勢物語』初冠の段をくずし字で読む 第2回 『伊勢物語』の読み継がれた 第3回 『源氏物語』若紫巻をくずし字で読む 第4回 若紫巻の仕組み 第5回 『土佐日記』をくずし字で読む 第6回 「男もすなる」の一文の暗号解読 第7回 『万葉集』柿本人麻呂歌を万葉仮名で読む 第8回 人麻呂歌の訓読とその解釈
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 4月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	概	【学生へのメッセージ】 古典文学は、とすると難しく親しみづらいものとされてしまいます。しかし、古典作品をくずし字で読むことにより、高等学校までの学習では学ぶことのできない様々な魅力に気付くことができます。皆さん、一緒に日本の古典の面白さを体感してみませんか。
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	要	【受講前の準備学習等】 ・『伊勢物語』『源氏物語』『土佐日記』『万葉集』に関して、従来どのような作品として私たちが読んできたか、関連の書籍もしくはインターネット上の情報等を調べてきて下さい。 ・本授業は、パソコン、タブレットやスマートフォン等でインターネットを使用します。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません(ノートパソコン、タブレット、スマートフォン)。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows, macOS, ChromeOS, Android等)。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他(特記事項)】 持参する端末等は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2645521	授 業 概 要	江戸時代の日本においては長崎がヨーロッパに開かれた窓口であったことは知られています。他方において、長崎貿易の実態や様々な展開があったことは十分に知られているとは言えず、貿易のあり方については時代ごとに変化がみられます。本講義ではこの変化に注目して長崎貿易について解説をおこなっていきます。 【授業テーマ】 第1回 近世初期の日本をめぐる国際情勢 第2回 朱印船貿易の創始と展開 第3回 江戸時代の長崎の統治構造 第4回 長崎貿易の創始と展開 第5回 会所貿易の創始と展開 第6回 正徳新例制定後の長崎貿易 第7回 幕末開港と長崎貿易 第8回 近世日本における長崎の役割 【受講前の準備学習等】 参考書を活用して江戸時代の長崎貿易についての知識を整理してください。また、時間的余裕があれば、出島、長崎居留地、長崎歴史文化博物館など長崎貿易に関連する施設について足を運んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 今と昔の長崎に遊ぶ (増崎英明 編著/長崎大学地域文化研究会 著/九州大学出版会/¥2,640 / ISBN=9784798503103) 長崎奉行の歴史 苦悩する官僚エリート (木村直樹/KADOKAWA / ¥1,760 / ISBN=9784047035744) (通訳) たちの幕末維新 (木村直樹/吉川弘文館/ ¥3,080 / ISBN=9784624080729) 長崎偉人伝 T・B・グラバー (ブライアン・パークガフニ/長崎文献社/ ¥1,760 / ISBN=9784888513494)
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	近世日本と長崎貿易		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	ミナモト モリ シゲ タ 南 森 茂 太 長崎大学 人文社会学域(経済学系)准教授		
日程実施時間	4月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 4月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636220	授 業 概 要	この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。学習センターにご自身のパソコンを持参して、その操作方法とともに、放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWifiへの接続方法、放送大学ウェブサイトの閲覧方法、学生用電子メールの送受信方法、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法、附属図書館の電子情報サービスによる情報収集方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストの閲覧と動画の視聴、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート課題ファイルの提出を体験します。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作(キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル) 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り(第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出) 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方も安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください(タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 Windows10またはWindows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配付資料をPDF形式ファイルで提供しますので、Adobe Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ・Windows10以降。 ・Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft 365のWordを対象とします。 ・マウス ・USBメモリ(※市販されている一番安価な物が結構です)。 ・学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。 【教科書】 新・初歩からのパソコンテキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学)授業当日に配付します。 【参考書】 新・初歩からのパソコン電子版テキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学)PDFダウンロード方法は授業で説明いたします。 【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 (履修制限)「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。 ・「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 ・持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	24名		
担当講師	ニワ カズ ヒサ 丹 羽 量 久 長崎大学 ICT基盤センター教授		
日程実施時間	5月11日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月12日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645572	<p>細胞とその構成成分の基本的な構造と機能、生体分子間の相互作用について説明します。さらに、遺伝情報の発現機構を理解することにより、生物としてのヒトが営む生命現象についての基本的概念を身につけていただけるような内容です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 生命科学の基礎 第2回 細胞の基本構造 第3回 生体を構成している物質 第4回 酵素 第5回 エネルギー代謝 第6回 遺伝情報の流れ 第7回 細胞のさまざまな機能 第8回 遺伝子工学の基礎</p> <p>【学生へのメッセージ】 生命科学に関するニュースや話題に触れた時、関連する事柄について調べてみると興味が広がると思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。 レポート課題「『生物としてのヒトは何からできていて、どのような仕組みで生命活動を行っているのか』について、授業内容を参考にして簡潔にまとめなさい。」</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	生命科学	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	<small>タケシタ サトシ</small> 竹下 哲史 長崎大学 研究開発推進機構准教授	
日程実施時間	5月11日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645483	<p>映画・ドラマそしてCMを支える音楽。海外と日本のこの分野における代表的な音楽作曲家にスポットを当て、映像を鮮やかに印象づける魅惑的な音楽を生み出す、その「音楽づくりの秘密」を、ピアノ演奏も交え探ってみましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 日本的情緒を世界語に変換するメロディーメーカー：久石譲 第2回 冒険とファンタジーのマジシャン：ジョン・ウィリアムズ 第3回 期待を裏切らないプロの音楽職人：服部克久 第4回 枯れることを知らないイタリア・音楽の泉：エンニオ・モリコーネ 第5回 対照的な音楽づくり、旋律重視と和声重視：倉本裕基&千住明 第6回 クラシックの作曲家と本人は言うけれど：ニーノ・ロータ 第7回 ほくはあと何回、満月を見るのだろうか：坂本龍一 第8回 ミニコンサートとまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 今回は、映画やドラマ、そしてCMを支えている音楽作品を、作曲家にスポットをあて、その魅力を探っていきます。どうぞリラックスして心地良い音楽に耳を傾けながら、音楽が果たす役割を考えてみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、各自お気に入りの作品があれば、その曲名と、どんなところが好きなのかを考えておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具及び会場の椅子が硬めのため、必要に応じて座布団等。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.17参照。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	映像を支える音楽作曲家たち	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	<small>ホリウチ イブキ</small> 堀内 伊吹 長崎大学名誉教授	
日程実施時間	5月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎大学 長崎創楽堂 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645564	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>現在、新しいサービス開発技術としてサービス・オリエンテッド・アーキテクチャ（SOA）が注目されています。現在、皆さんが日ごろ使っているインターネットのサービスは、ほとんどが、このSOAによって開発されています。本授業では、SOAとは何かを、具体例を取り上げて解説します。また、実際に利用可能なサービスを調べて、それらを組み合わせ、皆さん独自の新しいサービスを提案してもらいます。本授業では、パソコンを活用した情報収集、グループディスカッション、プレゼンテーションを受講生主体で行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 サービス・オリエンテッド・アーキテクチャ（SOA）の解説 第2回 サービス・オリエンテッド・アーキテクチャ（SOA）の具体例 第3回 パソコンを使った利用可能な外部サービスの調査、発表 第4回 SOAによる新しいサービスのアイデア検討、議論 第5回 具体例を用いたサービス仕様作成方法の解説 第6回 パワーポイントによるサービス仕様検討・資料作成1 第7回 パワーポイントによるサービス仕様検討・資料作成2 第8回 パワーポイントによるグループ毎サービス仕様プレゼンテーション</p> <p>【学生へのメッセージ】 日ごろ困っていることを、ITを使って解決したいと考えている人に最適な授業です。パソコンを使ってインターネット検索ができる人、パワーポイントを使って資料作成ができる人、あるいは挑戦したい人歓迎です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・インターネットを活用した情報収集（グーグル検索等）の習熟が望まれます。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成方法の習熟が望まれます。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール PowerPointが必要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター（コード）	42A	
クラスコード	K	
科目名	新しいサービス開発技術の潮流	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	コバヤシ トオル 小林 透 長崎大学 総合生産科学域(情報データ科学系)教授	
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2641216	<p>子どものこころの世界をいかに理解し育むかについて臨床心理学の視点から考えます。子どもの心理社会的発達を促進されるためには、どのように子どもを理解し、関係を作り、支援をしていくかについて講義と演習を交えて学習していきます。子ども理解の枠組み、アセスメント、子どもとの関係性、遊戯療法、発達促進的環境作り等をテーマにするとともに、発達障害などアクチュアルな内容も視野にいれていく予定です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 子どもを理解することについて 第2回 子どもの生きる世界・リアリティ 第3回 子どもと遊び 第4回 イメージと遊び 第5回 子どもの臨床におけるアセスメントについて 第6回 子どもへの心理療法－プレイセラピーの世界 第7回 発達障害児のこころの世界 第8回 まとめ－発達促進的環境作りについて</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業では受講者へ発言を求めると演習を行ったりもします。積極的参加を求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 写真や絵がある雑誌（切り張りをします）、クレパスまたはクレヨン、黒サインペン、はさみ、のり。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 （履修制限）面接授業「臨床心理学実習B」の単位を修得済みの方は科目登録できません。（開設科目一覧P.7～8参照）</p>
学習センター（コード）	42A	
クラスコード	K	
科目名	臨床心理学演習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸 放送大学准教授	
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月26日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645491	授 業 概 要	<p>口腔（歯や歯周組織、舌）は、咀嚼・嚥下、味覚、発音、唾液の分泌機能を担い、食べる、話すなどの毎日の活動に関わります。このため、身体的な健康や社会的な活動に大きく関わります。乳幼児期の口腔の機能の発達から、疾患や治療について、そして口腔管理について学びます。小児から高齢者までの口腔について、詳しく知りたいと思っている人向けの授業です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 う蝕と歯周病に関わる微生物（佐藤） 第2回 虫歯とその治療法について概説する（平） 第3回 こころとからだの口の機能の発達（日高） 第4回 食べる機能の発達（近藤） 第5回 口の中に見られる主な疾患（大場） 第6回 お口のしくみと働き（門脇） 第7回 健康維持に必要な口の知識（鶴飼） 第8回 口腔環境と健康（佐藤）</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 口腔の成育をはかる<1巻>（佐々木洋ほか／医歯薬出版／¥5,060／ISBN=9784263407318）現在は品切れですが、古本をAmazon等で入手可能です。 口腔の成育をはかる<2巻>（佐々木洋ほか／医歯薬出版／¥5,500／ISBN=9784263407325）現在は品切れですが、古本をAmazon等で入手可能です。 口腔の成育をはかる<3巻>（佐々木洋ほか／医歯薬出版／¥5,060／ISBN=9784263407332）現在は品切れですが、古本をAmazon等で入手可能です。 口腔外科学（白砂兼光・古郷幹彦 編著／医歯薬出版／¥29,700／ISBN=9784263458433） 日常診療に役立つ全身疾患関連の口腔粘膜病変アトラス（神戸芳則、出光俊郎／医療文化社／¥14,080／ISBN=9784902122411）現在は品切れですが、古本をAmazon等で入手可能です。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	口の機能、疾患と健康づくり		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	佐藤 啓子 長崎大学生命医科学域(歯学系)准教授 大場 誠悟 長崎大学生命医科学域(歯学系)准教授 鶴飼 孝 長崎大病院口腔管理センター教授 門脇 知子 長崎大学生命医科学域(歯学系)教授 近藤 好夫 長崎大学生命医科学域(歯学系)准教授 平 曜輔 長崎大学生命医科学域(歯科系)准教授 日高 聖 長崎大病院小児歯科助教		
日程実施時間	6月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636433	授 業 概 要	<p>心理検査の基礎理論を概論的に学ぶとともに、人格検査領域の代表的な心理検査を取り上げ、心理検査とはどのようなものか、その理論的背景を理解したうえで基本的な知識を習得し、いくつかの検査を実際に体験的に実習することで実施法と結果の解釈を身に付け、理解を深めることを目的としています。また、その結果を通して、自己理解及び他者理解に役立てることをめざします。</p> <p>8回の授業すべてに出席し、4つの実習のそれぞれについてレポートの提出が必要になります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査とは：なりたち、目的、方法、信頼性と妥当性 第2回 テスト・スタンダードと倫理的問題 第3回 代表的な検査及びテスト・バッテリーとレポートの書き方 第4回 心理検査の実習：Y-G性格検査 第5回 心理検査の実習：パウムテスト 第6回 心理検査の実習：Big Five尺度（心理測定尺度集より） 第7回 心理検査の実習：新版TEGII（東大式エゴグラム） 第8回 まとめ：総合所見の作り方と解釈</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理検査は、信頼性と妥当性に裏付けられた科学的ツールであり倫理的配慮も求められます。真摯に、誠実な態度で主体的に臨んでいただけることを期待します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・演習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。パソコンを持参してのレポート作成は、メールでの提出となります。キャンパスメールが使用できるようにしておいてください。なお、パソコンを持参の場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 4つの実習課題（心理検査）ごとに小レポートを課します。その上で、その小レポート4本を踏まえた最終レポートが課されます。合計5つのレポートがそろわないと評価ができません。小レポートは、その実習課題ごとにその場で作成することが求められます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ・実習のある回ではHBから2Bの鉛筆が1本あると望ましいです。 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 端末を持参する場合は、事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヨシダ 吉田 ゆり 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)教授		
日程実施時間	6月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645556	授 業 概 要	<p>16・17世紀は、日本の歴史が中世から近世へと大きく転換する時代であると同時に、日本が初めてヨーロッパ世界と出会う時代でもあります。本講義では、古文書や古記録などの文字史料だけでなく、絵画を史料として捉え、この時代に日本で制作された初期洋風画という絵画の諸作品を通して、日本とヨーロッパとの交流の歴史について考えます。本講義を受講する上で、歴史や美術に関する専門的な知識は必要ありません。16・17世紀の日本とヨーロッパの交流の歴史、この時期の絵画に関心のある方の受講を歓迎します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 16・17世紀の日本 第2回 16・17世紀のヨーロッパ 第3回 16・17世紀の日欧交流 第4回 初期洋風画の性格と歴史的意義 第5回 初期洋風画の作品紹介と分析① 第6回 初期洋風画の作品紹介と分析② 第7回 初期洋風画の作品紹介と分析③ 第8回 まとめ-16・17世紀の日欧交流と初期洋風画-</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義では、絵画を歴史研究の素材、すなわち史料として用います。皆さんがこれまで学んできた日本史や世界史とはやや違った方法で、16・17世紀の日本とヨーロッパとの交流の歴史について考えてみたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 描かれた近世都市(杉森哲也/山川出版社/¥880/ISBN=9784634544406)</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	16・17世紀の日本と欧州		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	スギモリ テツヤ 杉森 哲也 放送大学教授		
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645475	授 業 概 要	<p>人間関係を理解するための基礎となる心理学の概念や理論について、発達心理学や社会心理学それに臨床心理学等の視点から解説していきます。自己認知についての理解を深めるために、自己肯定感についてコーチングの技法を紹介します。また、対人関係に関する研究を紹介し、他者を理解し人間関係をつくるために役立つ理論や技法についても紹介します。基本的な技法の1つであるコミュニケーションの実習を通して、自己理解、他者理解を深め人間関係について学んでいきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 人間関係を構成する自己と他者 第2回 対人関係の形成 第3回 態度と対人行動 第4回 集団における行動 第5回 集団思考(実習) 第6回 コミュニケーション 第7回 対人関係の理論と技法 第8回 カウンセリングと心理療法</p> <p>【学生へのメッセージ】 これから心理学を学ぼうと考えている人にもわかりやすいように、日常生活での事例等を取りあげて解説していきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	人間関係論入門		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	210		
定員	60名		
担当講師	カク ヒデトシ 加来 秀俊 活水女子大学名誉教授		
日程実施時間	6月22日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月23日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645513	授 業 概 要	<p>細菌感染症の検査と治療の考え方の基礎について学びます。新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、その診断法と治療法を専門家のみならず、一般の方も知るようになりました。細菌感染症は感染臓器ごとに分離される細菌が異なることが多くあります。感染症の治療には抗菌薬が使われますが、その多くは細菌にとって重要なタンパク質を不活化します。一方、細菌は極めて巧妙な手段で抗菌薬に耐性を示します。本講義では、感染症とその治療、さらに耐性菌について受講者の皆様と一緒に学修します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 感染症とは 第2回 感染症の診断に使われる技術 第3回 感染症の治療薬はどのように発見されたのか 第4回 感染症の治療薬の発展に日本がどのように貢献したのか 第5回 細菌は治療薬にどのようにして抵抗するのか 第6回 抗菌薬に抵抗する細菌に対する治療方法はあるのか 第7回 なぜ抗菌薬適正使用が重要か 第8回 将来の感染症治療薬</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業は対話しながら進める双方向型の授業を目指します。皆様と一緒に感染症についての理解を深めたいと考えています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容をもとにインターネットなどで調べていただくと理解が深まると思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具をご用意ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	感染症とその治療薬		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	イシ イ ヨシ カズ 石井 良和 広島大学 IDEC国際連携機構PHIS特任教授		
日程実施時間	6月22日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月23日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645505	授 業 概 要	<p>児童虐待相談対応件数は右肩上がりが増加しており、令和3年度では20万7659件となっています。児童虐待の発生防止と早期発見・早期介入は非常に重要ですが、児童虐待を受けた子どもがその後の生活で抱える生きづらさや、その子どもたちが回復していくために必要な支援についてはあまり知られていません。</p> <p>この科目では、児童虐待について基礎的な知識を学び、児童虐待をテーマとした映画を観ることを通して、児童虐待が及ぼす影響と児童虐待に対する社会の在り方について考えることを目標としています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 児童虐待とは 第2回 児童虐待に関する映画①視聴 第3回 児童虐待に関する映画①視聴+ディスカッション 第4回 子どものトラウマについて 第5回 児童虐待に関する映画②視聴 第6回 児童虐待に関する映画②視聴+ディスカッション 第7回 児童虐待に関する映画③視聴 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 映画は児童虐待に関する内容であり、暴力的なシーン等も含まれます。被害経験やDV被害などの経験がある方は、映画視聴によってフラッシュバックを起こす可能性もありますので注意してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	映画から学ぶ児童虐待		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	ナガ エ マサ ハル 永江 誠治 長崎大学 生命医科学域(保健学系)准教授		
日程実施時間	6月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636409	授	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間、3種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 講義:心理学研究法 第2回 実験:「鏡映描写」 第3回 実験のまとめとレポートの作成 第4回 講義:心理学研究法とレポートの書き方 第5回 実験:「ストループ効果」 第6回 実験のまとめとレポートの作成 第7回 実験:「四人のジレンマ」測定 第8回 実験のまとめとレポートの作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか?その根拠は?どう確かめればよいのか?と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・統計学の基礎知識(t検定・有意水準・帰無仮説など)と表計算ソフトの操作(データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど)を学んでおいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 Windowsが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クロム)、Mozilla Firefox(ファイアフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 ・色識別を要する実験課題があります。 ・心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。 ・この授業の受講には、心理学の基礎知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	27名	業	
担当講師	ハシグチススム 橋口晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師		
日程実施時間	7月6日(土)	概	
	第1時限 10:00~11:30		
	第2時限 11:40~13:10		
	第3時限 14:00~15:30		
7月7日(日)	要		
第1時限 10:00~11:30			
第2時限 11:40~13:10			
第3時限 14:00~15:30			
第4時限 15:40~17:10			
実施会場	長崎学習センター 講義室	業	
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645530	授	<p>「刑事訴訟法」とは刑事裁判のルールです。皆さんも、刑事裁判のドラマを見たことがあるかもしれませんが、将来、裁判員に選ばれて、実際に裁判を担当することもあるかもしれません。もしくは運悪く冤罪で警察に捕まってしまっ、途方に暮れることもあるかもしれません(あって欲しくないですが!)。その場合には被疑者や被告人にはどのような権利が与えられているかを知っていると、少しは安心できます。裁判はどのように行われるのか、そのルールを知っておいて損はありません。条文を読みつつ、初心者にも分かりやすい講義をします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 刑事訴訟法とは? 第2回 裁判所と当事者 第3回 捜査① 第4回 捜査② 第5回 公訴について 第6回 公判手続 第7回 証拠 第8回 最近の改正</p> <p>【学生へのメッセージ】 刑法には「殺人罪」の規定がありますが、犯人は本当にAさんなのか、Aさんには何年位の懲役が良いのかを確定していく必要があります。それが、刑事裁判であり、そのルールが刑事訴訟法なのです。面白いですよ。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 令和6年版 ポケット六法(有斐閣/2,420円/ISBN=978-4-641-00924-0)</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	刑事訴訟法		
科目区分	専門科目:社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	60名		
担当講師	イケヤカズヨ 池谷和子 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授		
日程実施時間	7月6日(土)	概	
	第1時限 10:00~11:30		
	第2時限 11:40~13:10		
	第3時限 14:00~15:30		
7月7日(日)	要		
第1時限 10:00~11:30			
第2時限 11:40~13:10			
第3時限 14:00~15:30			
第4時限 15:40~16:25			
試験・レポート等	16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室	業	
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

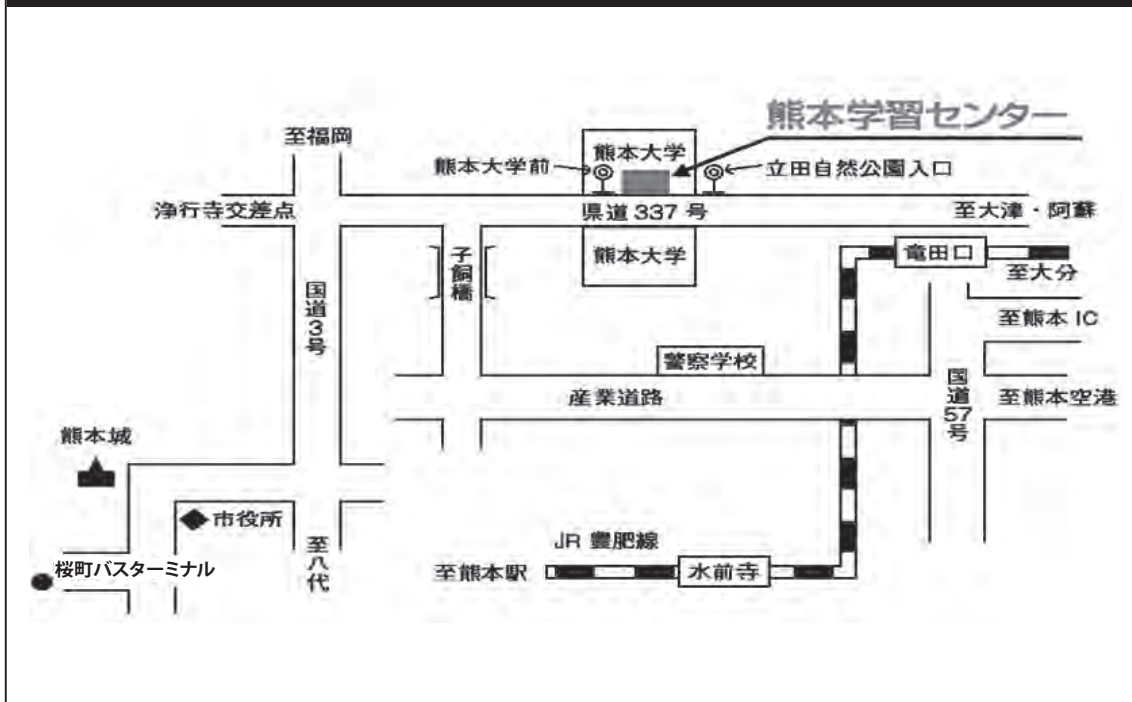
科目コード	2645580	授	<p>長崎大学の練習船「長崎丸」に乗船して実施する1泊2日の体験型合宿授業です。 長崎大学水産学部の教育機関及び船員の養成機関でもある練習船に、長崎大学学生と伴に乗船し、船に関する知識と海洋調査により、現在の環境を調べる手段とその重要性を理解して頂きます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 (船内活動) ガイダンス、練習船の見学 (山脇) 第2回 (室内講義) 安全設備の解説と避難訓練 (森井) 第3回 (航海実習) 操船、機関室見学、船舶運用実務 (森井) 第4回 (室内講義) 船の基礎知識について (森井) 第5回 (観測実習) CTD観測、採水、透明度 (山脇) 第6回 (観測実習) 採泥、プランクトン採集 (山脇) 第7回 (室内講義) 海の生物と環境 (山脇) 第8回 (室内講義) 海洋観測について、2日間のまとめ (森井)</p> <p>【学生へのメッセージ】 全国有数の長い海岸線と島々を持つ長崎県は、古来より多くの人々が海に関わって暮らしてきました。その漁業県長崎で漁船を含めて多数活動している船について理解するとともに、海洋の生産の基礎となる海洋プランクトン及びその環境について学び、さらに産業としての漁業について理解を深めて頂きたいと思えます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	五島灘洋上実習		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	モリ イ ヤス ヒロ 森 井 康 宏 長崎大学 総合生産科学域(水産学系)教授 ヤマ ワキ ノブ ヒロ 山 脇 信 博 長崎大学 総合生産科学域(水産学系)准教授	業	
日程実施時間	7月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	概	<p>【受講者が当日用意するもの】 野外活動ができる服装と靴でお越しください。レポートがありますので、筆記用具を準備ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 船内の宿泊は2~4名の相部屋です。船内は急傾斜の階段が多いため、階段の昇降に支障のない方に限ります。 船上での実習を実施するため、天候等状況に応じて授業時間割を変更して実施することがあります。 参加費・交通費として授業料とは別に、14,500円程度(※施設維持管理費(10,000円)、食費・クリーニング代(2,000円)、交通費(2,500円))が必要です。参加費・交通費は当日徴収します。受講できなくなった場合は、必ず事前に長崎学習センターに連絡して下さい。乗船14日前(6月22日)以降にキャンセルの場合は、食費分をいただきます。 ※長崎丸の乗船には、2020年度から「長崎丸共同利用における施設維持管理費」10,000円が必要になりました。(上記14,500円程度に含んでいます。) 授業1日目は、午前9時までに学習センターに集合後、係留場所(長崎市多良町)までバスで移動します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入して下さい。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.17参照。</p>
実施会場	長崎大学附属練習船 長崎丸 ※不測の事態発生時は閉講	要	

熊本学習センター

(コード：43A)

熊本学習センター案内図

☎096-341-0860



【所在地】〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2F)

【交通アクセス】

路線等は変更する場合がございますので、各社ウェブサイトを必ずご確認ください。

- (1) JR熊本駅→九州産交バス等：2番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約30分
- (2) 桜町バスターミナル→九州産交バス等：16番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約20分
●「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分
- (3) 熊本学習センターに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
ただし、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場を1日1,000円でご利用いただけます。

【その他連絡事項】

- ・自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターウェブサイトにて、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。
- ・ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。(熊本学習センターウェブサイトにて近隣情報を掲載しておりますのでそちらを参考にしてください。)
- ・昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂(日曜定休、その他臨時休業あり)の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。
- ・講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2636972	<p>臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら) グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	臨床心理学実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	サ トウ ヒト ミ 佐藤 仁美 放送大学准教授	
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645688	<p>明治維新は、19世紀後半の日本社会が経験した巨大な革命です。維新といえば、江戸幕府から明治政府への政権交代のイメージが強いですが、変化はそれだけにとどまらず、すべての人びとを拘束していた身分制は崩れ、大名家の支配単位であった藩は解体し、現代につながる行政権力が生まれました。なぜ、こうした明治維新が当時の日本社会で起ったのでしょうか。また、大きな変化にさらされた人びとは、どのような反応を示したのでしょうか。授業では、熊本大学が所蔵する古文書等紹介しながら、明治維新がもった意味を考えたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 明治維新とはなにか 第2回 江戸時代の国家と社会 第3回 なぜ、江戸幕府は倒れたのか？ 第4回 なぜ、藩は解体されたのか？ 第5回 藩が消えた日－熊本藩の場合－ 第6回 なぜ、身分制は解体されたのか？ 第7回 社会の近代化はどのように進められたのか？ 第8回 講義のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業は配布資料とパワーポイントを使いながら進めていきます。予習の際には参考書を、復習の際には配布資料に記された参考文献にあたられることをお勧めします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 武士の時代はどのようにして終わったのか(池田勇太/清水書院/¥1,100 / ISBN=9784389501358) 江戸三百藩の崩壊－版籍奉還と廃藩置県(勝田政治/戎光祥出版/¥1,650 / ISBN=9784864033206) 維新の構想と展開 日本の歴史20(鈴木淳/講談社/¥1,441 / ISBN=9784062919203)</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	明治維新論	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イ マ ム ラ ナ オ キ 今村 直樹 熊本大学 永青文庫研究センター准教授	
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645602	授 業 概 要	ドイツ語初心者、またはゼロから始めたい方のための授業です。発音を練習し、基礎的な文法を習います。現在のドイツ語圏の社会、経済や政治などの問題をテーマとしたリーディングに挑戦します。 【授業テーマ】 第1回 ドイツ語圏の地理 第2回 家族の形 第3回 お金は天下の回り物 第4回 移民と難民 第5回 進展する少子高齢化 第6回 「スイスに死す」 第7回 クリーンエネルギーと持続性の話 第8回 戦争と平和 【学生へのメッセージ】 各テーマの枠内、発音の練習と文法の説明を行います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、現在のドイツ語圏の事情について情報を収集しておくことをお勧めします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	現在のドイツ語圏を見る		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	24名		
担当講師	コイケ 小池 ウルスラ ヘレナ 熊本大学 大学教育統括管理運営機構教授		
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月28日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645645	授 業 概 要	解決志向ブリーフセラピーは、心理療法の一つです。このアプローチの特徴は、クライアントが語る問題の中から、「例外」を見つけ拡大したり、クライアントの視点から目標を作りながら、解決の構築を目指すところにあります。クライアントにとっての解決を描く事により、問題に縛られないより良い未来を実現していきます。活用分野も広く、スクールカウンセリングなどの教育分野や医療、福祉、産業など様々な現場で活用されています。本授業では、解決志向ブリーフセラピーについて、その考え方から事例まで、実習を通して学びます。 【授業テーマ】 第1回 解決志向ブリーフセラピー入門 解決構築の概要と枠組み 第2回 解決志向ブリーフセラピーにおける対話と面接、クライアントとの関係性 第3回 リソースとリソース探し 第4回 解決像と有益な質問1－例外とミラクル・クエスチョン－ 第5回 解決像と有益な質問2－スケールリング・クエスチョンとコーピング・クエスチョン－ 第6回 介入の考え方について－コンプリメントと様々な課題－ 第7回 解決志向ブリーフセラピーの事例を通して 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 解決志向ブリーフセラピーは、クライアントの持つ問題だけでなく、問題の中にある肯定的な側面に光を当てるアプローチです。授業では、座学以外にも実習やワークを通してこのアプローチの理解を深めたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 森・黒沢のワークショップで学ぶ解決志向ブリーフセラピー（森俊夫、黒沢幸子／ほんの森出版／¥1,980／ISBN=9784938874278）
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	解決志向 ブリーフセラピー入門		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 熊本県・熊本市 スクールカウンセラー		
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月28日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645653	授	<p>今、世界で水が問題となっています。この授業では、熊本市の水と人の関わり方を事例にして、日本列島における人びとの生活環境と水との関係について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 世界の水問題とは 第2回 水の問題史 第3回 恵みの水－生活用水と農業用水 第4回 災いの水－水の災害 第5回 熊本博物館見学 第6回 熊本博物館見学 第7回 都市熊本の形成史と水環境 第8回 まとめ これからの水との関わり方</p> <p>【学生へのメッセージ】 水と関わりのある暮らしについて、水循環に関する世論調査の結果を見ながら考えてみてください。 https://survey.gov-online.go.jp/hutai/r02/r02-mizu.html</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	生活環境と水		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	マキノアツシ 牧野厚史 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		
日程実施時間	5月1日(水) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	業	
	5月2日(木) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター講義室1 および 熊本博物館(2日目・2限) (熊本市中央区古京町3-2)	要	
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2636360	授	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学における実験的研究を3つ(ミュラー・リヤールの錯視、ワーキングメモリ、心理尺度)取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ガイダンス(心理学実験とは) 第2回 実験1 ミュラー・リヤール錯視実験の実施 第3回 実験1 ミュラー・リヤール錯視実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 実験2 ワーキングメモリ実験の実施 第6回 実験2 ワーキングメモリ実験の結果の整理 第7回 実験3 心理尺度実験の実施 第8回 実験3 心理尺度実験の結果の整理</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 ・Wordが必要で、 ・Excelが必要で、 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	テラモトワタル 寺本渉 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		
日程実施時間	5月11日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	業	
	5月12日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		
実施会場	熊本学習センター 大講義室	要	
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645661	<p>年金・医療などの社会保障、道路や河川などの社会資本の整備、更には教育・警察・防衛などの公的サービスを運営するための費用は、その多くが税金によって賄われています。しかし、税金の種類やその計算についてはあまり知られていないように思います。そこで、本授業では、わが国の財政状況や主要な税金の種類とその計算、そして税金を巡る納税者と国の訴訟など、現代社会における税の問題について考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 わが国の財政状況 第2回 日常生活と税金の種類（国税と地方税） 第3回 所得税の内容と計算の仕組み（所得の種類と所得控除） 第4回 法人税及び消費税の内容と計算の仕組み 第5回 相続税・贈与税の内容と計算の仕組み 第6回 税法の基本原則（租税法律主義と租税公平主義） 第7回 租税確定手続（申告・是正手続等）と源泉徴収制度 第8回 租税救済制度と租税処罰制度</p> <p>【学生へのメッセージ】 みんなが互いに支え合い共により良い社会を作っていくためには、その費用を広く公平に分かち合うことが必要とされています。果たして現行の税制度はそのようなものになっているか、一緒に考えてみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具とノートを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	現代社会と税制度	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	54名	
担当講師	ヤマザキ コウドウ 山崎 広道 熊本学園大学大学院 会計専門職研究科特任教授	
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645696	<p>最近のメディアに関連する諸問題についての知見を深めるとともに、グループワークを通じて一緒にメディアとの付き合い方・向き合い方をより現在の状況に適合したものに改善していければと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「日本のテレビドラマはつまらない」言説の事実検証 第2回 「日本のテレビドラマはつまらない」言説の背景及び原因分析 第3回 「日本のテレビドラマを面白くする」打ち手策定 第4回 「日本のテレビドラマを面白くする」グループ・プレゼンテーション 第5回 最近のメディア関連課題の抽出 第6回 グループで選択したメディア関連課題の原因分析 第7回 グループで選択したメディア関連課題に対する打ち手策定 第8回 メディア関連課題解決のためのグループ・プレゼンテーション</p> <p>【学生へのメッセージ】 グループワークのやり方については、安斎勇樹・塩瀬隆之『問いのデザイン』学芸出版社を読んでみることをお勧めします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 グループワークの素材に、自分が接するメディア（テレビや新聞、ネット）に関して「問題だ」と思う関連記事の見出しを5本選んできてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記具とノート、スマホを持参してください。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	付き合い方を問い直す メディア論	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミズモト トヨフミ 水元 豊文 熊本大学大学院 人文社会科学研究部教授	
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645610	<p>がん罹患した高齢者やその家族への看護支援について学びます。わが国のがん医療や看護の現状とともに、高齢者の特徴を理解し、がん治療が高齢がん患者へおよぼす影響と、がんやがん治療に伴う様々な苦痛に対する看護支援の基本について理解を深めます。そして、高齢がん患者が、がんと共によりよく生きるための看護支援について検討します。看護の専門知識がなくても、受講者それぞれの立場で学べるように授業を進めていきます。</p> <p>授業は講義形式を中心に行いますが、授業中に受講者間の意見交換の時間を設け、学習が深まるようにします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 がん医療やがん治療の動向 第2回 超高齢社会日本の動向と高齢者の特徴 第3回 高齢がん患者のがん治療と看護支援の基礎となる理論1 第4回 高齢がん患者のがん治療と看護支援の基礎となる理論2 第5回 高齢がん患者のがん治療と看護支援の実際1 第6回 高齢がん患者のがん治療と看護支援の実際2 第7回 高齢がん患者への意思決定支援と倫理的課題 第8回 高齢がん患者の家族への支援</p> <p>【学生へのメッセージ】 わが国は超高齢社会を迎え、高齢がん患者は増加しており、療養生活において高齢者の特徴を踏まえた関わり方が重要です。がん療養を行う高齢者について理解を深め、よりよい生活支援について一緒に考えましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	超高齢社会におけるがん看護	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ヒグチ ユキ 樋口 有紀 熊本大学大学院 生命科学研究部助教	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月26日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(ZOOM)授業で実施	

科目コード	2645700	<p>生命の設計図である遺伝子の化学的本体はDNAです。この面接授業では、DNAを対象とした実験を行い、分子生物学や生命科学への理解を深めます。実験の前半では、自分の口内上皮細胞からDNAを取り出し、マイクロサテライトと呼ばれる個人間で長さが異なるヒトDNAの部分のPCR法で増幅させて、DNAを用いた個人識別が可能か考察します。後半の実験では、遺伝子組換え技術で使われるプラスミドDNAを大腸菌から抽出し、制限酵素切断とアガロースゲル電気泳動を用いた解析を行い、バイオテクノロジーの基礎を学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 (講義) ①DNAとは何か ②今回の実験の概要と原理 第2回 (実験) 口内上皮細胞からのDNA抽出 第3回 (実験) PCR法によるマイクロサテライトDNAの増幅実験 第4回 (実験) アクリルアミドゲル電気泳動による増幅DNAの解析 第5回 (実験) 大腸菌からのプラスミドDNA抽出 第6回 (実験) 制限酵素によるプラスミド切断実験 第7回 (実験) アガロースゲル電気泳動による切断産物の解析 第8回 (講義) 実験結果の考察とまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 生物学実験が全く初めての方でも、原理を含めてわかりやすく指導しますので、安心して受講下さい。休憩時間は、実験の進み具合により適宜取ります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 DNAやPCR法などについて、高校の生物教科書や基礎的な分子生物学の本で、事前に読んだり、調べたりしておく、実験の内容がより良く理解できます。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 実験を行いますので、動きやすく汚れても良い服装や靴を用意してください。もし白衣やエプロンがあればお持ち下さい。また、手洗い用のタオル、筆記用具、ノートをご持参下さい。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	分子生物学実験：DNAの解析	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	16名	
担当講師	タニ トキオ 谷 時 雄 放送大学 熊本学習センター所長	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月26日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター講義室1 および 熊本大学理学部1号館2階生物実習室 (熊本市中央区黒髪2丁目39番1号) ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645599	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>もし自分の手でホームページを作成することができて、インターネットを通して公開することができたら、どんなに楽しいことでしょう。</p> <p>この授業は、ウェブページをこれまで作成したことがないあなたに、ウェブページ作成を基礎から学んでいただくためのものです。授業に沿って実際に手を動かして理解していただきます。あなたの手に情報公開の確かな力がつくでしょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 HTML「ハイパー・テキスト・マークアップ・ランゲージ」 第2回 画像を表示する 第3回 世界から見える書式のHTMLファイルをつくる 第4回 「リンク」を張る 第5回 Googleサイトへログインし、これまでのページをサイトで実現する 第6回 Google サイトへYouTubeの動画を埋め込む 第7回 Googleサイトの各種機能を使ってみる、自由作品を作る（1） 第8回 自由作品を作る（2）</p> <p>【学生へのメッセージ】 放送大学のキャンパスメールを使うことができる人を対象としています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 放送大学のキャンパスメールにログインし、キャンパスメールが使用できる事を確認しておいてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 学習センターの放送大学の無線LAN wifi-houdaiに接続したことがない方、登録していない方は、所属の学習センターで無線LAN利用申請手続きを授業実施の前日までに済ませておいてください。また、授業実施前日までは、接続テストをしておくことを強く推奨します。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び、自由作品として構築したウェブサイトのURL（アドレス）を共有・提出していただき、ウェブサイト上に授業で学んだ要素が含まれているかどうかを確認して評価します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンとACアダプタ（重要:授業中は、ずっとパソコンを使用します）を持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用します。種類は問いませんが、Chromeブラウザを推奨しますので、可能な限りインストールしておいてください。 テキストエディタを使用します。種類は問いませんが、ほとんどのOSでは最初からインストールされているものがあり、それで十分です。Windowsの「メモ帳」、macOSの「テキストエディット」、ChromeOSの「Text」が相当します。 4. その他 ・Windows10以上、macOS Ventura以上を対象とします。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	ホームページ作成の基礎		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	ナカノ ヒロシ 中野 裕司 熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月2日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	熊本学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645718	授 業 概 要	<p>地球上には2021年現在知られているだけで、213万種以上の生物がいます。では、どのような種類の生物がいて、どのような特徴をもっているのでしょうか？本授業では、最低限必要な生物学の基本を解説した上で、植物や動物を含めたいろいろな生物群の特徴や進化について、説明を行います。最後にヒトと生物多様性との関係を纏めます。 生物多様性という言葉に日常語として触れる機会が多くなりましたが、生物の種類の概要を学びましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 導入 生物多様性とは。この授業に必要な生物学の基礎知識：生物とは何か、膜、代謝、自己複製、生態系、ウイルス 第2回 細胞の進化と多細胞化；原核細胞、真核細胞、単細胞、多細胞 第3回 生物の系統と分類；生物の階層構造、系統、全生物の分類；細菌・原生動物；特徴と系統 第4回 植物1：特徴、分類、生活環、系統、植物の上陸 第5回 植物2：器官、種子とは何か、花の進化 第6回 菌；特徴、分類、他の生物との共生 第7回 動物1：特徴、分類と系統、節足動物の特徴と上陸、脊索動物の特徴・進化・上陸 第8回 動物2：脊索動物の特徴・進化・上陸、脊椎動物の体制、ヒトの進化、現在の生物多様性：全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 私たちヒトも生物の1種です。地球にはどのような生物がいて、ヒトとはどのような関係を持っているのかを学びましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。中学の理科や高校の生物の教科書があれば、関係しそうな範囲を読んできてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	生物の多様性と進化		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	タカミヤ マサユキ 高宮 正之 熊本大学名誉教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月2日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645629	<p>高齢化かつ多忙な現代社会では、「薬」が欠かせない存在となっています。授業では、私たちの生活を支える代表的な治療薬に関する知識を身につけることを目的とし、話題性の高い新薬を中心に、その効能や開発の経緯、なぜ効果があるのかについて学びます。また、薬が私たちの生活にどのように影響しているかを考えます。</p> <p>授業は講義形式で行い、パワーポイントと配布資料を活用します。わかりやすい図解を多用し、専門的な用語や知識をできるだけ避け、化学が苦手な方にも理解しやすい形で授業を進めます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 新薬が生まれるプロセス - 現代社会のニーズと研究開発 -</p> <p>第2回 糖尿病治療薬 - 多彩なインスリン製剤と体重減少が期待できる薬 -</p> <p>第3回 骨粗しょう症治療薬 - 骨を壊させない薬と骨を作らせる薬 -</p> <p>第4回 感染症治療薬 - 1回で効くインフルエンザの薬とC型肝炎を完治する薬 -</p> <p>第5回 免疫を整える薬 - 関節リウマチを元から断つ薬と眠くならない抗アレルギー薬 -</p> <p>第6回 がん治療薬1 - がんの急所を攻める薬と免疫力アップで倒す薬 -</p> <p>第7回 がん治療薬2 - 温故知新の復活薬と進化を遂げた薬 -</p> <p>第8回 アルツハイマー型認知症治療薬 - アリセプトと夢の新薬開発 -</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>薬学に興味がある、高齢化社会や現代社会における薬の重要性を理解したい、化学が苦手だけど薬について学びたい方を歓迎します。わからないことがあれば、授業途中でもご質問いただけます。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>画期的な新薬及び今以上によく効く薬があればいいと思う疾病や日常生活で困っている症状を考えてきてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポート（A4用紙1枚程度）の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>授業当日は、筆記用具を持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>本科目は、2018～2019年度に実施した「現代社会で活躍する薬」と重複する内容が一部ありますが、最近の動向を踏まえて大幅に授業内容を改訂しています。前回履修した方でも新たに興味を持てる内容となっています。</p>
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	現代生活を支える 最新医薬	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	54名	
担当講師	クニヤス アキヒコ 國安明彦 崇城大学 薬学部教授	
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月9日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(ZOOM)授業で実施	

科目コード	2636409	<p>心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、囚人のジレンマ、SD法）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学研究と統計的分析（1）</p> <p>第2回 心理学研究と統計的分析（2）</p> <p>第3回 ストループ効果：実験とデータ整理</p> <p>第4回 ストループ効果：解説とレポートの書き方の説明</p> <p>第5回 囚人のジレンマ：実験とデータ整理</p> <p>第6回 囚人のジレンマ：解説とレポートの書き方の説明</p> <p>第7回 SD法：実験とデータ整理</p> <p>第8回 SD法：解説とレポートの書き方の説明</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>期日までにレポートを提出してください。実験は基本的に小グループで行いますので、他の受講生と協力して進めてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>授業当日は、定規、電卓（「√」（ルート）のボタンがあるもの（スマートフォンの電卓機能でも可）、パソコンでレポートを作成したい人はノートパソコンとUSBメモリを持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を取得済みであることが望ましいです。</p> <p>事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。色識別を要する実験課題があります。</p>
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ヤスマラ アキラ 安村明 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授	
日程実施時間	6月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月22日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

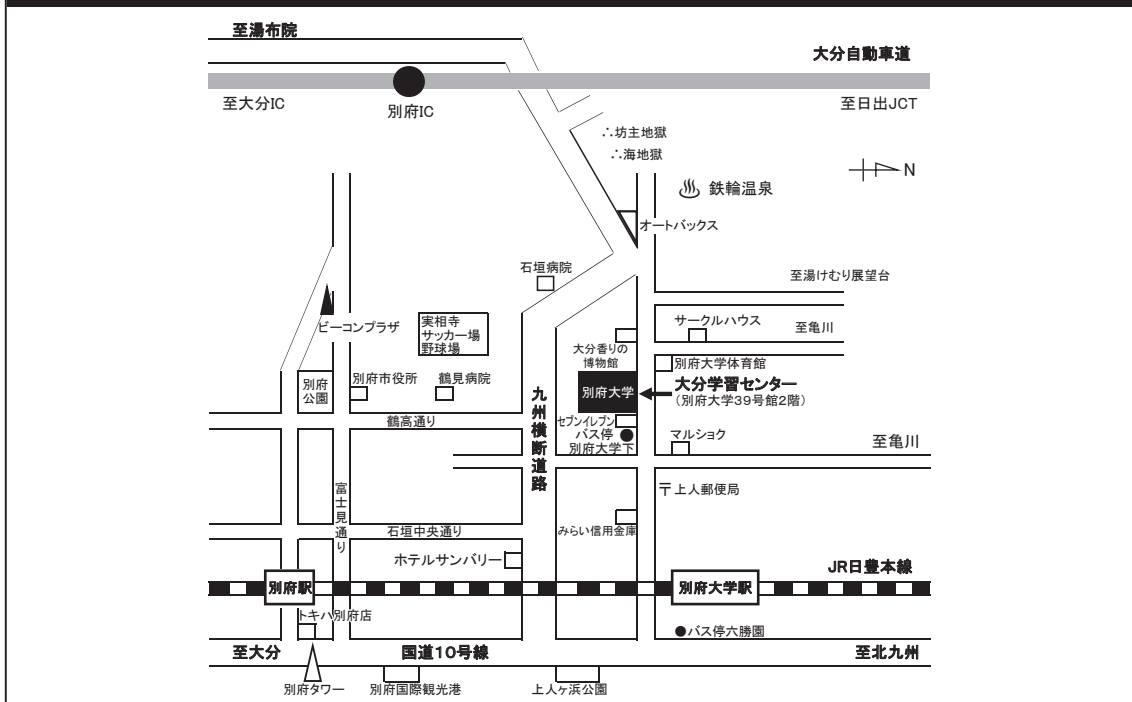
科目コード	2645670	<p>財務諸表には作り方と読み方があります。今回はこの読み方について学習します。まず、主要財務諸表である貸借対照表と損益計算書の読み方について解説します。この知識をもとに、実在する企業の財務諸表を読んでみます。次に、様々な経営指標を利用した財務諸表分析を行います。この内容が一般に財務諸表分析と呼ばれているものです。最後に、受講生の皆さんに財務諸表を実際に分析してもらいます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 財務諸表分析の基礎の基礎 第2回 財務諸表分析の基本的な考え方 第3回 財務諸表を読む① 第4回 財務諸表を読む② 第5回 指標による分析① 第6回 指標による分析② 第7回 比較分析 第8回 まとめと質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 会計・ファイナンス関連の講義を履修したか、予備知識のある学生の受講が望ましいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 電卓</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ファイナンス入門（三訂版）（齋藤正章／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595324116）</p> <p>【その他（特記事項）】 身体に障がいをお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。</p>
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	財務諸表分析の基礎	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	サイ トウ マサ アキ 齋藤 正章 放送大学准教授	
日程実施時間	6月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645637	<p>「食育」はその言葉の認知度が上がってきているものの、捉え方は人それぞれです。本講義では「食育」の基本を学ぶとともに、様々な側面から見た「食育」の現状と課題を整理しつつ、必要とされる「食育」について考えましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 食育とは－食育の基本を食育基本法で確認しましょう－ 第2回 家庭における食育－子供を中心に－ 第3回 学校および保育所等の食育－給食を中心に－ 第4回 地域における食育 第5回 生産者から見た食育 第6回 食文化継承と食育 第7回 食品の安全性と食育 第8回 自分にもできる食育を考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講座を通して食育の基本を理解していただくことで、自分にもできる食育を一緒に考えていただければと思います。また、具体的な実施例も示しながら食育のヒントもお伝えしたいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して指定の教科書を使い自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 令和5年版 食育白書（農林水産省編／日経印刷株式会社／¥2,145／ISBN=9784865793727）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。また、同じ資料は農林水産省のウェブサイトでも入手可能ですが、購入されることを勧めます。</p>
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	食育の現状について考える	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	20名	
担当講師	トモ ヨリ ヒロ コ 友 寄 博 子 熊本県立大学 環境共生学部教授	
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月6日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

大分学習センター

(コード：44A)

大分学習センター案内図 ☎0977-67-1191



【所在地】〒874-8501 別府市北石垣82(別府大学39号館2階)

【交通アクセス】

①JR利用の場合(最寄駅は別府大学駅)

JR日豊本線別府大学駅より徒歩10分

②バス利用の場合(JR日豊本線別府駅から:所要時間20分)

〔東口バス停〕

20 亀の井バス<別府大学経由鉄輪行>「別府大学前」で下車

23 亀の井バス<石垣経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

〔西口バス停 2のりば〕

6 亀の井バス<鶴見丘高校経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

【その他連絡事項】

【昼食】

昼食は各自でご用意ください。別府大学学生食堂(日曜日休業)、または学習センター近辺のコンビニエンスストア、弁当店等をご利用ください。

【駐車場】

駐車場は駐車台数に限りがありますので、原則公共交通機関をご利用ください。

科目コード	2645750	授 業 概 要	音読の基礎を学びながら、一人一人に最適な発声法と表現法を探っていきます。本授業の受講によって、「楽な発声」、「声（息）の使い方」とともに、「基礎的な表現技法」を学ぶことができるでしょう。授業の後半には、文体の異なる文章を素材にして、自分の声にいつその磨きをかけていきます。母音を繋ぐ、覇気をもたせる、話すように読むといったことをトレーニングしていきます。他者の朗読に感想を伝えるなどの相互交流によって、よりよい表現法の追究にも取り組みます。 【授業テーマ】 第1回 1文読みを通して、自分の声を知る 第2回 発音の基礎を学び、声に磨きをかける 第3回 音読の3つの型によって、呼吸を鍛える 第4回 表現技法を学びながらの小括 第5回 『枕草子』を素材に声の優美さを探る 第6回 「漢詩」を素材に声の覇気を探る 第7回 『走れメロス』を素材に息づかいを探る 第8回 自分の声の魅力を探る 【学生へのメッセージ】 声を出すことを中心とした実践的授業になります。「理解して試す」のではなく、「試しながら理解していく」という方法の授業です。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、試験時間に行う実技テストにより行います。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	音読・朗読による 声の世界		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	24名		
担当講師	ハナ サカ アユム 花 坂 歩 大分大学 教育学部教授		
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 4月21日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時は閉講		
		【受講者が当日用意するもの】 ハンカチと割り箸(発声、発音、口形を矯正するために、軽く噛んだまま声を出していただきます)。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。	

科目コード	2645777	授 業 概 要	大分県は県土の7割が森林で覆われており、急峻な山地の影響で土砂災害警戒区域が国内でも6番目に多いです。沿岸部では南海トラフ地震の他、県北の周防灘東部には周防灘断層帯が控えており甚大な被害が想定されています。近年では風水害による洪水や土砂災害が県内で頻発化・甚大化しており、加えて地震や津波などの大規模災害に対する備えも急務です。本講義では、これら大分県の災害の特徴を理解しつつ、被災地域の実情や復興など現地学習を通じ、防災や減災の視点にたった社会システム機能の構築について議論します。 【授業テーマ】 第1回 自然現象と災害(土砂災害・洪水) 第2回 自然現象と災害(地震・津波) 第3回 近年の災害とその特徴 第4回 防災と減災社会を考える 第5回 現地学習(日田市天ヶ瀬温泉) 第6回 現地学習(日田市天ヶ瀬温泉) 第7回 現地学習(日田市天ヶ瀬温泉) 第8回 現地学習(日田市天ヶ瀬温泉)・まとめ 【学生へのメッセージ】 本講義は2日間の集中講義で実施します。初日は座学や受講生とのディスカッション。2日目は被災地域(日田市天ヶ瀬温泉)への現地学習を行い、被災当時の様子や地域防災向上の取り組み、そして復興と地域課題について一緒に考えていきます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	大分の災害と防災		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	25名		
担当講師	ツル ナリ ヨシ ヒサ 鶴 成 悦 久 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター長		
日程実施時間	4月20日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 4月21日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50		
実施会場	大分学習センター教室2 及び 日田市天ヶ瀬温泉街(2日目) ※不測の事態発生時は閉講		
		【受講者が当日用意するもの】 ・2日目は現地学習(日田市天ヶ瀬温泉)を行います。バス代などのため、授業料とは別に合計1,500円を授業初日の朝、徴収します。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 ・2日目は各自弁当を持参してください。 ・現地で研修しますので、野外で活動する支度(服装、運動靴等)をしてください。 ・バス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。また、当日は1~2kmほど歩きます。体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・天候等の理由から、行き先が変更になる可能性があります。予めご了承ください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照) ・2日目は教室2に集合してください。点呼を取り次第出発します。	

科目コード	2645815	<p>認知行動療法とは、考え方や行動のクセに働きかけ、その人がより楽に生きられることを支援する心理療法の一種です。様々な症状に対してその有効性が示されています。本授業では、認知行動療法を実際に使用してみて、有効性や活用法を学んでいくことを目的とします。基礎的な部分を扱うため、すでに学ばれている方、現場で活用されている方ではなく、初めて触れるという方の受講をお勧めします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 認知行動療法の理論的枠組み 第2回 問題行動の図式化1：図式化を理解する 第3回 問題行動の図式化2：図式化を実践する 第4回 認知的アプローチ：認知再構成法1 第5回 認知的アプローチ：認知再構成法2 第6回 行動的アプローチ1：曝露法 第7回 行動的アプローチ2：アサーショントレーニング 第8回 振り返り レポート</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業は認知行動療法の理解を目的としているため、授業による治療的効果を期待しないでください。自身の考えや行動を振り返る機会になります。そのために精神的に動揺する可能性のある方は受講をご遠慮ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスから判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	認知行動療法入門	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	カワ サキ リュウ 川 崎 隆 別府大学准教授	
日程実施時間	4月27日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 4月28日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2637235	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、理解しやすく説得力のあるプレゼンを行うことを目的として、プレゼンの理論を学び、プレゼンの相互批判を通して実践的なプレゼン技法を修得します。そのためにバフチンの対話理論に基づくプレゼン観、ソリューションを導くための分析技法、ストーリーの構成、図解によるビジュアルな資料作成技法などを学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 プレゼンとは何か：バフチンの対話理論とアクターネットワーク理論 第2回 (演習) テーマの骨子をまとめる・アイデア発表の準備 第3回 (演習) プレゼンのアイデアの発表と批判的検討 第4回 プレゼンのストーリー構成・スライド作成の注意点 第5回 (演習) プレゼン実施上の注意点、リハーサル(1) 第6回 (演習) リハーサル(2) 第7回 (演習) プレゼン本番の準備 第8回 受講生によるプレゼン本番および相互評価</p> <p>【学生へのメッセージ】 本授業では、最後に全員に7分程度のプレゼンをしていただきます。プレゼンのレベルでいえば、多少の経験がある人〜中級者向けになります。グループディスカッションとひとり数回のプレゼンを含みます。プレゼンソフトの使い方は、本授業の中では教えませんので、使えることを受講の前提とします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・受講前に自身の発表テーマを考えておいてください。テーマは、何らかの主張・提案・提言を含み、聞き手の賛同を得ることを目的とする内容に限ります。受講はプレゼンソフトが使えることが前提です。ある程度、パソコンやブラウザの操作に慣れていることも必要です。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価はひとり7分程度の最終プレゼンとその相互評価により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 自分の発表のテーマに関する論拠・参考となるような本・資料・データ類 1. 持参する端末 ノートパソコン 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS、Android等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いません。 ・プレゼンテーションソフトが必要です。PowerPointやGoogleスライド等種類は問いませんが、授業の中では使用法は教えませんので、それを使用できることが前提です。 ・配布資料はPDFで提供しますので、何らかのPDF Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 レポートの組み立て方(木下是雄/筑摩書房/¥858/ISBN=9784480081216)</p> <p>【その他(特記事項)】 持参する端末は長時間使用しますので、ACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	プレゼンテーションの理論と実践	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	10名	
担当講師	カ トウ ヒロシ 加 藤 浩 放送大学教授	
日程実施時間	4月27日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 4月28日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645793	授 業 概 要	<p>日本の伝統医学である東洋医学の概略を学び、現代の鍼灸と漢方の成り立ちについて紹介します。また東洋医学を理解するために必要な思想と歴史についても解説します。</p> <p>「はり・きゅう」の古代から現代までの変遷、材料と使い方などを理解し、実技授業では簡易的な鍼法・灸法を体験・練習します。また実際の鍼灸治療を解説を交えながら行います。</p> <p>食養生の授業では、東洋医学の考えをベースに季節や体質にあわせた食材について学び、毎日の食事に活かすことで体の調子を整え、健康的な食生活を送れるようになりましょう。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 東洋医学概論1（概説・歴史・陰陽五行説）〔木場〕</p> <p>第2回 「はり」と「きゅう」について〔市橋、杉若〕</p> <p>第3回 東洋医学概論2（五臓六腑・気血・病因）〔木場〕</p> <p>第4回 はり・きゅう実技（本物の鍼と艾を使用し刺鍼と施灸の練習）〔杉若・木場〕</p> <p>第5回 東洋医学概論3（経絡と経穴〔ツボ〕について）〔杉若〕</p> <p>第6回 東洋医学と食養生（東洋医学の考えに基づいた食事、季節と体調にあわせた食材の紹介）〔市橋〕</p> <p>第7回 鍼灸治療の実際（模擬治療から東洋医学的な診察・治療法・予防法を学ぶ）〔木場・杉若〕</p> <p>第8回 オイルマッサージ（家庭でできるツボ療法）〔市橋〕</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>日本は世界一病人が多い国と言われています。東洋医学を学ぶことで自分の身体を知り、病気の一手手前で立ち止まることができます。この機会に東洋医学的な身体診察・治療法・予防法・食養生を学んでください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>東洋医学と西洋医学を比較し、両者の違いを考えてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>2日目の第8回はマッサージオイルを使用しますので、汚れても良い服をお願いします。また手を拭くタオルを持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>試験問題は、当日講義した内容から出題します。</p> <p>「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	東洋医学・ 鍼灸と食養生		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	<p>スギ ワカ コウ キ</p> <p>杉 若 晃 紀</p> <p>大分医学技術専門学校鍼灸師科専任教員 学科長</p> <p>コバ ヨシイ ト</p> <p>木 場 由 衣 登</p> <p>大分医学技術専門学校鍼灸師科専任教員</p> <p>イチ ハシ カ スミ</p> <p>市 橋 香 澄</p> <p>大分医学技術専門学校鍼灸師科専任教員</p>		
日程実施時間	<p>5月11日（土）</p> <p>第1時限 9:45～11:15</p> <p>第2時限 11:25～12:55</p> <p>第3時限 13:40～15:10</p> <p>第4時限 15:20～16:50</p> <p>5月12日（日）</p> <p>第1時限 9:45～11:15</p> <p>第2時限 11:25～12:55</p> <p>第3時限 13:40～15:10</p> <p>第4時限 15:20～16:05</p> <p>試験・レポート等</p> <p>16:05～16:50</p>		
実施会場	<p>大分学習センター</p> <p>教室1</p> <p>※不測の事態発生時は閉講</p>		

科目コード	2645831	授 業 概 要	<p>日本民俗学は柳田国男が創設した学問で、それまで無視されたり価値のないものとされていた庶民の生活文化を調査研究することにより、日本の基層文化を明らかにすることを目的としてきました。日本の庶民の知力が高く、美的感性も細やかであったことを前提に、柳田国男の思想を見て行きながら、「他界観」「祖霊と先祖祭祀」「鬼」「怨霊と御霊」「妖怪・変化・幽霊」など、その後の民俗学の展開の一部を見ていきます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 「日本民俗学の基盤」</p> <p>第2回 「日本民俗学の成立」</p> <p>第3回 「生活空間と土地利用」「日本民俗学の基盤」</p> <p>第4回 「日本人の他界観」</p> <p>第5回 「祖霊と先祖祭祀」</p> <p>第6回 「日本の鬼」</p> <p>第7回 「妖怪・変化・幽霊」</p> <p>第8回 「現代日本での妖怪の受容」</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>柳田国男は民俗学を構築する中で日本人の意識改革を行い、民衆文化を日本の基層文化として位置づけました。民俗学は現在から過去に向かって遡って見ていきます。歴史学とは少し違うことを理解していただければ幸いです。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から、それぞれ興味のある関連資料を読んだりして、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>特別なものはありません。筆記用具は用意してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p> <p>講義はパワーポイントを用いて進め、テキストデータはプリントして配ります。それぞれの講義の最後にミニツッパパーで受講感想文を書いていただきます。また質問のある方は質問欄にその内容を書いてください。次の講義の時に可能な限り回答します。最後の授業でレポートを書いていただくこととなります。</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	民俗学への誘い		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	<p>ダン ジョウ タツ オ</p> <p>段 上 達 雄</p> <p>別府大学</p> <p>文学部史学・文化財学科特任教授</p>		
日程実施時間	<p>5月11日（土）</p> <p>第1時限 9:45～11:10</p> <p>試験レポート等 11:10～11:15</p> <p>第2時限 11:25～12:50</p> <p>試験レポート等 12:50～12:55</p> <p>第3時限 13:40～15:05</p> <p>試験レポート等 15:05～15:10</p> <p>第4時限 15:20～16:45</p> <p>試験レポート等 16:45～16:50</p> <p>5月12日（日）</p> <p>第1時限 9:45～11:10</p> <p>試験レポート等 11:10～11:15</p> <p>第2時限 11:25～12:50</p> <p>試験レポート等 12:50～12:55</p> <p>第3時限 13:40～15:05</p> <p>試験レポート等 15:05～15:10</p> <p>第4時限 15:20～16:45</p> <p>試験レポート等 16:45～16:50</p>		
実施会場	<p>大分学習センター 教室2</p> <p>※不測の事態発生時は閉講</p>		

科目コード	2645734	授 看護は、皆さんの人生のいろんな場面に関係しています。知っているようで知らない「看護」について、理解が深まるような内容にしていく予定です。施設で仕事をしている看護職だけでなく、地域で活動している看護職についてもお伝えしますので、授業の後、看護職に対する見方が変わっていくことになるとと思います。楽しく、でも真面目に看護について考えていきます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	看護学への誘い	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	アンドウ タカ コ 安藤 敬子 大分大学 福祉健康科学部講師	
日程実施時間	5月18日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月19日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時は閉講	業 【授業テーマ】 第1回 看護とは 第2回 看護の役割と機能 第3回 看護のとらえる健康とは 第4回 看護活動の実際 第5回 看護の対象理解① 第6回 看護の対象理解② 第7回 看護の倫理 第8回 看護技術 【学生へのメッセージ】 関心をもつことが視野を広げる第一歩です。講義後に、自分で調べてみるなどの学習の深まりを期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2645807	授 私たちは生きていくために食事をします。食べ物は安全でなければ、安心して食べることはできません。安全な食べ物も私たちの対応が不適切であれば、健康を害することも発生します。このことを食中毒と言います。食中毒の原因を知ることで、その対策を考え、適切に対応することで食の被害を防ぐことができます。これらのことを基礎から応用まで、身近な事例をあげながら解説していきます。一緒に考えていきましょう。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	食中毒と食品衛生	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	マキ マサ オ 牧 昌 生 別府溝部学園短期大学教授	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月26日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時は閉講	業 【授業テーマ】 第1回 食中毒とは？ 原因を探ろう。 第2回 食中毒に関わる細菌の性質を知ろう。 第3回 食中毒にはどんな物があるの？(分類) 第4回 細菌性食中毒(感染型)の対策を考えよう。 第5回 細菌性食中毒(毒素型)の対策を考えよう。 第6回 ウイルス性の食中毒が最も多いよ。 第7回 自然の食べ物からの食中毒って何だろう。 第8回 その他の食中毒を知ろう。全体のまとめ。 【学生へのメッセージ】 常備薬を点検してみよう。胃腸薬はありますか？これまでの人生でお腹の具合が悪くなったことはありますか？ムカムカしたり、吐き気がしたり、下痢をしたことはありましたか？身近なことから食中毒を考えてみましょう。この講座を受講すると食事が楽しくなりますよ。 【受講前の準備学習等】 新聞やニュースなどで食中毒の話題が掲載されることがあります。インターネットなどで調べてみましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記具・ノート。教科書は使用しません。 【教科書】 教科書は使用しません。

科目コード	2636360	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他 (特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本講義では、受講者自身が心理学実験を体験することで、心理学の実験がどのように実施されているのか理解を深めてもらいます。講義の基本的な流れは、実験を体験してもらいます→データ収集を行います→統計解析を実施します→実験結果の解釈をディスカッションします→レポートを作成し提出してもらいます。実験内容は、「ミューラー・リヤー錯視実験」、「ワーキングメモリ実験」、「心理尺度実験」を予定しています。 受講生の皆さんには、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験のすべてにレポートを提出していただきます。
学習センター (コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		
科目区分	専門科目: 心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	17名		
担当講師	ヤジマ ジュンペイ 矢島 潤平 別府大学教授	業	【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、社会的促進の演習を行う 第2回 ミューラー・リヤー錯視実験を行う 第3回 ミューラー・リヤー錯視実験のデータを収集し、統計分析を行う 第4回 レポートの作成方法を学習する 第5回 ワーキングメモリ実験を行う 第6回 実験データを収集し、統計分析し、レポートを作成する 第7回 心理尺度の実験を行う 第8回 実験の解説及びディスカッションを行いレポートを完成させる
日程実施時間	5月25日 (土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月26日 (日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	概	【学生へのメッセージ】 グループで行う実験もありますので、受講者間でのコミュニケーションを是非とってください。積極的に参加して、心理学実験に触れてください。 【受講前の準備学習等】 ・錯視、記憶、心理尺度について事前に調べておいてください。 ・メールでレポート等を提出するために、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時は閉講	要	【受講者が当日用意するもの】 USB 電卓 (スマホアプリなどの電卓機能のあるものでも可) ストップウォッチ (スマホアプリ可) 1. 持参する端末 レポートが作成できる端末であれば種類は問いません 2. OSの指定 種類は問いません (Windows, macOS, ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・文章作成ソフト (WordやGoogleドキュメント) が必要です。 ・表計算ソフト (Excel) が必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他 (特記事項)】 ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。 ・持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2645726	授	この授業の目的は、基本的な英語コミュニケーションスキルを向上させ、英語の勉強を楽しむことです。授業は、ワークショップとして、実践で役立つ様々な練習を取り入れて、学生間の交流を促していきます。毎回、すべてのクラスの学生が積極的に参加することを期待しています。評価は、小テスト、クラス参加、学習努力に基づいて行われます。
学習センター (コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	英語で練習できる ワークショップ		
科目区分	基盤科目: 外国語		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	シャーリー ジェラルド Shirley Gerald 大分県立看護科学大学名誉教授	業	【授業テーマ】 第1回 Lesson 1: May I open your suitcase? / Lesson 2: How was your flight? 第2回 Lesson 3: What should we do tomorrow? / Lesson 4: We're going to visit Chinatown. 第3回 Lesson 5: What do you do in your free time? / Lesson 6: This one is cheaper. 第4回 Lesson 7: Don't forget your money! / Lesson 8: Do you want to go to a concert? 第5回 Lesson 9: I have to study. / Lesson 10: Did you go on the roller coaster? 第6回 Lesson 11: I need some help. / Lesson 12: Have you been to Kyoto? 第7回 Lesson 13: Can you describe it? / Lesson 14: I'd like the nachos, please. 第8回 Lesson 15: If I pass my exams, I'll go to college. / Short Test
日程実施時間	6月1日 (土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月2日 (日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	概	【学生へのメッセージ】 Let's have fun practicing English! 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時は閉講	要	【受講者が当日用意するもの】 ・教科書 ・可能であれば英和辞書 (電子辞書・冊子どちらも可) や、翻訳ソフト (スマホアプリ可) 【教科書】 My First Passport Second Edition Level 2 Student Book (Angela Buckingham and Lewis Lansford / Oxford University Press / ¥2,376 / ISBN=9780194577830) ネット通販 (Amazon、楽天ブックス等) で入手可能です。書店での購入はオックスフォード大学出版局HP>ご購入についてを参照してください。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009 ~ 2015年度「共通科目: 外国語」に該当します。

科目コード	2636409	授	この授業はレポート作成のために自分用パソコン持ち込むことが可能です。(パソコンが無くても受講可能です) 自分用パソコンを持ち込む予定の方は【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の研究法の1つである実験的方法の考え方や手続きを体験的に学習することを第1の目的とします。第2の目的は、実験を通して心理学レポートの作成方法(問題と目的・方法・結果・考察)を学習することです。授業では、個人で行う実験と、グループを組んで実験者と実験参加者の両方を体験する実験を行います。受講生の皆さんには、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出していただきます。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320	業	【授業テーマ】 第1回 講義:心理学実験に関する基礎知識 第2回 講義:実験計画の立て方、実験データの整理の方法 第3回 実験1:鏡映描写(両個性転移) 第4回 レポート作成:実験1のレポート作成 第5回 実験2:SD法 第6回 レポート作成:実験2のレポート作成 第7回 実験3:社会的判断(ヒューリスティック判断) 第8回 レポート作成:実験3のレポート作成
定員	17名		【学生へのメッセージ】 この授業は、心理学実験の中級編です。3つの実験実習メニューはいずれも実験の組み立て方(実験計画)がわかりやすい構成になっています。
担当講師	アノウリョウタ 麻生良太 大分大学 教育学部准教授		【受講前の準備学習等】 ・シラパスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・メールでレポート等を提出する場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
日程実施時間	6月1日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月2日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時は閉講		【受講者が当日用意するもの】 電卓・時計(できたらストップウォッチ機能がついているもの)をご持参ください。 パソコンを持ち込む方は次の1~4を確認してください。 1. 持参する端末 レポートが作成できる端末であれば種類は問いません。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール 特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・PC上で作成したレポートを紙媒体で提出したい方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
		要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 心理学基礎実験と質問紙法(石原 治 編著/培風館/¥1,925/ISBN=9784563057091) 心理学基礎実習マニュアル(宮谷真人・坂田省吾 代表編集/北大路書房/¥3,080/ISBN=9784762826658) 心理学実験法・レポートの書き方(西口利文・松浦 均編/ナカニシヤ出版/¥2,420/ISBN=9784779502378)
			【その他(特記事項)】 ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 ・PCを持ち込まない方にはレポート用紙をお配りします。 ・持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 ・端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 ・なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2645742	授	観光は国や地域・街に活力を与え、訪れる人々の心を潤し、観光関連産業や地域経済を活性化させます。現在、観光立国を宣言した我が国においては歴史的、文化的な側面から観光のあり方を改めて問い直すことが求められています。 インバウンド振興は、日本に対する国際理解を促進し、「世界平和のパスポート」ともなり得るもので、地方経済の活性化にも貢献するおおきな可能性を秘めています。 本授業はインバウンドに関する基本知識、歴史、政策、現状を学びます。さらに日本のインバウンドにおける課題の分析方法、解決策を学びます。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	日本をめぐる 国際観光動向		
科目区分	導入科目:社会と産業		
ナンバリング	220	業	【授業テーマ】 第1回 「日本人のアジア観光」 第2回 「アジア人の日本観光」 第3回 「観光の経済・文化・社会のインパクト」 第4回 「サステイナブル・ツーリズム」 第5回 「観光は平和へのパスポート」 第6回 「現代日中観光の歴史変遷について」 第7回 「大分県の観光及びインバウンドについて」 第8回 「観光資源の視察(大正時代の詩人黄瀛について)」
定員	30名		【学生へのメッセージ】 別府をはじめとする大分県には、毎年多くの観光客が訪れます。「おんせん県大分」はブランドとして、全国で最もよく知られるようになりました。 この授業を通して、日本の観光動向を学習でき、さらに日本有数の温泉観光地別府の国際的魅力を再発見できると思います。
担当講師	スズキ ショウ 鈴木 晶 別府大学 国際経営学部教授		【受講前の準備学習等】 大分、別府の観光資源について、グループワークで話す材料を数点選んでください。自分の写真、雑誌の切り抜き、インターネット上の記事等何でも結構です。
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月16日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 日中間関係史 1972-2012 IV民間(園田茂人/東京大学出版会/¥3,300/ISBN=9784130230674) 自分がされたくないことは人にもしない グローバル公共倫理(王敏/三和書籍/¥3,520/ISBN=9784862513724)
		要	【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2645769	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>革新的な対話型生成AI「ChatGPT」が注目を集めています。本科目では、対話型生成AIの仕組みの概要、その活用方法、さらには社会的・倫理的影響まで、幅広いテーマに焦点を当てます。生成AIの活用事例や実践的な演習で活用法を学び、効果的な活用アイデアを列挙できるようになることを目指します。また、それらの情報の共有や意見交換により、アイデアをブラッシュアップできるようになることも目標とします。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 オリエンテーション、対話型生成AIを使ってみる 第2回 生成AI技術・大規模言語モデルの仕組み 第3回 対話型生成AIの活用例と演習 第4回 対話型生成AIの社会・企業等での応用事例 第5回 画像・動画・音楽・音声の生成AI 第6回 生成AIの倫理的・社会的影響 第7回 生成AI活用アイデアの検討・情報交換 第8回 総まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>Google Workspaceを利用します。キーボードで日本語の文字入力やパソコンの基本操作ができることと、キャンパスメール（Gmail）を使うことができることを前提条件とします。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムWAKABAやキャンパスメール（Gmail）にログインするための、ユーザーIDとパスワードを確認しておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持参する端末 インターネットに接続可能なノートパソコンと、スマートフォン（SMS（ショートメッセージサービス）が使用できるもの）の両方をご持参ください。 2. OSの指定 Windows 11を前提とします。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザを前提とします。 配布資料の一部はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 文書作成ソフトが必要です。WordまたはGoogleドキュメントを使用します。 4. その他 Windows10以上を対象とします。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>ChatGPTの頭の中（ウルフラム、ステイーヴン（著）/稲葉 通将（監訳）/早川書房/¥1,012 / ISBN=9784153400092） ジェネレーティブAIの衝撃（馬淵 邦美/日経BP /¥2,420 / ISBN=9784296202683）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p> <p>持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタ等も必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	生成AIの活用		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	17名		
担当講師	スズキ ユウセイ 鈴木 雄清 大分大学准教授		
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月23日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645785	授	<p>持続可能でよりよい社会の実現を目指して全世界で進められているSDG s (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)には、貧困問題、ジェンダー問題、平和など世界共通の解決すべき問題(目標)が17つ挙げられています。本授業では、その中の生物多様性の保全に関わる内容に焦点を絞って説明します。また、生物多様性の仕組みやめぐみ、またそれを持続的に保全・利用していくための戦略を科学的、経済的、社会的観点から学んでいただきます。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	SDG sにおける生物多様性戦略		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	30名	業	<p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 SDG s における生物多様性 第2回 生物多様性とは？～種の多様性～ 第3回 生物多様性とは？～遺伝子の多様性と生態系の多様性～ 第4回 身近な生物多様性の野外観察と実験 第5回 生物多様性の価値～生態系サービス～ 第6回 生物多様性を危機に追い詰めている要因 第7回 生物多様性の保全に向けた世界の動向 第8回 生物多様性戦略とSDG s</p>
担当講師	ナガノ マサヒロ 永野 昌博 大分大学准教授	業	<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>「SDG s」はよく聞く言葉になってきましたが、それに含まれる「生物多様性」(の保全)は、聞き慣れない言葉かもしれません。しかし、生物多様性は私たちの生活にはなくてはならない存在であります。生物多様性の理解から、SDG s への理解を深め、また、身近な自然への興味関心を高めていただければと思っています。</p>
日程実施時間	6月22日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	概	<p>【受講前の準備学習等】</p> <p>身近な自然や生き物に関心をもって観察してください。 新聞等で環境問題に関する記事に目を通してください。</p>
	6月23日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	要	<p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
実施会場	大分学習センター教室2 及び別府大学周辺	要	<p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>外を散策できる服装(運動靴、長袖、長ズボン)</p>
	※不測の事態発生時は閉講		<p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p>
			<p>【その他(特記事項)】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>

宮崎学習センター

(コード : 45A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

- ・宿泊施設 宮崎学習センターにご相談ください。

科目コード	2644215	授 業 概 要	<p>南米大陸に栄えたアンデス文明の研究に、1950年代より日本の調査団が参画するようになり、裾野を広げながら今も活発に研究を展開しています。ペルーではとくに神殿遺跡の調査を通じて、文明の形成過程の特徴を明らかにしてきました。アンデス文明の全体像を概観し、日本調査団の歩みとその研究成果を示します。そして現代において、地域社会の象徴・開発の障害・観光資源・盗掘対象など多様な側面を持つ遺跡と、保管・研究・情報発信・交流の場・開発拠点である博物館を切り口として、文化遺産をめぐる諸課題について考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 南米大陸、アンデスという場所 第2回 アンデス文明史1 最初の南アメリカ人たち 第3回 アンデス文明史2 日本調査団と神殿研究 第4回 アンデス文明史3 初期国家からインカ帝国へ 第5回 アンデス文明の形成1 神殿遺跡を掘る 第6回 アンデス文明の形成2 神殿遺跡を探す 第7回 古代文明と現代社会1 遺跡をめぐる 第8回 古代文明と現代社会2 博物館をめぐる</p> <p>【学生へのメッセージ】 大河流域以外でも文明は発祥しました。四大文明という語は教科書から姿を消しつつあります。アジア・アフリカ以外、例えばアメリカの古代文明からも、人間の営みについて学べるものがたくさんあるのです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 参考書を読むほかに、可能なら身近な遺跡や博物館を訪問し、現代の私たちは過去から残っているモノとどう付き合っているのか、ペルーの事例と比較できるように意識的に考えておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 アンデス文明ハンドブック（関雄二監修、山本陸、松本雄一編／臨川書店／¥3,740／ISBN=9784653045199） アンデスの考古学 新版（関雄二／同成社／¥3,520／ISBN=9784886218773） 2021年の『新版』が最新の内容です。『改訂版』は2010年、初版は1997年です。 アンデス古代の探求—日本人研究者が行く最前線—（大貫良夫、希有の会編／中央公論新社／¥1,980／ISBN=9784120050824） アンデスの文化遺産を活かす—考古学者と盗掘者の対話—（関雄二／臨川書店／¥2,200／ISBN=9784653042365）</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	アンデスの文化遺産と博物館		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ツルミ エイセイ 鶴見 英成 放送大学准教授		
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月28日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645904	授 業 概 要	<p>AIとは、人工知能のことです。AIは、1956年にダートマス会議で米国の計算機科学者ジョン・マッカーシーが初めて使った言葉で、コンピュータによる知的な情報処理システムの設計や実現に関する分野のことです。最近、AIは目覚ましい発展を遂げ、現在人工知能の第3次ブームの真っ只中にあります。このAIの学習実現のために、今日大きく分けて「機械学習」と「深層学習＝ディープラーニング」の2つの技術があります。本講義では、AIに関する基礎から応用まで幅広い内容についてわかりやすく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 AI（人工知能）とは 第2回 AI（人工知能）の変遷 第3回 機械学習その1 第4回 機械学習その2 第5回 深層学習その1 第6回 深層学習その2 第7回 応用事例 第8回 これからのAI（人工知能）</p> <p>【学生へのメッセージ】 クラウドサービスのAIやプログラミングなど実践的な内容も盛り込むので、必須ではありませんが、ご自身のパソコン持参だと理解が深まるものと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	AIの基礎から応用まで		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	310		
定員	35名		
担当講師	サカモト マコト 坂本 真人 宮崎大学工学部工学基礎教育センター教授 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月12日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 工学部講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645882	<p>方言は、私たちにとって非常に身近な存在です。しかし、あらためて「方言とは？」と問われると、返事に窮するかもしれません。特定の方言についてイメージを描くことはできても、具体的にその特徴について説明するのは難しいものです。そこで、本講座では、そもそも日本の多様な方言差はどのように生じてきたのか、そして、現在の日本社会における方言の使用実態と社会的機能についてさまざまな例を見たり聞いたりしながら考えてみようと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに—日本語のバリエーション 第2回 地図で読み解くことばの地域差 (1) 第3回 地図で読み解くことばの地域差 (2) 第4回 音で感じることばの地域差 第5回 コミュニケーションから見えることばの地域差 第6回 社会の変化とことばの地域差 第7回 現代社会における方言 第8回 「つなぐ言葉」としての方言</p> <p>【学生へのメッセージ】 ことばは生活と切り離すことができません。そのため、自分が使っていることばを意識することは、あまりないのではないのでしょうか。普段自分がどのようなことばを使っているか少し意識するようになってみてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	方言とコミュニケーション	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	タナカ リサコ 田中 利砂子 南九州大学 短期大学部講師	
日程実施時間	5月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645874	<p>地域経済は、当該地域に居住する人々の日々の暮らしや拠点を置く企業等の日常活動の積み上げの結果です。地域経済を理解するためには、人々の日常生活や企業の活動に思いをはせ、地域経済の現状や構造等を可能な限り図表化するなど「見える化」することが大切です。</p> <p>本講義では、様々なデータや具体的な事例に基づき「地域経済の現状と展望」について考えていくことで、地域経済の課題を探り、その解決に挑戦する素養を身に付け、もってより良い地域社会の実現に資することを目標とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 地域経済の現状～国や各県の総生産の規模・推移、県民所得など 第2回 地域経済が抱える課題～人口減少と地域間格差 第3回 地域経済を「見える化」する～宮崎県を事例に、地域経済を図表化 第4回 地域経済の展望1～域外や海外に売り込み「外貨を稼ぐ」 第5回 地域経済の展望2～域外・海外から人を呼び込み「外貨を稼ぐ」 第6回 地域経済の展望3～移輸入している財・サービスを地域産のそれらに「置き換えて」産出額を増やす 第7回 地域経済の展望4～仕送りなど地域から出るおカネ、ふるさと納税など地域に入るおカネ、内部留保など地域に貯まるおカネ 第8回 地域経済の担い手～地域経済の担い手である中小企業とこれを支える地域金融</p> <p>【学生へのメッセージ】 次の2点を到達目標に学習してください。 ①人々の生活や企業の行動が経済構造のどこに位置するのか考える習慣づけができて いること ②県民所得の向上という目標に対してどのような行動をとれば良いか説明できること</p> <p>【受講前の準備学習等】 新聞等を読み、地域経済について今何が課題となっているか、日頃から考える習慣づけをしてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業は、関連資料の配付とプレゼンテーションソフトを使って進めます。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 サクサクと読み解く地域経済の勘どころ (緒方哲／鉦脈社／¥1,980 / ISBN=9784860618216) 「みやざき」は可能性に満ちている—『外貨を稼ぎ循環をおこす』(改訂増補版) (緒方哲／鉦脈社／¥1,980 / ISBN=9784860617059) 外貨を稼ぎ循環をおこす—111万人の経済浮揚ここが勘どころ (緒方哲／鉦脈社／¥1,527 / ISBN=9784860615666)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	地域経済の現状と展望	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	オガタ サトシ 緒 方 哲 宮崎産業経営大学客員教授	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月26日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645890	授 業 概 要	<p>長い年月にわたって日本文化に影響を与えてきた古代中国思想・哲学について理解を深めることを目的とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 思想・哲学とは何か 第2回 漢文の読解の基本について 第3回 道徳の淵源としての儒教 第4回 『論語』を読む 第5回 『老子』を読む 第6回 諸子百家の文章を読む1 第7回 諸子百家の文章を読む2 第8回 まとめと振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義では、漢文を読むことの意義について皆さんと考えていきたいと思ひます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行ひます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。漢和辞典をお持ちであれば、持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	古代中国の思想・哲学を学ぶ		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヨコヤマ ユタカ 横山 裕 九州医療科学大学 臨床心理学部教授		
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月9日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636387	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では3つの心理学実験を行い、得られたデータを分析し、レポートを作成します。予定している実験は、「印象形成」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」です。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理学実験についての概説 第2回 実験1「印象形成」実施・データ整理 第3回 実験1「印象形成」解説・レポートの書き方・レポート作成 第4回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」実施・データ整理 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」解説・レポートの書き方・レポート作成 第6回 実験3「メンタルローテーション」実施・データ整理 第7回 実験3「メンタルローテーション」解説・レポートの書き方・レポート作成 第8回 実験における倫理的配慮、まとめ、レポート作成等</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作は習得されていることを望みます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 会場のWi-Fiからインターネットへの接続が必要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行ひます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください(タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスの使用を推奨します。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、会場にプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オザワ タク ヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授		
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月16日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館 3F「さくら」 (宮崎市旭1-3-10) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645912	<p>私たちの身の回りは化学物質に満ちており、皆さんは、知らず知らずのうちに色々な化学反応を利用して生活しています。例えば水。コップに水をゆっくり入れていくと中々こぼれないですね。なぜ?その理由は?本講義では、あっと驚く楽しい化学実験を体験し、その原理(化学反応など)を分かりやすく解説していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 水の不思議。水中シャボン玉を作ろう。 第2回 ペットボトルで雲を作ろう。 第3回 水を使ってマジックに挑戦。 第4回 ティッシュを使って毛細管現象を理解しよう。 第5回 割れない?シャボン玉を作ろう。 第6回 スライムを作ろう。 第7回 保冷剤を使って芳香剤を作ろう。 第8回 ドライアイスでサイエンス。</p> <p>【学生へのメッセージ】 簡単に手に入る身近な物を使ってあっと驚く楽しい化学実験を体験します。本講義では、化学実験を体験後、その原理(化学反応など)をわかりやすく説明します。原理を理解すれば自宅でも家族が驚く化学実験を再現できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 汚れても良い服装で来てください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	身の回りのあっと驚く化学体験3	
科目区分	専門科目:自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	スガ モト カズ ヒロ 菅 本 和 寛 宮崎大学 工学部准教授	
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月16日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 工学部講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地) ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645840	<p>糖尿病、高血圧、脂質異常症等の生活習慣病の予防、低体力者や高齢者の介護予防など、健康志向の運動が地域で活発に行われるようになりました。しかし、運動により健康傷害を引き起こすこともあるため、運動実践においては基本的な知識と技術が必要です。本講義では、まず自身の健康状態や体力を知り、その上で自身に適した運動の種類や方法を理解していただけるよう、健康運動に関する講義と実技を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 健康とは何か。わが国の健康づくり施策の変遷(担当:鶴田) 第2回 体力とは何か。体力測定項目と目的(担当:鶴田) 第3回 エネルギー産生のしくみ(担当:吉永) 第4回 運動とエネルギー消費(担当:吉永) 第5回 体力測定の実施と評価(担当:鶴田) 第6回 目的にあった運動選択と個人評価の視点(担当:鶴田) 第7回 健康運動の実践法①(担当:鶴田) 第8回 健康運動の実践法②(担当:鶴田)</p> <p>【学生へのメッセージ】 皆さん、小・中・高等学校で体力テストを行ったことがあると思います。過去と現在の自分の体力比べをしてみませんか。現状を知り、健康づくりの運動を一緒に実践しましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 体力測定・運動を行いますので、運動できる服装でお越しください。シューズは室内用の運動靴をご準備ください。また、水分補給のための飲み物を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目:保健体育」に該当します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	健康志向の運動実践	
科目区分	基盤科目:保健体育	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	ツル タ クル ミ 鶴 田 来 美 宮崎大学医学部教授 ヨシ ナガ サ オリ 吉 永 砂 織 宮崎大学医学部准教授	
日程実施時間	6月22日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月23日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎大学清武キャンパス 総合教育研究棟 (宮崎市清武町木原5200番地) ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2637715	授 業 概 要	<p>日常的にこんな食べ物を食べ続けていたら身体も壊すことにもなるし、反対に健やかにもなるということは知られていますが、住まいにおいてそのことを認識して実践している人は少ないように思います。しかし、食と全く同じで住まいが人の心身に大きな影響を与えているのは紛れもないことです。近代以降の激変した生活において、建築が今後どのような役割を果たせばよいのでしょうか？近代の可能性と危険性を同時に考えていた近代建築家の思想を読み取りながら考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 住まいの基本とは？健やかな心身のための住の基本を考えます。 第2回 近代とはなんだったのでしょうか？近代以降の生活を考えます。 第3回 帝国ホテルの設計者フランク・ロイド・ライトから学ぶ 第4回 フィンランドの風土に根ざしたアルヴァ・アアルトから学ぶ 第5回 ルイス・カーンとグンナール・アスプルンドから学ぶ 第6回 西洋と日本をつないだ吉村順三から近代とこれからの学ぶ 第7回 あるものをいかす？パッシブデザイン入門 第8回 私の実践紹介</p> <p>【学生へのメッセージ】 生活の基本である衣食住の一つ"住"に関心を持っていただき、理解と視野を広げていただきたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 自身の生活や住環境を改めて見つめていただきたいと思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 住まいの基本を考える（堀部安嗣／新潮社／¥2,640 / ISBN=9784103352921）</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	住まいの基本と近代建築		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ホリベヤスシ 堀部安嗣 放送大学教授		
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月23日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 （宮崎市老松2-1-17） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645866	授 業 概 要	<p>食と健康に関する基礎生命科学、特に生命を担うこの身近で不思議な物質「タンパク質」そして「遺伝子」について説明します。免疫は、ウイルスを始めとして外敵をやっつけるのに非常に重要です。生命の設計図から発展したバイオテクノロジーの技術でできた新型コロナウイルスワクチン誕生の話も紹介します。日々の生活で健康に過ごすには食が大事で、特に食品の体に良い機能性が近年よく分かってきました。私たちの研究成果であるきんかん「たまたま」の免疫活性化そして疲労回復、さらに宮崎の誇る本格焼酎の機能性等も紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 タンパク質のルーツと姿と形 第2回 タンパク質は才媛：酵素の働き 第3回 タンパク質はスーパースター：ホルモン、体内の警察官 第4回 タンパク質と健康：栄養、老化、分子病、生命の設計図 第5回 食品の機能性ときんかん「たまたま」の免疫活性化と疲労回復 第6回 ウイルスとがん：新型コロナウイルスワクチン誕生 第7回 私の研究紹介：ウイルス侵入の鍵となる硫酸化の仕組みの解明 第8回 本格焼酎の魅力：製造からおいしい飲み方・機能性・アルコール体質まで</p> <p>【学生へのメッセージ】 この面接授業は、生命を担う不思議な物質「タンパク質」の働きを説明し、生命科学の面白さを紹介します。私たちの食を活用したウイルス感染予防等の研究や本格焼酎の機能性を紹介し、食の重要性について学びます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 生命科学に関する専門用語が多く出てきますので、シラバスから用語の意味を事前学習していただければ、本科目の理解度が上がります。例えば、酵素、ホルモン、ウイルスなど。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「タンパク質の働きと食品の機能性について」です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 タンパク質－生命を担うこの身近で不思議な物質（蛋白質研究奨励会編／東京化学同人／¥1,540 / ISBN=9784807901975）</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	食と健康：食品の機能を活かす		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	スイコウマサヒト 水光正仁 宮崎大学名誉教授 ／次世代研究者支援室長		
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月30日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 （宮崎市老松2-1-17） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636360	授 業 概 要	<p>3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は、目撃者証言、ミュラー・リャーの錯視、概念学習です。授業時間中にデータ整理、レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 目撃者証言 第2回 論文・レポートの書き方、データ整理、レポート作成 第3回 ミュラー・リャーの錯視 第4回 データ整理、レポート作成 第5回 概念学習 第6回 概念学習 第7回 データ整理、レポート作成 第8回 各レポートの再考・修正</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 レポートは、手書きでもノートパソコンを使用して作成してもかまいません。空き時間等でパソコンを使用してレポートを作成される方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナイトウ ケン イチ 内藤 健一 九州医療科学大学 臨床心理学部講師		
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月30日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

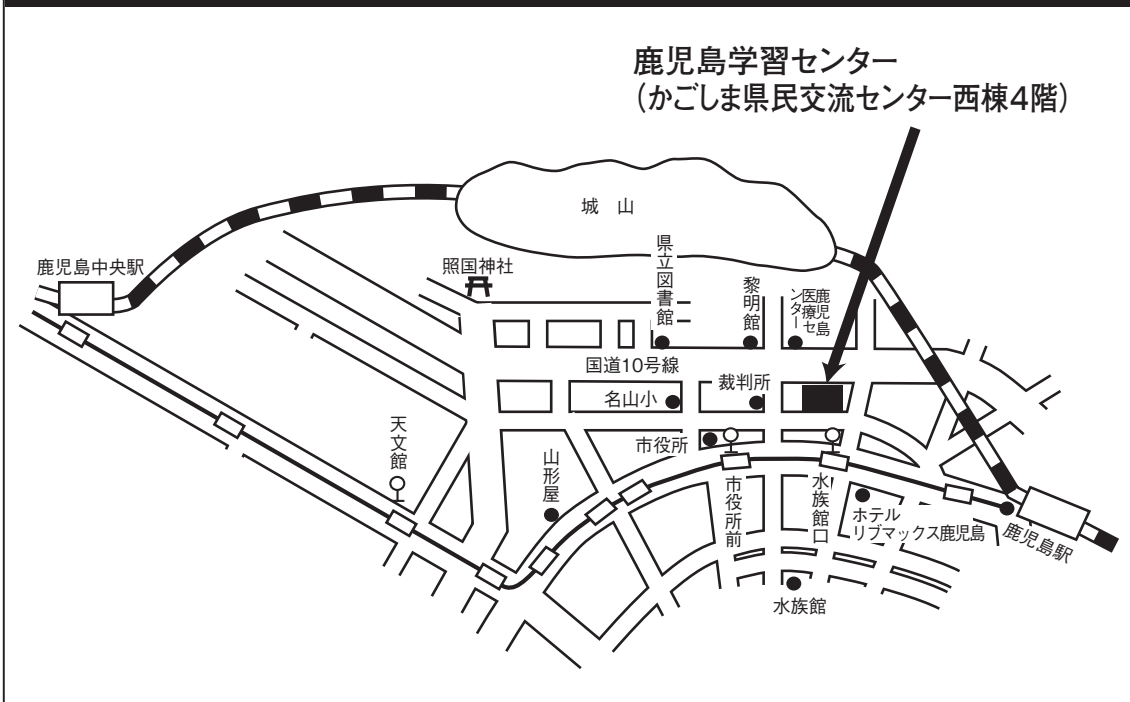
科目コード	2645920	授 業 概 要	<p>宮崎大学の臨海教育研究施設に1泊し、様々な方法で海の生物を採集し、その多様性や神秘的な発現象について学ぶ合宿形式の授業です。海の生物を自らの手で採集し、自らの目で観察することの重要性と楽しさを実地で学ぶ授業です。その様な学びを通じ、海洋環境と生物との関わりを理解し、海洋生態系と人間、食資源との関わりについて理解を深めます。 海の生物の面白さをじっくり味わいましょう。実物に勝るものなしです。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 動物の系統進化と多様性（講義） 第2回 ウニの発生実験、ウニの発生観察① 第3回 実習船によるプランクトン採集 第4回 プランクトンの観察、ウニの発生観察② 第5回 潮間帯にける動物の生態、無脊椎動物の不思議（講義） 第6回 磯での海洋生物の採集 第7回 採集生物の同定と観察①、ウニの発生観察③ 第8回 採集生物の同定と観察②、まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 実習を主体とする2日間の授業を通じ、仲間と協力し、たくさんの海洋生物を集め、自身の目でじっくり観察し、楽しく学びましょう。特別な予備知識はいりません。海の生き物に興味を持った、大好きになれたと実感できる授業としたいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業の一部に磯採集を含みます。長袖シャツ・長ズボン、履き古した靴下、日除け帽子（または日除けタオル）、濡れてもよい運動靴またはマリンスーツや長靴など、野外観察と採集ができる服装を準備してください。磯での野外観察では、できるだけ素肌を露出させない工夫が必要です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 海に暮らす無脊椎動物のふしぎ（中野理枝 著、広瀬裕一 監修/ソフトバンククリエイティブ/¥1,047 / ISBN=9784797363005)</p> <p>【その他（特記事項）】 延岡フィールドでの宿泊は2～4名の相部屋です。原則、延岡フィールドに宿泊して授業に参加をしていただきたいですが、宿泊を希望しない方は通いでのご参加もできますので、宮崎学習センターに問い合わせてください。また、コロナ禍の状況により、延岡フィールドに宿泊できない場合も想定されます。その場合、施設近隣のホテル等をご自身で予約し、延岡フィールドに通学していただく場合も想定されること、あらかじめ、ご了解ください。 ・延岡フィールドに宿泊した場合、授業料とは別に、参加費として5000円程度（食費、布団レンタル代、宿泊料、雑費等）が必要です。参加費は当日現金で徴収します。 ・受講できなくなった場合は、事前に宮崎学習センターに連絡してください。 ・天候が許せば実習船（定員25名乗り）によるプランクトン採集を行います。この場合、実習船利用料として、500円程度を徴収いたします。 ・野外での活動、磯採集のできる服装を持参してください。後日、野外での活動時の注意事項などをまとめたガイダンス資料を、案内文と共に配付いたします。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。）</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	海洋生物学実習		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	ウチ ダ カツ ヒサ 内田 勝久 宮崎大学 農学部教授		
日程実施時間	7月6日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 7月7日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学農学部 フィールド科学教育研究センター・ 延岡フィールド（水産実験所） （延岡市赤水町376-6） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645858	授 業 概 要	<p>「認知症の理解」では、認知症の原因となる主な病気や症状の特性を学び、それによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響、また、認知症の人の心理状態について理解し、認知症本人のみならず介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 認知症の動向と医学的特徴 第2回 BPSD（認知症の行動・心理症状）と認知症の人の心理について 第3回 認知症の人について理解する 第4回 認知症の人を介護する家族について 第5回 認知症のケアについて 第6回 若年性認知症と社会資源について 第7回 軽度認知障害と認知症予防について 第8回 総括</p> <p>【学生へのメッセージ】 認知症の人は、2025年には約700万人を超えるといわれています。認知症や認知症の人を理解し、認知症の人の意思が尊重され、自分らしく暮らしていくことができる社会にしていきたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター (コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	認知症の理解		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	イナダ ヒロコ 稲田 弘子 九州医療科学大学 社会福祉学部教授		
日程実施時間	7月13日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 7月14日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

鹿児島学習センター

(コード：46A)

鹿児島学習センター案内図 ☎099-239-3811



【所在地】〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター西棟4階)

【交通アクセス】

- (1) JR九州
鹿児島駅から徒歩10分
鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- (2) 電車・バス
水族館口下車徒歩4分

【駐車場】

- ・かごしま県民交流センターの地下1階、地下2階が駐車場になっています。
(館内の行事等によっては、満車になる場合もあります。)
- ・放送大学鹿児島学習センター事務室(西棟4階)で学生証を提示し、駐車券の認証を受けると、駐車料が無料になります。
(無料の取り扱いは、放送大学鹿児島学習センター事務室の閉所後、30分までです。)

【その他連絡事項】

面接授業は鹿児島会場(※かごしま県民交流センター内)と奄美会場(県立奄美図書館4階)で開講します(一部例外あり)。面接授業時間割表をよく確認し、受講会場を間違えないように注意してください。

- ※かごしま県民交流センター内会場
鹿児島学習センター講義室(西棟4階)
大研修室第3(東棟4階)

科目コード	2636220	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWiFiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の演習課題の達成度及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。</p> <p>【教科書】 新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）授業当日に配付します。</p> <p>【参考書】 新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。</p>
学習センター（コード）	46A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	5名	
担当講師	オカ ムラ ヒロ アキ 岡村 浩昭 鹿児島大学 学術研究院理学系教授	
日程実施時間	4月13日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月14日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2646056	<p>『源氏物語』の作者は紫式部とされていますが、紫式部が書いた『源氏物語』は現存しません。『源氏物語』はさまざまな人々によって書写されてきて、現在に伝わっています。そのため、少しずつ本文に違いがあります。本講義では、現存する『源氏物語』は誰の手によるものなのかという、『源氏物語』を知るうえでの基本的事項および古典文学を読む際の基本事項を押さえたうえで、『源氏物語』の正編を簡単に見ていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 現存する『源氏物語』の作者は紫式部ではない？ 第2回 平安文学を読む際の基礎知識を身につけよう 第3回 「桐壺」巻～「若紫」巻 第4回 「末摘花」巻～「花宴」巻 第5回 「葵」巻～「明石」巻 第6回 「滯標」巻～「朝顔」巻 第7回 「少女」巻～「若菜下」巻 第8回 「柏木」巻～「幻」巻</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義は、第1回目と第2回目のレベルを高く設定しています。理解が追いつかない際には、質問を受け付けていますので、「分からない」ままにしないでください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	46A	
クラスコード	K	
科目名	『源氏物語』の正編を知る	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ムトウ ナガコ 武藤 那賀子 鹿児島国際大学 国際文化学部准教授	
日程実施時間	4月13日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月14日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645963	授 業 概 要	江戸時代、薩摩藩内（現在の鹿児島県全域と宮崎県南部）で生産された焼き物を薩摩焼と呼びます。藩内各地でさまざまな製品が焼かれ、その多様性が薩摩焼の特徴です。この授業では、窯跡などの発掘調査によって明らかになった薩摩焼の生産と流通について講義します。
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	薩摩焼の考古学		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ワタ ナベ ヨシ ローウ 渡辺 芳郎 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授		
日程実施時間	4月20日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月21日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		
			【授業テーマ】 第1回 陶磁器と考古学 第2回 薩摩焼の概要 第3回 日用品としての薩摩焼 第4回 茶道具としての薩摩焼 第5回 商品としての薩摩焼の流通 第6回 政治的アームとしての薩摩焼 第7回 薩摩焼の食器－龍門司陶器と薩摩磁器－ 第8回 島津斉彬の集成館事業と薩摩焼 【学生へのメッセージ】 窯跡や遺跡で出土する薩摩焼の破片は、完全な形でなくてもきれいでありませんが、薩摩焼の生産や流通の歴史を伝える貴重な資料です。美術品としての薩摩焼とは少し違う薩摩焼の姿を知ってもらいたく思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 日本のやきもの 薩摩（渡辺芳郎／淡交社／¥1,980 / ISBN=9784473019363） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2636360	授 業 概 要	心理学は、多様な実験や調査を通して実証的なデータを得て、仮説を検証する方法で理論的説明を行う学問です。この面接授業では、「ミューラー・リヤー錯視」「アイコニック・メモリ」「対人魅力（態度の類似性と相補性）」の3つの実験を通して、実際に心理学の研究法である実験法を学びます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	32名		
担当講師	オオ ツボ ハル ヒコ 大坪 治彦 鹿児島大学名誉教授		
日程実施時間	4月20日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月21日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター ※不測の事態発生時は閉講		
			【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎知識 第2回 ミューラー・リヤー錯視の実験① 第3回 ミューラー・リヤー錯視の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第4回 アイコニック・メモリの実験① 第5回 アイコニック・メモリの実験②（データの分析と統計検定を含む） 第6回 対人魅力の実験① 第7回 対人魅力の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 第1日の終了時に、ミューラー・リヤー錯視の実験について持ち帰りレポート（ワープロ手書きどちらでも可、第2日の朝提出）を課します。残りの2つの実験のレポートは2週間以内に提出していただきます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、電卓（スマートフォンで電卓機能があれば可） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。

科目コード	2645955	授 業 概 要	<p>私たちは多くの動物とともに生活しています。特に犬や猫はペットとして、今では、愛玩動物ではなく家族の一員となっています。また、経済動物といわれる牛や豚など、動物園などにいる野生動物の健康も獣医師は管理しています。細菌などのように動物と人の双方に感染する病気もありますが、癌や心臓病なども、動物にも人にも同じように発生します。講義では、人と動物の関わりを歴史的な背景、環境的な要因から解説し、人と動物医療の双方にかかわる病気の紹介と、動物医療の現在の取り組みなどを紹介します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 動物と人が共存してきた歴史的背景 第2回 動物と人が共有する環境要因と病気の関わり 第3回 動物のゲノム解析から見えてきた人の病気との関わり 第4回 人畜共通感染症も含めた動物医療の中の感染症 第5回 人医療と動物医療の比較からわかること：比較病態解析という概念 第6回 犬の癌は人の癌と同じか？癌を例に比較病態解析をわかりやすく説明 第7回 新しい動物医療：分子解析・遺伝子解析、治療・再生療法など 第8回 動物の病気から人医療への応用</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>動物の医療を通じて、比較病態解析学という概念を知って、新しい視点で考える講義です。医学や獣医学の専門講義ではなく、広い視野で、人と動物の関係を考えることを目的とした講義です。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	動物医学と人の関わり		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ミウラ ナオキ 三浦 直樹 鹿児島大学 学術研究院獣医学系教授		
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月28日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646013	授 業 概 要	<p>いまや「人生100年時代」といわれています。わが国における平成元年（1989年）の高齢化率は11.6%でしたが、令和元年（2019年）には28.4%に達しています。老年期における健康を科学的に考えるうえでは、身体的、認知的、社会的な側面からとらえることが有用です。「より健康的で、かつ元気な心身状態で100年（とはいわずとも、100年近く）」を過ごしたいものです。健康寿命を延伸するための方策を考える講義です。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 老年期における健康と長寿 第2回 老年期の身体機能・身体活動 第3回 老年期の認知機能：認知症予防の理論 第4回 老年期の認知機能：認知症予防の実践 第5回 老年期の社会活動 第6回 行動変容の理論① 第7回 行動変容の理論② 第8回 総括</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本科目は、フレイル（虚弱）や認知症の予防といった健康寿命延伸のための老年期における健康を科学的に考える講義となります。グループワークなどによるアクティブ・ラーニングも積極的に取り入れます。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>特設の事前学習は要しませんが、シラバスの内容から判断して自己学習や情報収集に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>老年健康科学－運動促進・知的活動・社会参加のススメ（牧迫飛雄馬／ヒューマン・プレス／¥3,740 / ISBN=9784908933226）</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	老年期の健康科学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	マキザコ ヒュウマ 牧迫 飛雄馬 鹿児島大学 学術研究院医学系教授		
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月28日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645971	授 業 概 要	<p>意外に思われるでしょうが、飛鳥・奈良時代から平安時代にかけての官僚（律令官人）たちは、多くは勤勉ではなく、天皇への畏怖もありませんでした。役所を無断欠勤したり、天皇臨席の儀式に無断欠席する。仮病を使ったり、休暇を不正利用して平気で仕事をサボる、などなど。現代の私たちには怠慢・不忠としか言いようのない官僚たちが珍しくなかったのです。この講義では、史料とともに、そんな官僚たちの興味深い、そして驚くべき実態を具体的に紹介していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 律令官人とは何か1 第2回 律令官人とは何か2 第3回 儀式を無断欠席する官人1 第4回 儀式を無断欠席する官人2 第5回 職務を放棄する官人1 第6回 職務を放棄する官人2 第7回 古来勤勉ではなかった官人たち1 第8回 古来勤勉ではなかった官人たち2</p> <p>【学生へのメッセージ】 高等学校の日本史を学習していなくても構いません。みなさんにとって、古代はなかなかイメージしにくいかも知れませんが、だからこそ、この授業で日本をより深く知っていただけたらと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 教科書を入手して、受講前に通読していただければ、講義内容がより理解しやすいと思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 古代日本の官僚－天皇に仕えた怠惰な面々（虎尾達哉／中央公論新社／¥924／ISBN=9784121026361）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	古代日本の官僚の実態		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	トラ オ タツ ヤ 虎尾 達哉 鹿児島大学名誉教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月12日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646021	授 業 概 要	<p>新型コロナの感染拡大により医療の現場では必要な入院医療が受けられず、自宅でなくなる人も出ました。また、仕事を失い生活に困窮する人も増大しました。なぜ、こうした事態に至ったのかを、日本の社会保障の問題点にふれながら、医療・公衆衛生、介護、年金、生活保護（公的扶助）、財源問題にわたって解明し、課題を展望します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 社会保障をめぐる現状と法体系 第2回 医療・公衆衛生（その1）－医療保険 第3回 医療・公衆衛生（その2）－高齢者医療と医療提供体制 第4回 医療・公衆衛生（その3）－公衆衛生 第5回 介護 第6回 年金 第7回 生活保護（公的扶助） 第8回 社会保障の課題－財源問題を中心に</p> <p>【学生へのメッセージ】 年金など日本の社会保障について詳しく知りたい人、医療や福祉の現場で働いている人、講義概要に記したような疑問を持った人の受講を期待しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 岐路に立つ日本の社会保障－ポスト・コロナに向けての法と政策（伊藤周平／日本評論社／¥2,420／ISBN=9784535526952） 医療・公衆衛生の法と権利保障（伊藤周平／自治体研究社／¥2,310／ISBN=9784880377568）</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	社会保障のしくみと法		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	イトウ シュウヘイ 伊藤 周平 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月12日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636360	授 業 概 要	<p>心理学の3つの実験（ミュラー・リヤー錯視、社会的促進、目撃者証言）を取り上げます。それらを通して、心理学実験の方法論、データ分析の仕方、レポートの書き方を学ぶことを目的とします。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎知識（統計検定の考え方を含む） 第2回 ミュラー・リヤー錯視の実験① 第3回 ミュラー・リヤー錯視の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第4回 社会的促進の実験① 第5回 社会的促進の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第6回 目撃者証言の実験① 第7回 目撃者証言の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第8回 まとめ（レポートの書き方のコツを含む）</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学の基礎的な実験を学ぶ中で、「心」という曖昧な対象に対して科学的にアプローチする視点を修得してほしいと思っています。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、電卓（スマートフォンの電卓機能があれば可）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	L		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	オオゾノ ヒロキ 大 園 博 記 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月19日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646048	授 業 概 要	<p>現代の心理学は、測定されたデータから法則や理論を導き出すことと、これら法則や理論が正しいとすればきつこうなるはずだといった予測を測定したデータによって確かめてみることで、この循環によって、生体行動を体系的に理解しようとしています。</p> <p>この授業では、心理学の基本的な研究方法や測定法について学びます。心理学の歴史は測定の歴史とも言われますが、心理学で用いられる基本的な研究方法や測定法、方法論について学ぶことは、心理学の本質的な理解に役立つと考えています。</p> <p>この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（89頁参照）</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学研究法イントロダクション 実証のロジック 第2回 心理学研究法概説1 データを集める、実験法、観察法、調査法 第3回 心理学研究法概説2 実証のためのプロセスと考え方、実験的研究と相関的研究 第4回 実験的研究法1 独立変数の操作、従属変数の測定、測定の信頼性と妥当性 第5回 実験的研究法2 剰余変数の統制、得られたデータの解釈と記述 第6回 相関的研究法 因果関係と相関関係 第7回 調査法の基礎 質問票の構成、リサーチ・リテラシー（データを読み取る力） 第8回 総まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業の内容は、方法論（研究法や測定法）から学ぶ心理学という見方もできます。受講に際しては、数学等の特別な知識は必須ではありません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び第8回授業後半に行う試験の評点により行います。（試験では、講義ノートや配布資料を参照することを妨げません。）</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究、統計学など）を受講し、2単位程度を修得済みであることが望ましいですが、必須ではありません。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	L		
科目名	心理学研究法の基礎		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カミゾノ ヨシユキ 神 園 紀 幸 志学館大学 人間関係学部教授		
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646005	授	<p>海洋から食料を供給する水産業は、わたしたちが生きていく中で重要な役割を担っており、海の豊かさを守りながら持続的に利用していくことが求められます。</p> <p>鹿児島大学大型練習船「かごしま丸」における1泊2日の乗船中に、航海技術や海洋観測などの実習や食料生産に関する講義を行います。</p> <p>世界の海に数多くの船舶が航行する中での航海士の役割、気候変動や海洋環境の変化を知る手掛かりになる海洋観測を実体験して、海洋の持つ役割について理解を深めます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 (室内講義) 乗船実習と船内生活の概要：ガイダンス、緊急時の避難訓練</p> <p>第2回 (船内活動) 練習船の見学：操舵室、船内設備、安全設備</p> <p>第3回 (室内講義) 海洋環境と水産業</p> <p>第4回 (室内講義) 魚の獲り方と海の環境問題</p> <p>第5回 (洋上実習) 航海技術実習：航海士の役割、機関室の機能、ロープワーク実習</p> <p>第6回 (洋上実習) 海洋観測実習1：CTD観測、採水、透明度測定</p> <p>第7回 (洋上実習) 海洋観測実習2：採泥、プランクトン採集・観察</p> <p>第8回 (室内講義) 海洋のもたらす恩恵と持続的利用における課題：2日間のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>生命活動の根源でもある海洋は地球の表面積の約7割を占め、特に生物多様性が豊かな沿岸域は、わたしたちの食料を生産する重要な場でもあります。</p> <p>鹿児島湾と直接触れ合うことで海洋の魅力と意義について、地球環境の観点から考えを深めてもらいたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>書籍やインターネット検索を利用して海洋に関する基本学習に努めてください。</p> <p>参考サイト</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県水産技術開発センターホームページ：http://suigi.jp 錦江湾探検隊ホームページ：http://www.fish.kagoshima-u.ac.jp/fish/kinkowan/index.html <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	鹿児島湾洋上実習		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220	業	
定員	20名		
担当講師	<p>ハバノ アキマサ 幅野 明正 かごしま丸船長／鹿児島大学准教授</p> <p>フクダ リュウジ 福田 隆二 かごしま丸航海士／鹿児島大学助教</p> <p>アリタ ヨウイチ 有田 洋一 かごしま丸航海士／鹿児島大学助教</p> <p>ハタベ カナコ 畑辺 佳奈子 かごしま丸航海士／鹿児島大学助教</p> <p>エバタ ケイゴ 江幡 恵吾 鹿児島大学学術研究院水産学系准教授</p>		
日程実施時間	<p>6月1日(土)</p> <p>第1時限 10:00～11:30</p> <p>第2時限 13:00～14:30</p> <p>第3時限 14:40～16:10</p> <p>第4時限 18:00～19:30</p> <p>6月2日(日)</p> <p>第1時限 8:50～10:20</p> <p>第2時限 10:30～12:00</p> <p>第3時限 12:50～14:20</p> <p>第4時限 14:30～15:15</p> <p>試験・レポート等 15:15～16:00</p>		
実施会場	<p>鹿児島大学水産学部附属 練習船かごしま丸 (鹿児島市南栄5丁目29)</p> <p>※不測の事態発生時は閉講</p>		
		概	<p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 船内泊を伴う乗船実習です。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては、乗船するにあたり厳しい条件を課す(乗船できない)可能性があります。 船内の居室は2名から3名の相部屋です。船内は4層構造で急傾斜の階段が多いため、健康で階段の昇降に支障のない方に限ります。 参加費と交通費として、授業料とは別に、15,300円《※かごしま丸共同利用における施設維持管理費(10,000円)、食費・シーツ等洗濯代(1,800円)、交通費(3,500円)》が必要です。参加費と交通費は1日目に徴収します。 乗船日10日前以降のキャンセルの場合参加取りやめは、食材が事前仕入れのため、食費分をいただきます。 船内宿泊のため、通常時間を変更して実施します。 授業初日は、午前9時頃学習センターに集合後、谷山港までバスで移動します。2日目は下船後、バスで学習センターに移動し、解散します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください(別冊子「開設科目一覧」P.17参照)。 野外活動ができる服装と靴でお越しください。

科目コード	2645939	授	<p>This course will help to develop the student's communication skills, building upon their existing knowledge of English. It will include many listening, pair-work and group-work activities.</p> <p>この授業は、既に身につけている英語の知識を活かして、コミュニケーションのスキルを身につけることに役立ちます。また、リスニングやグループワーク活動も行います。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 Orientation, Self-introductions & Ice Breaking Games</p> <p>第2回 Food: Are you hungry?</p> <p>第3回 Jobs: What do you do?</p> <p>第4回 Problems: Excuses & advice</p> <p>第5回 Clothing & Appearances</p> <p>第6回 Trivia Game</p> <p>第7回 Local attractions & Tourism</p> <p>第8回 Final Group Presentation</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>Join in and have some fun with English!!</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	英会話を楽しむ		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120	業	
定員	40名		
担当講師	<p>ワトソン マシュー Watson Matthew 鹿児島純心女子短期大学 英語科講師</p>		
日程実施時間	<p>6月8日(土)</p> <p>第1時限 9:50～11:20</p> <p>第2時限 11:30～13:00</p> <p>第3時限 13:50～15:20</p> <p>第4時限 15:30～17:00</p> <p>6月9日(日)</p> <p>第1時限 9:50～11:20</p> <p>第2時限 11:30～13:00</p> <p>第3時限 13:50～15:20</p> <p>第4時限 15:30～16:15</p> <p>試験・レポート等 16:15～17:00</p>		
実施会場	<p>鹿児島学習センター</p> <p>※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施</p>		
		要	<p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>

科目コード	2636433	授 業 概 要	<p>この授業では、実際に検査を行うという体験を通して、理解を深めることを目的としています。特に検査者や被検査者双方の体験を通して、検査を行うことの意義を学ぶことが中心となります。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、それぞれの実習課題についてレポートを作成し提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理検査の成り立ち・検査倫理 第2回 心理検査の信頼性・妥当性・テストバッテリー 第3回 検査実習1 知能検査 WISC-IV 実施 第4回 検査実習1 知能検査 WISC-IV 解説 第5回 知能・発達検査・質問紙法・投影法の解説 第6回 検査実習2 質問紙法 Big Five尺度 第7回 検査実習3 投影法 パウムテスト 実施・解説 第8回 心理検査のまとめ、レポート作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 この実習は、検査者や被験者体験を重視します。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理検査についての体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 鉛筆、消しゴム、ボールペン、電卓を用意してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位数を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	26名		
担当講師	ヒラタ ユウタロウ 平田 祐太郎 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授		
日程実施時間	6月15日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
	6月16日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島大学学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645980	授 業 概 要	<p>上手な絵＝本物そっくりの絵と思う人が多いです。現代の上手な絵は、それ以外の様式のものも当てはまります。絵画の歴史を学ぶことで、絵の様式の変遷がわかります。同時に、「描き方」の変遷も学びます。様々な描き方を理解したうえで、鉛筆によるスケッチを通して形・空間・明暗の表現方法を確認します。また水彩画を描くことで、色彩表現や水彩技法についても学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 上手な絵とは、必要な造形要素とは 第2回 西洋絵画における様式・技法の変遷 第3回 制作 鉛筆によるスケッチ：遠近法を使って 第4回 制作 鉛筆によるスケッチ：明暗をつけて 第5回 絵画における色彩技法 第6回 絵具の仕組み・種類とその技法 第7回 制作 様々な水彩技法を試す 第8回 制作 水彩による構想画</p> <p>【学生へのメッセージ】 絵を描くことが苦手な人でも全く問題ありません。絵画の歴史・技法を学ぶことで、自分に合った上手な絵が描けるようになります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 色々な絵画作品を見て、その特徴などを把握しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、鉛筆スケッチおよび水彩による作品とレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日はスケッチブック（F6号）と練りゴムを購入していただきます（合計900円をご用意ください）。また、鉛筆（B～4Bなど）、定規（20～30cm程度）、水彩絵具セット（水彩絵具、筆、パレット、水入れ）をご持参ください。水彩絵具は小学校で使用するもので結構ですが、100円ショップのものは避けてください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.17参照）。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	絵の見方・描き方		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	16名		
担当講師	オケダ ヒロアキ 桶田 洋明 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授		
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
	6月23日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島大学学習センター講義室（西棟4階）、 かごしま県民交流センター絵画制作室（東棟5階） （鹿児島市山下町14-50） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645947	授 業 概 要	<p>本講義は、楽しみながら日常英会話の基礎を学ぶことを目的とします。レベルとしましては、英語基本5文型の復習から始め、その後英検準2級～2級面接試験程度の教材を使用して、CDやDVD教材を併用しながら、一緒に楽しく学んでいきます。また外国語学習の教養的側面として、異文化理解や国際理解についての紹介も行います。皆様どうかお気軽なお気持ちでご出席下さい。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、自己紹介、動機付け等 第2回 英語基本5文型復習および反復練習 第3回 英語基本5文型の定着 第4回 リスニング：英検準2級程度のリスニング教材チャレンジ 第5回 スピーキング：英検準2級程度のスピーキング教材チャレンジ 第6回 リスニング：英検2級程度のリスニング教材チャレンジ 第7回 スピーキング：英検2級程度のスピーキング教材チャレンジ 第8回 講義のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 英語が苦手な方も大丈夫です。この講義の前身「実用英語検定チャレンジ基礎講座」では、英検準1級に2名合格されました。因みに講師は英語検定1級と英語通訳資格所有者で、英語資格についての相談も受けます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 日頃から英語のテレビやラジオ番組や映画、歌、コミックブック等で、易しい英語に慣れ親しんでいただくと有り難いです。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、基本的な辞書（紙媒体、電子辞書どちらでも）をご持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 2024年度版英検準2級過去6回全問題集CD（旺文社編／旺文社／¥1,650） 2024年3月頃販売予定です。価格は変更になる場合があります。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	基礎から学ぶ 易しい日常英会話		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	40名		
担当講師	サカモト イクオ 坂本 育生 鹿児島大学名誉教授		
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
	6月30日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター		
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646030	授 業 概 要	<p>医療職は生活者を支援する専門職です。しかしその前提として「生きている」生命体である「人間」を観察できるフィジカルアセスメント能力が不可欠です。本講義では、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点をまとめ、急変時のバイタルサインをどのようにアセスメントとして活かしていくかについて再確認し、生死に直結する呼吸・循環を中心にした実践的なフィジカルアセスメントを学習していきましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 臨床推論 第2回 アセスメントをどう進めるか 第3回 急変時のみかた 第4回 意識障害のみかた 第5回 呼吸のみかた 第6回 呼吸の聴診 第7回 循環のみかた 第8回 腹部のみかた</p> <p>【学生へのメッセージ】 臨床実践者として必要となる解剖生理学・病態生理学などの関連分野の知識を統合するため、既知の学習内容を振り返ることも求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 医療系の資格習得に必要な程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 （レポート課題） 本講義を終えて、それまでの自己の臨床実践を振り返りどうであったかと、フィジカルアセスメントを今後の臨床実践にどう活かすかについてまとめてください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる（第2版） （山内豊明／医学書院／¥2,640／ISBN=9784260013840） 緊急度を見抜く！バイタルサインからの臨床推論（山内豊明／医学書院／¥2,530／ISBN=9784260050326）</p> <p>【その他（特記事項）】 医療系の資格習得に必要な程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	身体を診る～ 生命を護るために		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヤマウチ トヨアキ 山内 豊明 放送大学教授		
日程実施時間	7月3日（水） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
	7月4日（木） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター		
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

鹿児島学習センター奄美会場実施科目 (46A)

※ 奄美会場で開講する科目は以下の2科目です。鹿児島学習センターでは実施しませんので、実施会場を間違えないようご注意ください。

科目コード	2646048	授	この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（85頁参照） 現代の心理学は、測定されたデータから法則や理論を導き出すことと、これら法則や理論が正しいとすればさっとこうなるはずだといった予測を測定したデータによって確かめてみることで、この循環によって、生体行動を体系的に理解しようとしています。 この授業では、心理学の基本的な研究方法や測定法について学びます。心理学の歴史は測定の歴史とも言われますが、心理学で用いられる基本的な研究方法や測定法、方法論について学ぶことは、心理学の本質的な理解に役立つと考えています。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理学研究法の基礎		
科目区分	専門科目：心理と教育	業	【授業テーマ】 第1回 心理学研究法イントロダクション 実証のロジック 第2回 心理学研究法概説1 データを集める、実験法、観察法、調査法 第3回 心理学研究法概説2 実証のためのプロセスと考え方、実験的研究と相関的研究 第4回 実験的研究法1 独立変数の操作、従属変数の測定、測定の信頼性と妥当性 第5回 実験的研究法2 剰余変数の統制、得られたデータの解釈と記述 第6回 相関的研究法 因果関係と相関関係 第7回 調査法の基礎 質問票の構成、リサーチ・リテラシー（データを読み取る力） 第8回 総まとめ
ナンバリング	320		
定員	10名		
担当講師	カミゾノ ヨシユキ 神 菌 紀 幸 志学館大学 人間関係学部教授		
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00	概	【授業テーマ】 第1回 心理学研究法イントロダクション 実証のロジック 第2回 心理学研究法概説1 データを集める、実験法、観察法、調査法 第3回 心理学研究法概説2 実証のためのプロセスと考え方、実験的研究と相関的研究 第4回 実験的研究法1 独立変数の操作、従属変数の測定、測定の信頼性と妥当性 第5回 実験的研究法2 剰余変数の統制、得られたデータの解釈と記述 第6回 相関的研究法 因果関係と相関関係 第7回 調査法の基礎 質問票の構成、リサーチ・リテラシー（データを読み取る力） 第8回 総まとめ
	5月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
	【学生へのメッセージ】 この授業の内容は、方法論（研究法や測定法）から学ぶ心理学という見方もできます。受講に際しては、数学等の特別な知識は必須ではありません。		
	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
実施会場	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階) (奄美市名瀬古田町1-1)	要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び第8回授業後半に行う試験の評点により行います。（試験では、講義ノートや配布資料を参照することを妨げません。）
	※不測の事態発生時は閉講		
	【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等		
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
			【その他（特記事項）】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究、統計学など）を受講し、2単位程度を修得済みであることが望ましいですが、必須ではありません。

科目コード	2645998	授	日本は亜寒帯から亜熱帯・熱帯に位置する島嶼国です。日本の南部に位置する亜熱帯・熱帯島嶼は南西諸島と呼ばれ、近年は文化的、自然科学的、地政学的などの多様な視点で注目を集めています。その中でも奄美と琉球の島々の一部は自然の豊かさが認められ2021年に世界自然遺産に認定されました。本講義では奄美に注目しながら、熱帯・亜熱帯の人と自然の関係について考えます。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	奄美から見た 島嶼の人と自然		
科目区分	導入科目：自然と環境	業	【授業テーマ】 第1回 島嶼学概論（河合） 第2回 海から見た島（河合） 第3回 島と海の関係（河合） 第4回 島の食文化－作物－（山本） 第5回 島の食文化－魚介類・陸上動物－（山本） 第6回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学 －奄美の自然を体感する－（河合） 第7回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学 －奄美の自然を体感する－（河合） 第8回 南の島の食生活（山本）
ナンバリング	220		
定員	25名		
担当講師	カワ イ ケイ 河 合 溪 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター教授 ヤマ モト ソウ タ 山 本 宗 立 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター准教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 第5時限 16:50～18:05 試験・レポート等 18:05～18:20	概	【授業テーマ】 第1回 島嶼学概論（河合） 第2回 海から見た島（河合） 第3回 島と海の関係（河合） 第4回 島の食文化－作物－（山本） 第5回 島の食文化－魚介類・陸上動物－（山本） 第6回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学 －奄美の自然を体感する－（河合） 第7回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学 －奄美の自然を体感する－（河合） 第8回 南の島の食生活（山本）
	6月2日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:10 第3時限 13:00～14:30 試験・レポート等 14:30～15:00		
	【学生へのメッセージ】 熱帯・亜熱帯島嶼は生物や文化などが多様な地域です。自然と共存した豊かな生活について考える機会になっていただければと思います。		
	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
実施会場	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階) (奄美市名瀬古田町1-1) 奄美大島世界遺産センター (奄美市住用町石原467番地1) 黒潮の森マングローブパーク (奄美市住用町石原478番地)	要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
	※不測の事態発生時は閉講		
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
	【参考書】 奄美の自然入門（常田 守、外尾 誠／南方新社／¥1,980／ISBN=9784861244537） 生物多様性と保全－奄美群島を例に－（下）水園・人と自然編（鹿児島大学島嶼研ブックレット）（鈴木英治 他／北斗書房／¥880／ISBN=9784892900389）		
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・授業2日目の第1、2時限は、バスで移動し、奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパークの見学を行います。歩きやすい服装と靴で出席してください。なお、集合時間など詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 ・入館料・交通費として、授業料とは別に、1,500円《黒潮の森マングローブパーク入館料（500円）、交通費（1,000円）》が必要です。1日目に徴収しますのでご準備ください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.17参照）。

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー琉大附属病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー冲国大前ー
琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路)那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間:土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2636433	<p>心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明をします。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間に指示します）。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説 第3回 心理検査の結果の解釈に重要な情報 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 第5回 具体的な心理検査2 Y-G性格検査 第6回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査4 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査5 心理尺度（タイプA性格）</p> <p>【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業を受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タナカカンジ 田中寛二 琉球大学 人文社会学部准教授	
日程実施時間	4月13日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月14日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2646145	<p>琉球文化を代表する楽器・三線が、アジアと日本の音楽の架け橋となっていることを振り返り、改めて三線を中心に、琉球芸能はどのように形成されてきたかについて、王国の歴史との関係から説明します。次いで、三線音楽を四つの様式（御前風・昔節・二揚・口説）に分け、それぞれの特徴と鑑賞のポイントを説明します。また、琉球舞踊の動きと音楽との関係、組踊の各役柄と音楽の関係について、見どころ、聴き所を説明します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 アジアに架ける楽器 三弦～三線～三味線 第2回 琉球芸能の始まり 古琉球～近世 第3回 琉球芸能の確立・発展 近世～近代 第4回 島々の歌のころ 八重山～沖縄 第5回 御前風様式と昔節様式 第6回 琉球舞踊の構造と鑑賞法 第7回 二揚様式と口説様式 第8回 組踊の「聴き方」 登場人物の性格付けと出羽の音楽</p> <p>【学生へのメッセージ】 沖縄に暮らす人の多くは歌や踊りが大好きです。しかし、歌うこと、踊ることが大好きなあまり、芸能の意味や多様な表現の在り方について考える人は希なようです。歴史を考え、音を考えることによって、新しい理解の地平を広げていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 (1) 組踊「銘苺子」について、ビデオなどで事前に視聴しておくことを推奨します（部分でも良い）。 (2) 参考となる図書を紹介し、興味がある人に奨めます。「参考書情報」の項を参照。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業の学習状況と試験により評価します。 授業の学習状況（4点）と試験（96点）により評価します。試験は、授業時間ごとに復習テストを行います（各12点×8回）。ノートの閲覧は自由です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 琉球の音楽を考える―歴史と理論と歌と三線（金城厚／榕樹書林／¥2,970／ISBN=9784898052358）</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	琉球三線音楽の歴史と鑑賞	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	28名	
担当講師	カネシロアツミ 金城厚 沖縄県立芸術大学名誉教授	
日程実施時間	4月13日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月14日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2646153	授 業 概 要	<p>民俗学が古くから伝わる人々の暮らしを研究対象とするのは、過去を知ることにより私たちの生きる「今」を考える手がかりとするためです。</p> <p>本授業では、沖縄の多様な民俗事象のうち、今も日常の暮らしの中で目にし、用いる機会の多い祭具や供物といった信仰をめぐる「もの」に焦点をあて、その形式や意味、変容の過程と今日のありようから、沖縄の民俗の特色、そして現代沖縄の生活文化のルーツを解き明かしていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「もの」の形式は心のあらわれ - 沖縄の民俗を学ぶにあたって - 第2回 ヒヌカン (火の神、かまどの神) 第3回 位牌と仏壇 第4回 ウコール (香炉) と線香 第5回 ウチカビ (紙銭) とジューバク (重箱に詰めた供えもの) 第6回 ビンシー (携行用の御願道具) と酒、米 第7回 ソーグワチ (正月)、シチグワチ (盆) の供えもの 第8回 「もの」からみる沖縄の民俗の特色と今</p> <p>【学生へのメッセージ】 日常の暮らしの中に存在するさまざまな民俗事象の意味やルーツを解き明かしていくことを通じ、沖縄の民俗を学ぶ楽しみ、知る喜びを味わってもらいたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 各回のテーマに該当する教科書の項目を事前に読んでおいてください。 日常の暮らしの中にある祭具や供物について関心をもつよう心がけてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 指定した教科書「御願の道具と供えもの事典」を持参してください。</p> <p>【教科書】 御願の道具と供えもの事典 (稲福 政斉 / ボーダーインク / ¥2,420 / ISBN=9784899823308) 書店およびネット通販 (Amazon, honto, 楽天ブックス等) で入手可能です。 ※毎回の授業は、教科書と当日配布するプリントを使って進めます。</p> <p>【参考書】 ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事 (稲福 政斉 / ボーダーインク / ¥1,760 / ISBN=9784899823773) 書店およびネット通販 (Amazon, honto, 楽天ブックス等) で入手可能です。</p>
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	沖縄の民俗 —信仰と暮らし—		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	イナ フク マサ ナリ 稲福 政斉 沖縄国際大学非常勤講師 ／沖縄大学非常勤講師		
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月21日 (日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646188	授 業 概 要	<p>私たちの日常生活には「からだ」の情報を使う場面が多くあります。例えば、病院での心電図検査や超音波エコー検査では、内臓の働きという情報を取り出して病気の診断に活用しています。指紋や顔といった身体の形の情報は、家の扉やスマートフォンの鍵として活用されたり、事件や事故の捜査に活用されたりしています。本講義では、私たちの「からだ」の情報を取り出す技術をやさしく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「からだ」の情報とは何か？ 第2回 情報のデジタル表現 第3回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (1): 心臓の働き (心電図、血圧) 第4回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (2): 内臓の働き (超音波エコー) 第5回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (3): 脳の働き (MRI、CT) 第6回 日常生活で使う「からだ」の情報: 指紋認証、静脈認証、顔認証 第7回 「からだ」の情報を守る方法: セキュリティ 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 情報技術や人体の仕組みに関する講義ですが、それらの基礎知識のない学生でも理解できる説明を心がけます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	「からだ」の情報を 取り出す技術		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	クニ タ イツキ 國 田 樹 琉球大学 工学部准教授		
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月21日 (日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2646129	授 業 概 要	<p>行動経済学は、人間の心理や行動を観察し、その特徴を明らかにすることを通じて伝統的な経済学を再構築しようとする新しい分野で、近年注目を集めています。 本講義では、伝統的な経済学の考え方と対比させつつ行動経済学の考え方について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 行動経済学とはどのような分野だろう？ －人間行動の「クセ」に焦点を当てる新しい経済学 第2回 行動経済学とこれまでの経済学はどこが違うの？ －これまでの経済学の間画像「ホモエコノミクス」 第3回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」① －代表性ヒューリスティクスと利用可能性ヒューリスティクス 第4回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」② －アンカリング効果とフレーミング効果 第5回 期待賞金額－くじから得られる平均的な賞金額 第6回 どうしてそのくじを買わないの？① －不確実性に対するこれまでの経済学の捉え方「期待効用仮説」 第7回 どうしてそのくじを買わないの？② －これまでの経済学の捉え方の限界「アレのパラドックス」 第8回 どうしてそのくじを買わないの？③ －不確実性に対する行動経済学の捉え方「プロスペクト理論」</p> <p>【学生へのメッセージ】 講義では、受講生の皆さんと意見交流を行いながら一部双方向的に実施する予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 行動経済学入門（筒井義郎他／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492314975）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	行動経済学		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	ホリカワヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月12日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636360	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート作成 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート作成 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理・分析とレポート作成 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。Excelが必要。 4. その他 ・マウス、USBメモリ（実験データ保存用）及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的な知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	イムラヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月12日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646161	<p>考古学は発掘調査を行い、土に埋もれた歴史を掘り起こす学問です。授業では、沖縄を中心とする琉球列島における発掘調査の成果を紹介し、そこからわかる沖縄の歴史について解説します。考古学の学問的特質について理解し、遺跡を通して沖縄の歴史を考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 沖縄考古学入門～考古学ってどんな学問～ 第2回 沖縄の旧石器時代～港川人と白保人～ 第3回 沖縄の貝塚文化～サンゴ礁と共に生きる狩猟採集民～ 第4回 宮古・八重山の先史時代～南の島の文化～ 第5回 グスク時代～農耕のはじまり～ 第6回 出土銭貨と貿易陶磁～行き交う文物～ 第7回 近世琉球王国時代～あの世から覗く近世社会～ 第8回 沖縄の近代の遺跡～近代化は島をどう変えたのか？～</p> <p>【学生へのメッセージ】 地下から発掘され、これまで知られていなかった沖縄の歴史について、年代を追って順に解説します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 琉球の考古学（宮城弘樹／敬文舎／¥2,200 / ISBN=9784906822355）※書店で入手可能です。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の考古学	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	28名	
担当講師	ミヤギ ヒロキ 宮城 弘樹 沖縄国際大学 総合文化学部教授	
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月12日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2646064	<p>世間では数学が嫌いな人が多いですが、それは、数学という難しい記号や計算が出てきて何をやっているのか理解できないことをやっているようなイメージがあるからではないでしょうか。ところが、数学的に考えるというのは、自分が何をやっているのか、きちんと理解しながら考えるということなのです。問題をなんとなく捉えるのではなく、何を意味しているのかきちんと定義して考えていくことなのです。</p> <p>数学的に考えるのは、実はとても楽しいことだと理解いただけると思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 誕生日当てカードの秘密：誕生日を当てるカードがあるけど、どんな仕組みなのか。 第2回 簡単な確率の問題を考えよう：라이어ゲームにも登場したゲーム 第3回 階段の上り方をどうやって数えようか：漸化式という考え方 第4回 天国への道：論理的に考えるのは楽しい。 第5回 素数って役にたつの？ 第6回 人生を支配する曲線：私たちの人生のほとんどが、ある曲線に支配されている。 第7回 数列の和の公式を暗記するのは苦しいけど、公式を導くのはすごく楽しい。 第8回 国の借金1000兆円越え、国民一人当たり約1000万円って大丈夫なの？日本を救おう！！小学生でもわかる等式から驚くべき事実が。</p> <p>【学生へのメッセージ】 毎時間、異なるテーマを扱いますが、全体を通して「数学的に考える」ということで一貫しています。わかるということがとても楽しいことだということを経験して欲しいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 数学の内容を扱いますが、小学校の算数の知識があれば大丈夫です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ノートを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	暮らしに役立つ 楽しい数学	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	28名	
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 元琉球大学 教育学部准教授	
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2636387	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD: Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>インターネットへの接続は不要です。 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 その他 ・USBメモリ（実験のデータ保存用）及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p> <p>心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	フル カワ タカシ 古 川 卓 琉球大学 保健管理センター教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646072	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>統計手法は、ある集団の特性を示すための数値データを算出することです。数値データを用いることによって集団の特徴を定性的でなく、定量的に検討することができるようになります。</p> <p>この講義では誰でも統計的な考え方を利用できるようになってもらうことも目指しています。そのための鉄則を提示しながら、講義を進めていきます。自分の達成を確認する意味で、自分で集めた比較したいと思っているデータの統計解析も体験してもらいます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 統計とは？度数分布とは？代表値にはどんなものがあるのか？</p> <p>第2回 Excelで代表値の計算を実際にやってみよう</p> <p>第3回 分散と標準偏差とは？偏差値とは？</p> <p>第4回 Excelで分散、標準偏差、偏差値の計算を実際にやってみよう</p> <p>第5回 検定をするということ？ T検定とは</p> <p>第6回 Excelで検定を実際にやってみよう</p> <p>第7回 自分で集めたデータで度数分布、代表値を求めて検定処理をしてみよう（1）</p> <p>第8回 自分で集めたデータで度数分布、代表値を求めて検定処理をしてみよう（2）</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>頭を働かせるためにしっかりと体調を整えてご参加ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>本講義では、自分で集めたデータと比較したいと思うデータを統計解析しますので、2種類のデータ（可能な限りそれぞれ20個）を用意してください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ソフトのインストール WordとExcelが必要です。 その他 ・USBメモリーを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p> <p>持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	暮らしの中の統計		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	タカギヒロシ 高木博 琉球大学大学院 医学研究科准教授		
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月26日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646170	<p>近世の琉球国時代（1609年～1879年）における琉球の政治・経済・社会に関係する古文書をとりあげ、それらを読み解くことで、琉球史の多様な局面を講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 琉球・沖縄歴史の全体的推移 第2回 蔡温の「自叙伝」「御教条」が語る琉球社会 第3回 真栄里親方「勅使（冊封使）御迎え日記」が語る対清国関係 第4回 琉球版科学「評定所科文」（試験問題と解答）が語る個人・家族・政治（1） 第5回 琉球版科学「評定所科文」（試験問題と解答）が語る個人・家族・政治（2） 第6回 琉球版科学「評定所科文」（試験問題と解答）が語る個人・家族・政治（3） 第7回 多良間島「間切日記」等が語る島の生活史 第8回 八重山島「怪我人帳」が語る島の生活史、全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 かつて薩摩藩に支配された時代は、「暗い時代」として捉えられてきました。そのような一面的な捉え方に対して近年では多様な局面が明らかにされつつあります。各自の抱く琉球史像を問い直す機会になることを期待します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前に概説書（『新版県史』47 沖縄県の歴史 山川出版社）の一読を薦めます。『沖縄県史 図説編 前近代』（沖縄県教育委員会）も有益です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	古文書の語る琉球史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授	
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月26日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2646099	<p>食と健康・栄養への関心は年々高まり、これらの情報がマスメディアに出ない日はありません。日々の会話の中でも糖質制限、酵素ダイエット、ポリフェノール、ω3脂肪酸などの用語が頻繁に出てきます。健康・栄養情報の中には科学的根拠の乏しいもの、正確さを欠くものが多々あります。栄養学を科学的に学ぶことであふれる情報を取捨選択する力に、また健康的な食生活を営むための一助になると考えます。</p> <p>本講義では、暮らしのなかで活かせる栄養学のエッセンスを、またマスコミによく出てくる栄養の科学を基礎から分かりやすく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 イントロダクション 人体の構成（元素、分子、細胞） 第2回 人体の構成（組織・器官） 第3回 栄養素の科学1 糖質 第4回 栄養素の科学2 タンパク質 第5回 栄養素の科学3 脂質 第6回 ビタミン・ミネラル 第7回 食べ物が消化吸収されてエネルギーに代わるまで 第8回 食と生活習慣病</p> <p>【学生へのメッセージ】 巷には食と栄養の情報が氾濫しています。栄養の理解には最低限の化学知識が必要です。この講義では栄養を可能な限り平易な言葉で解説します。化学、生物学を並行して勉強することで授業がより容易く理解できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 エッセンシャル栄養化学（佐々木 勉／講談社／¥3,400／ISBN=9784065238066）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	暮らしの中の栄養学	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	220	
定員	12名	
担当講師	タマ キ ハジメ 玉 城 一 元琉球大学 農学部准教授	
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月2日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 小講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2646110	授	内容は、子ども理解、子どもはなぜ、落ち着かず、暴力を振るうのかであり、幼児期からの育ち、子どものライフストーリー（生育歴）と深く関わりがあることに迫るものです。そこには、発達障害の特性や感情コントロールに苦しむ子どもについての具体例も出てきますし、満たされない生育歴を持ち、思いを大人に対して抱えたまま大きくなった子どもも登場してきます。どう子どもを理解し、関われば良いのか、明らかにしたいと考えています。
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	荒れる子どものナゾを解く		
科目区分	導入科目：心理と教育	業	【授業テーマ】 第1回 子ども理解、飛び出す子とアイドル女子。私はなぜ殴られた？ 第2回 ネコが友だち、すれ違う大人と子どもの幸せ。子どもにとっての幸せとは？ 第3回 異化と同化、やってみよう学級の歌づくり（ワークシヨップ） 第4回 発達障害の特性、感情コントロールに苦しむ子ども 第5回 否定の中の肯定、格差社会を生きている子ども 第6回 ある少女の叫び、詩を書くことでモニタリング。表現してみよう！ 第7回 人生は友だち探しの旅、だれかを求めて生きる 第8回 まとめ
ナンバリング	220		
定員	28名	業	【学生へのメッセージ】 この講義は楽しいです。自分の経験や考えを交流し、楽しく学んでいきましょう。
担当講師	タンノ キヨヒコ 丹野 清彦 琉球大学大学院 教育学研究科教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	概	【受講前の準備学習等】 事前に教科書を購入して読んでおくとう理解が深まります。当日はこの本を使い説明しますので、持参してください。
	6月2日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	要	【受講者が当日用意するもの】 教科書を当日持参してください。
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 子どもの願い いじめVS 12の哲学（丹野清彦／高文研／¥1,650／ISBN=9784874986479）書店やインターネットで事前に購入してください。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ペアや3人組などを作り、飽きることなく、アクティブラーニング的に活動する場面もあります。 気楽に参加してください。

科目コード	2646080	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 大学では多くの講義でレポートや論文（学術的な文章）が課されますが、大学入学前までに書いてきた感想文や小論文とは何が違うのでしょうか。 この講義では、レポート・論文の要件や組み立て方（構成）、形式、学術的な文章でよく使われる表現等、レポート・論文を書くときに必要な基本的事柄を学びます。
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	日本語の文章表現		
科目区分	基盤科目	業	【授業テーマ】 第1回 レポート・論文とは何かを知ろう 第2回 問いを立てよう 第3回 レポートの組み立て方を知ろう 第4回 先行研究を調べよう 第5回 引用の仕方を学ぼう 第6回 アウトラインを作成しよう 第7回 パラグラフを書こう 第8回 お互いのレポートを点検しよう
ナンバリング	120		
定員	16名	業	【学生へのメッセージ】 大学でレポート・論文を書いたことがない方向けの科目です。他の受講生とともに協力しながら主体的に楽しく学びましょう。
担当講師	タカハシ ミナコ 高橋 美奈子 琉球大学 教育学部准教授		
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	概	【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 Microsoft Word（ワード）で文書が作成できるように、Wordの入力操作を練習しておいてください。
	6月9日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	沖縄学習センター 実習室	要	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコン又はタブレット（キーボードがあるもの）を持参してください（スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。ただし、講義では講師はWindowsを使用するので、説明はWindowsになることをご了承ください。 3. ソフトのインストール Wordのソフトを事前に持参する端末にインストールしておいてください。 4. その他 ・USBメモリストイック（4GB以上）を1本持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・教科書（『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』ひつじ書房）は、事前に購入して、当日持参してください。 ・参考図書は、購入不要です。
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 失敗から学ぶ大学生のレポート作成法（近藤裕子・由井恭子・春日美穂／ひつじ書房／¥1,760／ISBN=9784894769700） 【参考書】 論文・レポートの基本 この一冊でちゃんと書ける！（石黒圭／日本実業出版社／¥1,540／ISBN=9784534049278）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2646200	授 業 概 要	<p>琉球列島の一部の地域は、その生物多様性の高さから、2021年に世界自然遺産に登録されました。本講義では、琉球列島における生物相の成立や生物多様性保全の取り組みについて概説します。また、生物の多様性は種間関係にも表れているため、その事例を紹介します。さらに、生物多様性を保全するための1つである外来種対策について概説するとともに、沖縄における現状を実習をとおして学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 琉球列島における生物多様性の成立 第3回 沖縄でみられる種間関係 第4回 琉球列島における生物の保全と法令 第5回 外来種は何が問題なのか？（実習含む） 第6回 外来種の食性（実習） 第7回 琉球列島における外来種問題 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 琉球列島に限定した生物多様性および保全の話だけでなく、幅広い地域の内容も扱う予定です。日頃から自然環境に興味を持ってもらえると内容がわかりやすいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 2日目（6月9日）は生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装で参加してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 生物多様性と地球の未来 -6度目の大量絶滅へ？（太田 英利（監修、翻訳）、池田 比佐子（翻訳）／朝倉書店／¥3,740／ISBN=9784254171655） いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律（中島慶二（監修）、益子知樹（監修）、山と溪谷社いきもの部（編集）／山と溪谷社／¥1,980／ISBN=9784635590518）</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	琉球列島の生物多様性と保全		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	コ バヤシ シュン 小林 峻 琉球大学理学部助教		
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月9日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646102	授 業 概 要	<p>大人の食育は、自分を大切に、次の世代への「こころの相続」をするためには重要と考えます。厚労省によると「現在65歳まで生きている人は、2人に1人は90歳まで生きる」、総務省は「2040年には、単独世帯は約40%に達すると予測される」、またある研究では「子ども2007年生（17歳）の半数が、107歳まで生きる」とされています。これからの「お一人様の時代！」100年生きる食の哲学、食のモデルと成り得る学校給食、3歳児からのクッキングなどを学び次の世代に伝えるための授業を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「大人の食育」は次世代に影響を与える学び！（森山、井口） 第2回 目からウロコの学校給食術（森山） 第3回 学校給食から学ぶ（井口、森山） 第4回 3歳児クッキングの理論とおやつ（森山） 第5回 3歳児クッキング・朝ご飯をつくろう！調理①（森山、井口） 第6回 3歳児クッキング・朝ご飯をつくろう！調理②（森山、井口） 第7回 おひとり様時代を考える食育[琉球料理について あなたが伝えたい家庭料理と行事食]（井口、森山） 第8回 まとめ（これまでのふりかえり）（森山）</p> <p>【学生へのメッセージ】 「お一人様時代！」の今、3歳児から朝ご飯がつくれる調理理論とスキルの他、沖縄の食の哲学、土産土法、SDGsの観点から自分で調理する重要性をご紹介します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 課題2つ。それぞれ200文字程度にまとめ講義開始前に、提出をお願いします。シェアもあります。①「受講の目的」②「あなたの伝えたい家庭料理と行事食」です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 材料費等（800円）は初日の受付時に徴収します。爪を切り、付けマニキュア等は落とすください。また、エプロン、三角巾をご準備してください。</p> <p>【教科書】 目からウロコの学校給食術-海洋県沖縄における学校給食からの食育（森山克子／協同出版／¥1,980／ISBN=9784319002894）各自、書店等で事前に購入してください。入手までひと月くらいかかる場合もありますのでご留意ください。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 講義二日目に調理を行います。「学生教育研究災害傷害保険（100円）」及び「通学中等傷害危険担保特約」（40円）の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入して下さるようお願いいたします。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	大人の食育		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	10名		
担当講師	モリ ヤマ カツ コ 森山 克子 放送大学沖縄学習センター客員准教授 ／沖縄キリスト教短期大学非常勤講師 イ グチ ナオ コ 井口 直子 琉球大学農学部准教授		
日程実施時間	6月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター小講義室、 一日目3時限目から 琉球大学教育学部307室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646218	授 業 概 要	<p>本講義では、植物の中でも特に被子植物の多様性とその進化について様々な角度から学びます。植物の多様性と進化についての理解を深めるために、植物の形態と機能、動物や菌類と植物との共生、島における進化などを順に学習していきます。具体的な植物の例としては、可能な限り、沖縄をはじめとした琉球列島の植物を取り上げます。さらに、植物多様性の危機と保全を含むさまざまなトピックスを取り上げ、自ら植物を観察する目を養う学びとすることを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 今なぜ植物を学ぶのか？：その定義・特徴・魅力と楽しみ方 第2回 植物の形態と機能 第3回 植物の多様性と進化 第4回 琉球列島の植物概説 第5回 植物と共生 第6回 島の植物生態学 第7回 植物の保全 第8回 植物を巡る物語</p> <p>【学生へのメッセージ】 植物を含む生物全般に対して興味を有することが望ましいですが、授業を通して新たに興味を持てるようであれば履修を歓迎します。授業を履修した後、これまでとは違った見方で植物を観察できるようになることを期待しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 身近な植物を観察し、植物図鑑等を用い、植物名を調べてみてください。また進化に関する本を事前に読んでおくと、授業の内容の理解がより深まることと期待されます。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 花と動物の共進化をさぐる：身近な野生植物に隠れていた新しい花の姿（種生物学会／文一総合出版／¥2,970／ISBN=9784829962084） 琉球の樹木－奄美・沖縄－八重山の亜熱帯植物図鑑（大川 智史、林 将之／文一総合出版／¥6,050／ISBN=9784829984024）</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	植物の多様性と進化		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ワタナベケンタ 渡邊謙太 国立沖縄工業高等専門学校 校技術専門職員		
日程実施時間	6月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636972	授 業 概 要	<p>臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	臨床心理学実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サトウヒトミ 佐藤仁美 放送大学准教授		
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月23日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646137	授 今日、テレビやインターネットを通じて「食」や「農業」に関する情報があふれる時代です。この講義では、第一に地理学の視点から農業と風土との関係、世界の農業と食糧問題、日本の農業および沖縄の農業の地域特性、諸課題と展望についてみていきます。第二には「食文化」をキーワードとして、郷土食と行事にみる食文化の地域性、和食文化を中心とする食文化の誕生と発展、酒・茶・菓子の地域特性など、我々の日常生活と食文化について様々な視点から考えていきたいと思っています。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	食と農の地理学	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	オガワ マモル 小川 護 沖縄国際大学 経済学部教授	
日程実施時間	6月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
		業 【授業テーマ】 第1回 はじめにー農業と風土と地域性ー 第2回 世界の農業と食糧問題 第3回 日本農業の地域特性 第4回 沖縄農業の地域特性 第5回 地理学から食文化の地域性について考える 第6回 和食の誕生と発展そして完成 第7回 酒・茶・菓子にみる日本の食文化 第8回 まとめーこれからの日本農業と食文化ー 【学生へのメッセージ】 日頃、テレビ、新聞、インターネットの情報を通じて、農業や食文化に関心をもって頂ければと思っています。また、毎回の講義で登場する地名については地図帳で確認してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 地図帳(市販のもの、あるいは中学校・高校で使用した古いものでもかまわない。スマホ等の地図アプリ使用可)、ノート、筆記用具、蛍光ペンなど。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2646196	授 この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、デジタルメディアや情報通信技術(ICT)といった技術の活用・普及が、社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、反対に、社会や文化が、デジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのか、について考えていきます。また、実際にインターネット上で無料で提供されているツールを試用して、インターネット活用の可能性を体験していただきます。 【授業テーマ】 第1回 メディアの変遷とインターネット 第2回 モバイルメディア 第3回 ソーシャルメディア 第4回 ジオメディア 第5回 デジタルエコノミー 第6回 オンライン学習 第7回 デジタルメディアとプライバシー 第8回 人工知能(AI)とビッグデータ 【学生へのメッセージ】 この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思っています。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 放送大学システムWAKABAに、少なくとも1度はログインしてみてください。また、放送大学のメール(Gmail)をチェックしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業への参加態度及びレポートの評点により行います。レポート課題では、授業で扱ったトピックについて、今後自分なりにどう向き合っていくのかを最後にまとめてもらいます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコン又はタブレットを持参してください(スマートフォンのみは不可)。タブレットの場合、キーボードが別にあると良いです。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール Google Chromeを使用します。 4. その他 ・放送大学のシステムにログインするためのパスワード ・Google Chromeの最新版を入手してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	デジタルメディアと社会	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	アオキ クミコ 青木 久美子 放送大学教授	
日程実施時間	6月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

学習センター以外の場所で行う面接授業

以下の科目は、学習センター・サテライトスペース以外の場所で行う面接授業です。
科目登録の際は、授業実施会場にご注意ください。また、申請の前に必ず本冊子の授業概要にて、詳細(場所・授業概要・当日用意する物等)をご確認ください。

なお、受講に際しては、以下のことにご留意ください。

○食事等は各自でご用意ください。また、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力ください。

○会場においては、責任者の指示に従ってください。

○交通費、宿泊費(宿泊を要する場合)については、受講者のご負担となります。

学習センター	科目名	実施会場
福岡	博物館浴入門	九州産業大学(福岡市東区松香台2-3-1 15号館1階教室および大学美術館)
佐賀	佐賀の歴史と文化1	佐賀市歴史民俗館(旧古賀家1号室等)(佐賀県佐賀市柳町3-15)
	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐賀県立九州陶磁文化館(佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)
	佐賀の豪雨災害と伝統的治水技術	5/25(土)は佐賀学習センター アバンセ第2研修室、5/26(日)はさが水ものがたり館(佐賀市大和町大字尼寺3247)
長崎	映像を支える音楽作曲家たち	長崎大学 長崎創楽堂
	五島灘洋上実習	長崎大学附属練習船長崎丸
熊本	生活環境と水	熊本学習センター講義室1および熊本博物館(2日目1・2限)(熊本市中央区古京町3-2)
	分子生物学実験:DNAの解析	熊本学習センター講義室1および熊本大学理学部1号館2階生物実習室(熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)
大分	大分の災害と防災	大分学習センター及び日田市天ヶ瀬温泉街(2日目)
	SDGsにおける生物多様性戦略	大分学習センター及び別府大学周辺
宮崎	AIの基礎から応用まで	宮崎大学木花キャンパス(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	身の回りのあっと驚く化学体験3	
	方言とコミュニケーション	南九州大学宮崎キャンパス(宮崎市霧島5丁目1番地2)
	地域経済の現状と展望	宮崎サザンビューティ専門学校501号室(宮崎市老松2-1-17)
	住まいの基本と近代建築	
	食と健康:食品の機能を活かす	
	心理学実験2	宮崎県婦人会館3F「さくら」(宮崎市旭1-3-10)
	健康志向の運動実践	宮崎大学清武キャンパス総合教育研究棟(宮崎市清武町木原5200番地)
海洋生物学実習	宮崎大学農学部フィールド科学教育研究センター・延岡フィールド(水産実験所)(延岡市赤水町376-6)	
鹿児島	『源氏物語』の正編を知る	かごしま県民交流センター大研修室第3(東棟4階)(鹿児島市山下町14-50)
	社会保障のしくみと法	
	老年期の健康科学	
	薩摩焼の考古学	
	絵の見方・描き方	鹿児島学習センター講義室(西棟4階)、かごしま県民交流センター絵画制作室(東棟5階)(鹿児島市山下町14-50)
	心理学研究法の基礎	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)
	奄美から見た島嶼の人と自然	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)、奄美大島世界遺産センター(奄美市住用町石原467番地1)、黒潮の森マングローブパーク(奄美市住用町石原478番地)
	鹿児島湾洋上実習	鹿児島大学水産学部附属練習船かごしま丸(鹿児島市南栄5丁目29)
沖縄	大人の食育	沖縄学習センター小講義室、一日目3時限目から琉球大学教育学部307室



 **放送大学**
教養学部